

令和3年度第1回龍ヶ崎市社会教育委員会議（書面開催）議事

1 議題

(1) 令和2年度事業報告について

- ① 第2次ふるさと龍ヶ崎戦略プラン（主要施策の成果報告） 抜粋
市の最上位計画である第2次ふるさと龍ヶ崎戦略プランで重点的に取り組む事業としたものの活動実績及び成果, 今後の方向性などをまとめたものから抜粋したものです。
- ② 龍ヶ崎市教育委員会の事務に関する点検評価報告書 抜粋
「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」に基づき, 教育委員会が毎年, その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行っているものから主要事業を抜粋したものです。

(2) 令和3年度事業計画について

- ① 第2次ふるさと龍ヶ崎戦略プラン（主要施策） 抜粋
第2次ふるさと龍ヶ崎戦略プランで令和3年度に重点的に取り組む事業を抜粋したものです。

2 その他

(1) 市立図書館北竜台分館について

令3年度
第1回龍ヶ崎市社会教育委員会議
(書面会議)

会議資料

目 次

【令和2年度事業報告】

1 第2次ふるさと龍ヶ崎戦略プラン（主要施策の成果報告）

（1）文化・生涯学習課

1-1-1-5 学童保育ルームの充実	1
1-2-2-2 多様な学習機会の提供	2
2-4-3-1 教育の日推進事業の充実	3
2-5-1-2 各種セミナーの開催・相談体制の充実	4
2-5-2-2 子どもの読書活動の推進	5
2-5-3-1 学童保育ルームの充実【再掲】	6
2-5-3-2 多様な学習機会の提供【再掲】	7
2-5-4-1 子どもの交流・活動拠点の充実	8
2-5-4-2 子どもの地域活動への参加促進	9
2-6-1-1 人権啓発活動の充実	10
2-6-1-2 市民大学講座の充実	11
2-6-2-1 市民遺産の認定	12
2-6-2-2 歴史的資源などの活用	13

（2）スポーツ都市推進課

1-2-3-3 トップアスリートの育成	14
1-2-3-4 総合型地域スポーツクラブの支援	15
2-6-3-1 流通経済大学運動部との連携	16
4-12-1-3 マラソン大会開催	17
4-12-1-4 旧北文間小の跡地を活用したスポーツ拠点の整備	18

2 龍ヶ崎市教育委員会の事務に関する点検評価報告書

（1）文化・生涯学習課

1-(1)-12 郷土学習の推進	19
1-(3)-24 教育の日推進事業の充実	20
2-(1)-41 各種セミナーの開催	21
2-(1)-42 相談体制の充実	22
2-(1)-43 基本的な生活習慣の定着	23
2-(1)-44 教育の日推進事業の充実【再掲】	24
2-(3)-49 学童保育ルームの充実	25
2-(3)-50 アフタースクール・サタデースクールの充実	26

2-(3)-51	青少年センターの充実	27
2-(4)-52	子どもの交流・活動拠点の充実	28
2-(4)-53	子ども会活動の活性化	29
2-(4)-54	子どもの地域活動への参加促進	30
2-(4)-55	新成人の交流促進	31
3-(1)-56	中央図書館の利便性の向上	32
3-(1)-57	読書・学習環境の充実	33
3-(1)-58	子どもの読書活動の推進	34
3-(1)-59	流通経済大学の図書館との連携強化	35
3-(2)-60	人材バンクの充実	36
3-(2)-62	生涯学習講座等の充実	37
3-(2)-64	出前講座の充実	38
3-(3)-65	人権啓発活動の充実	39
4-(1)-68	地域文化活動の育成及び支援	40
4-(1)-69	文化会館の利便性の向上	41
4-(1)-70	鑑賞・招聘型文化活動の充実	42
4-(2)-71	文化財の指定及び保護	43
4-(2)-72	市民遺産の認定	44
4-(2)-73	歴史資源などの活用	45
4-(3)-74	歴史民俗資料館の利活用の向上	46
4-(3)-75	体験学習の充実	47
4-(3)-76	郷土史の普及促進	48
 (2) スポーツ都市推進課		
5-(1)-77	流通経済大学運動部との連携	49
5-(1)-78	トップアスリートの育成	50
5-(1)-79	スポーツボランティアの充実	51
5-(2)-81	スポーツ施設の充実	52
5-(2)-82	スポーツボランティアの充実【再掲】	53
5-(2)-83	スポーツ情報発信の充実	54
5-(3)-84	スポーツ教室・イベントの充実	55
5-(3)-85	スポーツ少年団・総合型地域スポーツクラブの支援	56
5-(3)-86	ニュースポーツの推進	57
5-(4)-87	スポーツ指導者の育成	58
5-(4)-88	トップアスリートの育成【再掲】	59

【令和3年度事業計画】

1 第2次ふるさと龍ヶ崎戦略プラン（主要施策）

(1) 文化・生涯学習課

1-1-1-5	(仮称)図書館北竜台分館の整備	60
1-1-1-6	学童保育ルームの充実	61
1-2-2-2	多様な学習機会の提供	62
1-2-3-4	市民大学講座の充実	63
2-4-3-1	教育の日推進事業の充実	64
2-5-1-2	各種セミナーの開催・相談体制の充実	65
2-5-2-2	子どもの読書活動の推進	66
2-5-4-1	子どもの交流・活動拠点の充実	67
2-5-4-2	子どもの地域活動への参加促進	68
2-6-1-1	人権啓発活動の充実	69
2-6-2-1	市民遺産の認定	70
2-6-2-2	歴史的資源などの活用	71

(2) スポーツ都市推進課

2-6-3-1	流通経済大学運動部との連携	72
2-6-3-2	マラソン大会開催	73
4-12-1-4	旧北文間小学校改修工事	74

【その他】

1	市立図書館北竜台分館について	75~77
---	----------------	-------

【令和 2 年度事業報告】

1 第2次ふるさと龍ヶ崎戦略プラン (主要施策の成果報告)

(1) 文化・生涯学習課

第2次ふるさと龍ヶ崎戦略プラン 進行管理シート

令和2年度

戦 略	1	若い世代の希望の実現～若者・子育て世代の定住環境の創出～					
	目 標	1	子育て環境日本一【重点目標】				
	施 策	1	「子どもと住みたい龍ヶ崎」の実現				
	事業名	学童保育ルームの充実					
担当課	文化・生涯学習課						
事業の概要・目的	保育需要や保護者のニーズに対応した適正なサービス量を確保し、学童保育や学習支援などの充実を図ります。						
関連計画等での位置付け	龍ヶ崎市教育振興基本計画 事業No.2-3-1						
活動実績及び成果	<p>1業務委託による、安定的な保育ルームの管理運営が図れた。</p> <p>(1) 入所児童数や児童の特性に応じた支援員等の配置を進めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・夏休み期間の児童数の増加や1日保育による支援員の不足がないようにし、児童を安全に支援することができた。 ・障害児の受入れに対しては加配支援員を配置することにより、より児童に沿った支援を行うことができた。 <p>(2) 施設に必要な備品等の購入や修繕を必要に応じて行い、児童の過ごしやすい環境整備を進めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育ルームの開所時間前には、支援員による施設の点検及び感染症対策のための消毒を適切に行った。 <p>(3) 新型コロナウイルス感染症拡大により、集まる支援員等に対する研修を行うことが困難であったため、その代わりとして、委託業者のエリアマネージャーや統括責任者を各保育ルームを定期的に巡回させ、情報提供と共有に努めさせた。</p> <p>(4) 委託業者と毎月の連絡調整会議や必要に応じた打合せを行い、適宜運営について指導することができた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎月第3水曜日に、委託業者のエリアマネージャー及び統括責任者、学童保育担当職員により連絡調整会議を行いその都度課題解決を行った。 ・毎月月初めには統括責任者から各保育ルームの提出物を受領し、その際に、市役所からの配布物を渡し、必要に応じて打合せを行い、適宜指導することができた。 						
コスト情報	費目/年度		平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年
	総額(円)		158,509,106	164,186,667	167,405,051	197,790,001	0
	事業費		142,547,573	148,762,592	151,982,803	187,549,497	0
	人件費		15,961,533	15,424,075	15,422,248	10,240,504	0
	市民1人あたりの費用 (R02.10/1常住人口)		76,218	2,047	2,130	2,181	2,595
	財源内訳(円)						
	国 支出金		35,498,000	34,857,000	38,831,000	51,560,000	0
	県 支出金		31,654,000	32,950,000	33,988,000	50,200,000	0
	起 債		0	0	0	0	0
その他(受益者負担など)		45,082,550	47,361,650	48,750,150	40,763,600	0	
一般財源		46,274,556	49,018,017	45,835,901	55,266,401	0	
事業評価	評価項目	評価基準	チェック ※当てはまる事項に ■		判断理由等		
	必要性	・市民ニーズや社会状況の変化により、事業の役割が薄れていないか ・市が事業主体であることが妥当か(国・県・民間と競合していないか)	■ 妥当である □ 概ね妥当である □ 妥当でない		女性の就業割合の高まりや核家族化の進行等に伴い、放課後等における児童の居場所の確保と安定的な保育サービスの提供が必要である。		
	有効性	・成果目標の達成状況は順調に推移しているか ・成果を向上させるため、事業内容を見直す余地がないか ・活動内容は有効なものとなっているか	■ 有効である □ 概ね有効である □ 有効でない		児童数の増加に対応するため、特に長期休業中などは、学校の教室を借用し、適正に運営することが出来ている。保育業務の民間委託により、さらに保育環境の充実に図っていく。		
	効率性	・民間委託等の導入や関連する事業との統合等により、コスト削減は可能か ・人件費削減は可能か ・事務事業の目的や成果から考えて、受益者負担等を見直す必要があるか	■ 現行どおり □ 見直し		保育業務の運営を民間事業者に委託することにより、支援員の安定的な確保と民間のノウハウを活かした運営を行っている。今後も支援員の確保と施設の運営等において安定性が期待できる。		
今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 廃止						
	令和2年度より学童保育の運営を民間事業者に業務委託したことにより、長期休業中の児童数の増加に対応するための支援員の確保を十分に行うことができ、安定的な運営ができた。今後も年間を通しての支援員の確保及び児童の健全育成を支援するための支援員の研修等を定期的に行い、さらに保育環境の充実に図る。						

第2次ふるさと龍ヶ崎戦略プラン 進行管理シート

令和2年度

戦 略	1	若い世代の希望の実現～若者・子育て世代の定住環境の創出～					
	目 標	2	住んでみたいと感じるまちづくり				
	施 策	2	特色ある教育環境の創造				
	事業名	多様な学習機会の提供					
担当課	文化・生涯学習課／指導課						
事業の概要・目的	アフタースクールやサタデースクール、サマースクールなど、多様な学習機会を提供します。						
関連計画等での位置付け	龍ヶ崎市教育振興基本計画 事業No.2-3-2						
活動実績及び成果	<p>アフタースクール・サタデースクールについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前年度である令和2年3月に、新年度第3学年から第6学年の児童とその保護者に対して、小学校を通して参加募集を行った。 ・令和2年4月末、参加申込書回収。参加希望者数：アフタースクール(8校)129名、サタデースクール(3校)114名。事業実施を楽しみに昨年度から継続して参加予定の児童が多数いた。 ・活動予定：アフタースクール14～16回、サタデースクール18回 ・令和2年6月 アフタースクール、サタデースクール延期通知 ・令和2年7月 アフタースクール・サタデースクール中止通知 <p>・新型コロナウイルス感染症の影響により、事業実施を中止としたが、受託業者と情報交換し、県内市町村の実施状況等を確認し、新型コロナウイルス感染症の感染防止対策を講じた実施方法について、調査を進めた。</p> <p>・次年度、Withコロナを念頭に感染防止対策を講じて、規模の縮小や活動内容の変更を検討し、実施計画を立案する。</p>						
コスト情報	費目/年度		平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年
	総額(円)		16,516,930	14,274,578	13,542,617	305,687	0
	事業費		10,254,510	9,593,640	9,995,500	0	0
	人件費		6,262,420	4,680,938	3,547,117	305,687	0
	市民1人あたりの費用 (R02.10/1常住人口)		76,218	213	185	176	4
	財源内訳(円)						
	国 支出金		0	0	0	0	0
	県 支出金		3,024,000	3,048,000	2,888,000	0	0
	起 債		0	0	0	0	0
	その他(受益者負担など)		0	0	0	0	0
一般財源		13,492,930	11,226,578	10,654,617	305,687	0	
事業評価	評価項目	評価基準	チェック ※当てはまる事項に ■		判断理由等		
	必要性	・市民ニーズや社会状況の変化により、事業の役割が薄れていないか ・市が事業主体であることが妥当か(国・県・民間と競合していないか)	■ 妥当である □ 概ね妥当である □ 妥当でない		本事業は、地域の教育力の向上、多様な学習機会の提供、学習習慣の定着等の観点から、その推進を図ることが必要であり、地域社会全体で子どもの豊かな人間性を養っていくための重要な事業であると考えます。		
	有効性	・成果目標の達成状況は順調に推移しているか ・成果を向上させるため、事業内容を見直す余地がないか ・活動内容は有効なものとなっているか	□ 有効である ■ 概ね有効である □ 有効でない		本事業への参加を通じて、放課後や土曜の時間帯の多様な学習機会の提供を図ることで、学習習慣の定着を目指す。また、体験的な活動を取り入れるなど、子どもの居場所としての機能も発揮している。		
効率性	・民間委託等の導入や関連する事業との統合等により、コスト削減は可能か ・人件費削減は可能か ・事務事業の目的や成果から考えて、受益者負担等を見直す必要があるか	■ 現行どおり □ 見直し		本事業は、民間事業者への業務委託により実施しており、人材の確保や学習内容、体験学習などの活動プログラムの企画・立案・講師の選定、確保等について、多様なネットワークと豊富な知識で事業を展開していることから効率的であると考えます。			
今後の方向性	<p>■ 継続 □ 拡充 □ 改善 □ 廃止</p> <p>今年度、新型コロナウイルスの影響により事業を中止したが、事業への参加を楽しみにしている児童が参加申込みから多数いたことが分かる。楽しみながら児童が学ぶ経験を学習活動と体験活動の両面から支援し、多様な学習機会の提供を図りたい。事業の実施にあたっては、新型コロナウイルスの感染防止対策を講じることを最優先とし、参加児童が安心・安全な環境を準備する必要がある。また、学校や学童保育ルームとの十分な連携や特別な支援を要する児童への対応について十分に配慮していきたい。</p>						

第2次ふるさと龍ヶ崎戦略プラン 進行管理シート

令和2年度

戦略	2	教育環境の向上～まちづくりを担う人づくり～				
目標	4	龍の子の生きる力を育むまちづくり				
施策	3	魅力があり、信頼される学校づくりの推進				
事業名	教育の日推進事業の充実					
担当課	文化・生涯学習課／指導課					
事業の概要・目的	11月の龍ヶ崎教育月間、11月5日の龍ヶ崎教育の日を中心に龍ヶ崎教育の日推進事業を展開することで、市民の教育に対する関心と理解を深めるとともに、明日の龍ヶ崎市を担う心豊かでたくましい子どもを育成します。					
関連計画等での位置付け	龍ヶ崎市教育振興基本計画 事業No.1-3-3、2-1-4					
活動実績及び成果	<p>1 実行委員会の開催 新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、事務局において資料を作成し、委員に対して郵送することで了解を得た。 (1)令和2年9月 事業計画(案)、予算案について (2)令和3年1月 事業実績、決算について</p> <p>2 作品募集 教育月間である11月を募集期間とし、市内小中学生とその保護者、市民から総計約1,300点の応募があった。作品の中から抽選で100名にまいりゅうオリジナルマスクケースを贈呈した。 (1)家族へのメッセージ:家族や友達など、大切な人たちとの「絆」を通して、普段は言えない感謝の気持ち、大切な思いを伝えあおう。 (2)おうちで作るおすすめメニュー:「親子で楽しく作ろうメニュー」「自分でつくる、朝ごはんメニュー」「野菜をおいしく食べようメニュー」 (3)みんなに教えたい龍ヶ崎のいいところ:「地域への愛着の気持ちを大事に使用！育もう！」をテーマに、龍ヶ崎のおすすめ景色やびっくりスポットを紹介しよう。</p> <p>3 広報活動 (1)市広報紙「りゅうほー」への掲載:コロナ禍での児童生徒の学校生活の様子を紹介。 (2)作品募集のチラシ作成 :教育機関や公共施設等への配布及び設置。 (3)横断幕、のぼり旗の掲示 :PR用横断幕を市役所庁舎壁面、及びJR常磐線龍ヶ崎駅に掲示 :のぼり旗を市役所正面玄関前、各小中学校、幼稚園、保育園、認定こども園、公共施設等に設置。</p>					
コスト情報	費目/年度	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年
	総額(円)	4,619,227	4,308,542	7,011,829	4,912,374	0
	事業費	266,082	241,497	226,040	174,230	0
	人件費	4,353,145	4,067,045	6,785,789	4,738,144	0
	市民1人あたりの費用 (R02.10/1常住人口)	76,218	60	56	91	64
	財源内訳(円)					
	国支出金	0	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0
	起債	0	0	0	0	0
	その他(受益者負担など)	0	0	0	0	0
一般財源	4,619,227	4,308,542	7,011,829	4,912,374	0	
事業評価	評価項目	評価基準	チェック ※当てはまる事項に ■	判断理由等		
	必要性	・市民ニーズや社会状況の変化により、事業の役割が薄れていないか ・市が事業主体であることが妥当か(国・県・民間と競合していないか)	■ 妥当である □ 概ね妥当である □ 妥当でない	市民の教育に対する興味・関心と理解を深めるにあたり、学校・地域・家庭が連携し、教育の日推進事業を展開し、より良い教育環境を整備することが必要と考える。		
	有効性	・成果目標の達成状況は順調に推移しているか ・成果を向上させるため、事業内容を見直す余地がないか ・活動内容は有効なものとなっているか	■ 有効である □ 概ね有効である □ 有効でない	各教育関係機関による、教育の日関連事業の実施により、市民一人一人の教育に対する興味・関心と理解を深めることができ、大変有効であると考えられる。		
	効率性	・民間委託等の導入や関連する事業との統合等により、コスト削減は可能か ・人件費削減は可能か ・事務事業の目的や成果から考えて、受益者負担等を見直す必要があるか	■ 現行どおり □ 見直し	例年通りの主要事業を実施することができなかったが、通常、関係機関で実施されている内容は成果が出ている。作品募集にかかるチラシや記念品は、低コストで効率的に実施できた。		
今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 廃止					
	明日の龍ヶ崎市を担う心豊かでたくましい子どもたちを育成するため、11月5日の「龍ヶ崎教育の日」、11月の「教育月間」を中心に市民の教育に対する関心と理解を深めてもらう機会とし、さらに学校・地域・家庭が連携して龍ヶ崎教育の日推進事業を展開することとする。また、新型コロナウイルス感染症の感染状況を鑑みながら、主要事業を検討する。一堂に会することなく、学校・地域・家庭が連携して教育に関する事業を展開できるような取り組みを工夫する。					

第2次ふるさと龍ヶ崎戦略プラン 進行管理シート

令和2年度

戦略	2	教育環境の向上～まちづくりを担う人づくり～				
目標	5	子どもの健やかな成長と自立心を育むまちづくり				
施策	1	家庭の教育力の向上				
事業名	各種セミナーの開催・相談体制の充実					
担当課	文化・生涯学習課					
事業の概要・目的	子どもを持つ親たちの学習や交流の場の提供として、子育てふれあいセミナーを開催します。また、家庭教育の悩みなどに対して、家庭教育指導員による家庭教育相談を実施します。					
関連計画等での位置付け	龍ヶ崎市教育振興基本計画 事業No.2-1-1					
活動実績及び成果	<p>例年、市内小学校低学年(第1学年)の子を持つ保護者を対象に、「子育てふれあいセミナー」(家庭教育学級)を開講し、家庭教育や子育てに関する内容をテーマに、講演や研修会を実施している。</p> <p>令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響による一斉休校や学校行事等の縮小を受け、事業の実施を見送り、8月に中止を決定した。</p> <p>1 「子育てアドバイスブック クローバー【概要版】就学前～小学4年生の子をもつ保護者向け」の配布 茨城県教育委員会就学前教育・家庭教育推進室において作成された資料を、市内小学校に対して、小学校1年生から4年生までの子をもつ保護者への配布を依頼した。 なお、PDFファイルでもデータを小学校に提供し、学校だよりや保護者との面談の際に活用できるよう教職員に周知した。</p> <p>2 子育てふれあいセミナー通信の作成及び配布 家庭教育や子育てに支援に関する情報提供の一つとして、小学校1年生の子をもつ保護者に情報提供を行った。 ・7月：茨城県からのお知らせ、家庭教育支援資料モバイル版の紹介等 ・10月：家庭での子どもとの過ごし方、不安やストレスを取り除くスキンシップ、あいさつプラス1のコミュニケーション</p>					
コスト情報	費目/年度	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年
	総額(円)	2,552,279	2,729,312	2,853,563	305,687	0
	事業費	2,017,682	2,038,682	2,082,451	0	0
	人件費	534,597	690,630	771,112	305,687	0
	市民1人あたりの費用 (R02.10/1常住人口)	76,218	33	35	37	4
	財源内訳(円)					
	国支出金	0	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0
	起債	0	0	0	0	0
その他(受益者負担など)	0	0	0	0	0	
一般財源	2,552,279	2,729,312	2,853,563	305,687	0	
事業評価	評価項目	評価基準	チェック ※当てはまる事項に■	判断理由等		
	必要性	・市民ニーズや社会状況の変化により、事業の役割が薄れていないか ・市が事業主体であることが妥当か(国・県・民間と競合していないか)	■ 妥当である □ 概ね妥当である □ 妥当でない	小学校1年生(低学年)の子をもつ保護者たちを中心に、家庭教育や子育てへの不安や悩みを解消するための支援資料を配布した。家庭教育の重要性についての理解と認識を向上させ、家庭教育の推進を図ることができた。		
	有効性	・成果目標の達成状況は順調に推移しているか ・成果を向上させるため、事業内容を見直す余地がないか ・活動内容は有効なものとなっているか	□ 有効である ■ 概ね有効である □ 有効でない	家庭教育支援資料の配布により、家庭教育の重要性についての理解と認識を向上させ、家庭教育の推進を図ることができた。		
	効率性	・民間委託等の導入や関連する事業との統合等により、コスト削減は可能か ・人件費削減は可能か ・事務事業の目的や成果から考えて、受益者負担等を見直す必要があるか	□ 現行どおり ■ 見直し	情報発信の充実を図った。新型コロナウイルスの感染防止策を講じた上で、次年度、事業を実施する際には、各小学校の担当教員や代表者との連携を密にし、少しでも多くのセミナー生の参加促進に向けて見直しが必要と考える。		
今後の方向性	<p>■ 継続 □ 拡充 □ 改善 □ 廃止</p> <p>就学前の子をもつ保護者に対して、就学時健診時の家庭教育講話から、家庭教育の重要性についての理解を深めるための場の提供を充実させる。新型コロナウイルスの感染防止対策を講じた上で、子育てふれあいセミナーの事業実施に向けて企画・検討する。テーマを明確にし、保護者にとって「参加して良かった」と思えるような内容を工夫する。感染状況によっては、オンラインや動画配信でのセミナー実施も検討していく必要がある。</p>					

第2次ふるさと龍ヶ崎戦略プラン 進行管理シート

令和2年度

戦 略	2	教育環境の向上～まちづくりを担う人づくり～				
目 標	5	子どもの健やかな成長と自立心を育むまちづくり				
施 策	2	幼児教育の充実				
事業名	子どもの読書活動の推進					
担当課	文化・生涯学習課／教育総務課					
事業の概要・目的	子ども読書活動推進計画に基づき、幼児期における読み聞かせや読書の重要性の周知を図り、子どもが自主的に読書に取り組む環境整備を進めます。					
関連計画等での位置付け	龍ヶ崎市教育振興基本計画 事業No.3-1-3					
活動実績及び成果	<p>1 子どもの読書状況についてアンケート実施の延期 現行の「龍ヶ崎市子ども読書活動推進計画(第三次)」は、令和3年度で計画期間が終了となるため、今年度(令和2年度)に子どもの読書状況についてアンケートを実施し、その結果を基礎資料として令和4年度に第四次計画を策定する予定でしたが、上位計画となる「龍ヶ崎市教育基本計画」の策定予定が令和5年度に延期となったこと、新型コロナウイルス感染症対策下の「新しい生活様式」を模索している学校や幼稚園等を通じて児童・生徒や保護者を対象に、アンケートを実施するのは難しいことから、令和3年度にアンケートを実施し、「龍ヶ崎市教育基本計画」と足並を揃えて、令和5年度に第四次策定を目指します。</p> <p>2 アンケート案作成と承認 令和3年度前期にアンケートを実施するため、アンケート案作成して、書面審議により2月に開催した第2回龍ヶ崎市子ども読書活動推進委員会会議に諮り承認を得ました。</p> <p>3 電子図書館拡充事業 新型コロナウイルス感染症の影響により図書館が休館や開館時間短縮などの措置を講じた場合にも読書環境を維持するために、幼児や児童、中高生向けのほか、多くの世代でも活用可能な電子書籍を購入し、既存の電子図書館コンテンツを拡充しました。</p> <p>4 学校の臨時休業に伴う読書環境維持への支援 新型コロナウイルス感染症の影響により、臨時休業期間中の児童生徒の読書環境の維持や在宅での学習支援に資するため、市内の全児童生徒に図書カードを配布しました。</p>					
コスト情報	費目/年度	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年
	総額(円)	1,870,064	667,494	570,979	45,174,425	0
	事業費	1,717,322	53,600	31,200	42,881,775	0
	人件費	152,742	613,894	539,779	2,292,650	0
	市民1人あたりの費用 (R02.10/1常住人口)	76,218	24	9	7	593
	財源内訳(円)					
	国 支出金	0	0	0	42,706,342	0
	県 支出金	0	0	0	0	0
	起 債	0	0	0	0	0
	その他(受益者負担など)	0	0	0	0	0
一般財源	1,870,064	667,494	570,979	2,468,083	0	
事業評価	評価項目	評価基準	チェック ※当てはまる事項に ■	判断理由等		
	必要性	・市民ニーズや社会状況の変化により、事業の役割が薄れていないか ・市が事業主体であることが妥当か(国・県・民間と競合していないか)	■ 妥当である □ 概ね妥当である □ 妥当でない	子どもの読書活動は、法律により計画を策定して推進に努めるよう規定されているもので、当市の実情に応じて読書環境の充実に取り組んでいる。		
	有効性	・成果目標の達成状況は順調に推移しているか ・成果を向上させるため、事業内容を見直す余地がないか ・活動内容は有効なものとなっているか	□ 有効である ■ 概ね有効である □ 有効でない	新型コロナウイルス感染症拡大防止対策により、関連する市の計画やスケジュール等の変更が生じたため、第四次策定の予定が1年延期となったが、第三次計画を進行中であり、読書推進に有効な施策を実施している。		
	効率性	・民間委託等の導入や関連する事業との統合等により、コスト削減は可能か ・人件費削減は可能か ・事務事業の目的や成果から考えて、受益者負担等を見直す必要があるか	■ 現行どおり □ 見直し	子ども読書活動推進計画(第3次)で施策を担当している課や学校、中央図書館(指定管理者)が連携することで、効率的に実施されている。		
今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 廃止					
新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として外出自粛が求められ、子どもの読書がクローズアップされている。「新しい生活様式」を取り入れて、現行計画については施策変更を、第四次策定に向けては、webアンケート等を検討しながら、子どもの読書環境を充実させていきます。						

第2次ふるさと龍ヶ崎戦略プラン 進行管理シート

令和2年度

戦 略	2	教育環境の向上～まちづくりを担う人づくり～					
	目 標	5	子どもの健やかな成長と自立心を育むまちづくり				
	施 策	3	子どもが健全に育つ環境の整備				
	事業名	学童保育ルームの充実					
担当課	文化・生涯学習課						
事業の概要・目的	保育需要や保護者のニーズに対応した適正なサービス量を確保し、学童保育や学習支援などの充実を図ります。						
関連計画等での位置付け	龍ヶ崎市教育振興基本計画 事業No.2-3-1						
活動実績及び成果	<p>1業務委託による、安定的な保育ルームの管理運営が図れた。</p> <p>(1) 入所児童数や児童の特性に応じた支援員等の配置を進めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・夏休み期間の児童数の増加や1日保育による支援員の不足がないようにし、児童を安全に支援することができた。 ・障害児の受入れに対しては加配支援員を配置することにより、より児童に沿った支援を行うことができた。 ・施設に必要な備品等の購入や修繕を必要に応じて行い、児童の過ごしやすい環境整備を進めた。 ・保育ルームの開所時間前には、支援員による施設の点検及び感染症対策のための消毒を適切に行った。 <p>(2) 新型コロナウイルス感染症拡大により、集まってくる支援員等に対する研修を行うことが困難であったため、その代わりとして、委託業者のエリアマネージャーや統括責任者を各保育ルームを定期的に巡回させ、情報提供と共有に努めさせた。</p> <p>(3) 新型コロナウイルス感染症拡大により、集まってくる支援員等に対する研修を行うことが困難であったため、その代わりとして、委託業者のエリアマネージャーや統括責任者を各保育ルームを定期的に巡回させ、情報提供と共有に努めさせた。</p> <p>(4) 委託業者と毎月の連絡調整会議や必要に応じた打合せを行い、適宜運営について指導することができた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎月第3水曜日に、委託業者のエリアマネージャー及び統括責任者、学童保育担当職員により連絡調整会議を行いその都度課題解決を行った。 ・毎月月初めには統括責任者から各保育ルームの提出物を受領し、その際に、市役所からの配布物を渡し、必要に応じて打合せを行い、適宜指導することができた。 						
コスト情報	費目/年度		平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年
	総額(円)		158,509,106	164,186,667	167,405,051	197,790,001	0
	事業費		142,547,573	148,762,592	151,982,803	187,549,497	0
	人件費		15,961,533	15,424,075	15,422,248	10,240,504	0
	市民1人あたりの費用 (R02.10/1常住人口)		76,218	2,047	2,130	2,181	2,595
	財源内訳(円)						
	国 支出金		35,498,000	34,857,000	38,831,000	51,560,000	0
	県 支出金		31,654,000	32,950,000	33,988,000	50,200,000	0
	起 債		0	0	0	0	0
	その他(受益者負担など)		45,082,550	47,361,650	48,750,150	40,763,600	0
一般財源		46,274,556	49,018,017	45,835,901	55,266,401	0	
事業評価	評価項目	評価基準	チェック ※当てはまる事項に ■		判断理由等		
	必要性	・市民ニーズや社会状況の変化により、事業の役割が薄れていないか ・市が事業主体であることが妥当か(国・県・民間と競合していないか)	■ 妥当である □ 概ね妥当である □ 妥当でない		女性の就業割合の高まりや核家族化の進行等に伴い、放課後等における児童の居場所の確保と安定的な保育サービスの提供が必要である。		
	有効性	・成果目標の達成状況は順調に推移しているか ・成果を向上させるため、事業内容を見直す余地がないか ・活動内容は有効なものとなっているか	■ 有効である □ 概ね有効である □ 有効でない		児童数の増加に対応するため、特に長期休業中などは、学校の教室を借用し、適正に運営することが出来ている。保育業務の民間委託により、さらに保育環境の充実に図っていく。		
	効率性	・民間委託等の導入や関連する事業との統合等により、コスト削減は可能か ・人件費削減は可能か ・事務事業の目的や成果から考えて、受益者負担等を見直す必要があるか	■ 現行どおり □ 見直し		保育業務の運営を民間事業者に委託することにより、支援員の安定的な確保と民間のノウハウを活かした運営を行っている。今後も支援員の確保と施設の運営等において安定性が期待できる。		
今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 廃止						
	令和2年度より学童保育の運営を民間事業者へ業務委託したことにより、長期休業中の児童数の増加に対応するための支援員の確保を十分に行うことができ、安定的な運営ができた。今後も年間を通しての支援員の確保及び児童の健全育成を支援するための支援員の研修等を定期的に行い、さらに保育環境の充実に図る。						

第2次ふるさと龍ヶ崎戦略プラン 進行管理シート

令和2年度

戦 略	2	教育環境の向上～まちづくりを担う人づくり～					
	目 標	5	子どもの健やかな成長と自立心を育むまちづくり				
	施 策	3	子どもが健全に育つ環境の整備				
	事業名	多様な学習機会の提供					
担当課	文化・生涯学習課／指導課						
事業の概要・目的	アフタースクールやサタデースクール、サマースクールなど、多様な学習機会を提供します。						
関連計画等での位置付け	龍ヶ崎市教育振興基本計画 事業No.2-3-2						
活動実績及び成果	<p>アフタースクール・サタデースクールについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前年度である令和2年3月に、新年度第3学年から第6学年の児童とその保護者に対して、小学校を通して参加募集を行った。 ・令和2年4月末、参加申込書回収。参加希望者数：アフタースクール(8校)129名、サタデースクール(3校)114名。事業実施を楽しみに昨年度から継続して参加予定の児童が多数いた。 ・活動予定：アフタースクール14～16回、サタデースクール18回 ・令和2年6月 アフタースクール、サタデースクール延期通知 ・令和2年7月 アフタースクール・サタデースクール中止通知 <p>・新型コロナウイルス感染症の影響により、事業実施を中止としたが、受託業者と情報交換し、県内市町村の実施状況等を確認し、新型コロナウイルス感染症の感染防止対策を講じた実施方法について、調査を進めた。</p> <p>・次年度、Withコロナを念頭に感染防止対策を講じて、規模の縮小や活動内容の変更を検討し、実施計画を立案する。</p>						
コスト情報	費目/年度	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	
	総額(円)	16,516,930	14,274,578	13,542,617	0	0	
	事業費	10,254,510	9,593,640	9,995,500	0	0	
	人件費	6,262,420	4,680,938	3,547,117	0	0	
	市民1人あたりの費用 (R02.10/1常住人口)	76,218	213	185	176	0	0
	財源内訳(円)						
	国 支出金	0	0	0	0	0	
	県 支出金	3,024,000	3,048,000	2,888,000	0	0	
	起 債	0	0	0	0	0	
	その他(受益者負担など)	0	0	0	0	0	
一般財源	13,492,930	11,226,578	10,654,617	0	0		
事業評価	評価項目	評価基準	チェック ※当てはまる事項に ■	判断理由等			
	必要性	・市民ニーズや社会状況の変化により、事業の役割が薄れていないか ・市が事業主体であることが妥当か(国・県・民間と競合していないか)	■ 妥当である □ 概ね妥当である □ 妥当でない	本事業は、地域の教育力の向上、多様な学習機会の提供、学習習慣の定着等の観点から、その推進を図ることが必要であり、地域社会全体で子どもの豊かな人間性を養っていくための重要な事業であると考えます。			
	有効性	・成果目標の達成状況は順調に推移しているか ・成果を向上させるため、事業内容を見直す余地がないか ・活動内容は有効なものとなっているか	□ 有効である ■ 概ね有効である □ 有効でない	本事業への参加を通じて、放課後や土曜の時間帯の多様な学習機会の提供を図ることで、学習習慣の定着を目指す。また、体験的な活動を取り入れるなど、子どもの居場所としての機能も発揮している。			
	効率性	・民間委託等の導入や関連する事業との統合等により、コスト削減は可能か ・人件費削減は可能か ・事務事業の目的や成果から考えて、受益者負担等を見直す必要があるか	■ 現行どおり □ 見直し	本事業は、民間事業者への業務委託により実施しており、人材の確保や学習内容、体験学習などの活動プログラムの企画・立案・講師の選定、確保等について、多様なネットワークと豊富な知識で事業を展開していることから効率的であると考えます。			
今後の方向性	<p>■ 継続 □ 拡充 □ 改善 □ 廃止</p> <p>今年度、新型コロナウイルスの影響により事業を中止したが、事業への参加を楽しみにしている児童が参加申込みから多数いたことが分かる。楽しみながら児童が学ぶ経験を学習活動と体験活動の両面から支援し、多様な学習機会の提供を図りたい。事業の実施にあたっては、新型コロナウイルスの感染防止対策を講じることを最優先とし、参加児童が安心・安全な環境を準備する必要がある。また、学校や学童保育ルームとの十分な連携や特別な支援を要する児童への対応について十分に配慮していきたい。</p>						

第2次ふるさと龍ヶ崎戦略プラン 進行管理シート

令和2年度

戦略	2	教育環境の向上～まちづくりを担う人づくり～				
目標	5	子どもの健やかな成長と自立心を育むまちづくり				
施策	4	子どもの交流と活動の促進				
事業名	子どもの交流・活動拠点の充実					
担当課	文化・生涯学習課					
事業の概要・目的	たつのこ山管理棟の施設を利用して、サポーターやボランティアの見守りにより、子どもたちの自由な発想を育む空間を提供します。					
関連計画等での位置付け	龍ヶ崎市教育振興基本計画 事業No.2-4-1					
活動実績及び成果	<p>たつのこやま管理棟内における「子どもの居場所づくり事業」施設来館者数：629人</p> <p>(1)NPO法人ティディ・ベア(土・日曜日 10:00～16:00)</p> <p>(2)龍ヶ崎市女性会(木曜日 14:00～16:30)</p> <p>(3)たつのこ山囲碁クラブ(月曜日 13:00～16:30)</p> <p>感染症拡大防止のため4月から6月まで公共施設を閉鎖していたため、7月から制限をして開館した。これまではだれでも自由に入館していたが、市内の小中学校の児童生徒に限定し、マスクや消毒・換気、人数を制限し、来館時の名簿への記入などを徹底して実施した。</p>					
コスト情報	費目/年度	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年
	総額(円)	2,972,219	844,104	2,656,710	2,318,083	0
	事業費	2,284,880	0	1,962,709	1,401,023	0
	人件費	687,339	844,104	694,001	917,060	0
	市民1人あたりの費用 (R02.10/1常住人口)	76,218	38	11	35	30
	財源内訳(円)					
	国支出金	0	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0
	起債	0	0	0	0	0
その他(受益者負担など)	0	0	0	0	0	
一般財源	2,972,219	844,104	2,656,710	2,318,083	0	
事業評価	評価項目	評価基準	チェック ※当てはまる事項に ■	判断理由等		
	必要性	・市民ニーズや社会状況の変化により、事業の役割が薄れていないか ・市が事業主体であることが妥当か(国・県・民間と競合していないか)	<input type="checkbox"/> 妥当である <input checked="" type="checkbox"/> 概ね妥当である <input type="checkbox"/> 妥当でない	感染症の拡大防止による外出自粛が解除されたものの、たつのこやま周辺の賑わい創出に寄与している。		
	有効性	・成果目標の達成状況は順調に推移しているか ・成果を向上させるため、事業内容を見直す余地がないか ・活動内容は有効なものとなっているか	<input type="checkbox"/> 有効である <input checked="" type="checkbox"/> 概ね有効である <input type="checkbox"/> 有効でない	入場制限をしているため利用者数例年よりは少ないものの、リピーターが多いことから利用する子どもたちの満足度は高いと思われる、活動内容は十分有効なものである。		
	効率性	・民間委託等の導入や関連する事業との統合等により、コスト削減は可能か ・人件費削減は可能か ・事務事業の目的や成果から考えて、受益者負担等を見直す必要があるか	<input checked="" type="checkbox"/> 現行どおり <input type="checkbox"/> 見直し	最小限の2名の見守りでも十分対応可能である。		
今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 廃止					
	たつのこやま管理棟での居場所づくり事業については、感染症の感染拡大防止対策を講じ、活動の制限はあるものの、利用する子どもたちが安心して活動できる居場所を提供していきたい。					

第2次ふるさと龍ヶ崎戦略プラン 進行管理シート

令和2年度

戦 略	2	教育環境の向上～まちづくりを担う人づくり～					
目 標	5	子どもの健やかな成長と自立心を育むまちづくり					
施 策	4	子どもの交流と活動の促進					
事業名	子どもの地域活動への参加促進						
担当課	文化・生涯学習課／指導課						
事業の概要・目的	子どもの地域活動への参加を促し、青少年の健全育成を図ります。						
関連計画等での位置付け	龍ヶ崎市教育振興基本計画 事業No.2-4-3						
活動実績及び成果	<p>1 市内一斉清掃 例年、青少年育成龍ヶ崎市民会議から小中学校を通して、児童・生徒に市内一斉清掃(6月・11月・3月)への参加を呼び掛け、参加した児童・生徒には学校を通してまちづくりポイントシールを配布している。今年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、学校を通しての参加の呼びかけを取りやめた。</p> <p>2 あいさつ・声かけ運動 例年、7月・11月に実施している市内小学校における朝の「あいさつ・声かけ運動」及び市内ショッピングセンターにおけるキャンペーンは中止とした。 市民会議の各支部及び市内小中学校において、「あいさつ・声かけ運動」ののぼり旗の設置を行った。</p>						
コスト情報	費目/年度	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	
	総額(円)	1,132,823	1,060,840	1,065,335	904,217	0	
	事業費	140,000	140,000	140,000	140,000	0	
	人件費	992,823	920,840	925,335	764,217	0	
	市民1人あたりの費用 (R02.10/1常住人口)	76,218	15	14	14	12	0
	財源内訳(円)						
	国 支出金	0	0	0	0	0	
	県 支出金	0	0	0	0	0	
起 債	0	0	0	0	0		
その他(受益者負担など)	0	0	0	0	0		
一般財源	1,132,823	1,060,840	1,065,335	904,217	0		
事業評価	評価項目	評価基準	チェック ※当てはまる事項に ■	判断理由等			
	必要性	・市民ニーズや社会状況の変化により、事業の役割が薄れていないか ・市が事業主体であることが妥当か(国・県・民間と競合していないか)	<input type="checkbox"/> 妥当である <input checked="" type="checkbox"/> 概ね妥当である <input type="checkbox"/> 妥当でない	学校・家庭・地域において、「あいさつ・声かけ」をすることにより、児童・生徒とのかかわりを持ち、市民がみなで健やかな成長や自立心を育ませる取り組みは、社会ニーズである。			
	有効性	・成果目標の達成状況は順調に推移しているか ・成果を向上させるため、事業内容を見直す余地がないか ・活動内容は有効なものとなっているか	<input type="checkbox"/> 有効である <input checked="" type="checkbox"/> 概ね有効である <input type="checkbox"/> 有効でない	青少年育成事業の連携をするため、各団体が実施するすべての事業で相互の会員が参加することで協力体制を築いている。今年度は、感染防止対策を講じた上で出来る範囲で活動を行い、目標達成に有効なものとなっている。			
	効率性	・民間委託等の導入や関連する事業との統合等により、コスト削減は可能か ・人件費削減は可能か ・事務事業の目的や成果から考えて、受益者負担等を見直す必要があるか	<input checked="" type="checkbox"/> 現行どおり <input type="checkbox"/> 見直し	青少年育成団体など多くの団体と協力して事業を展開している。			
今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 廃止						
	今後も児童・生徒の市内一斉清掃への参加呼びかけや、あいさつ・声かけ運動を通して青少年健全育成を図る。						

第2次ふるさと龍ヶ崎戦略プラン 進行管理シート

令和2年度

戦 略	2	教育環境の向上～まちづくりを担う人づくり～				
目 標	6	生涯にわたり学び、文化やスポーツに親しめるまちづくり				
施 策	1	生涯学習環境の充実と人権教育・啓発の推進				
事業名	人権啓発活動の充実					
担当課	文化・生涯学習課					
事業の概要・目的	人権尊重について、身近で大切なものと感じ、理解を深めることのできる啓発を行います。					
関連計画等での位置付け	龍ヶ崎市教育振興基本計画 事業No.3-3-1					
活動実績及び成果	<p>●人権啓発に係るパネル展の開催 国が定める人権週間(12月4日～10日)に合わせて、啓発パネルを展示</p> <p>【開催準備】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・内閣官房拉致問題対策本部事務局政策企画室にパネルの借用を申請(5月) ・市庁舎1階ホールの利用申請(5月) ・周知ポスター、チラシの作成(11月) ・パネル展示場所で拉致問題啓発アニメを上映するため、DVD再生用PCを借用申請(11月) <p>【広報活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・りゅうほー11月後半号に開催記事掲載 ・市内中学校の全生徒に学校を通してチラシ配布、および市内小学校、コミュニティセンター等の公共施設にポスターを配布し掲示依頼 <p>【パネル展開催】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・期間:12月1日(火)～12月11日(金) 8時30分～17時 ・場所:市役所庁舎1階ホール ・内容:①拉致問題パネル(9点)の展示 ②拉致問題啓発アニメ「めぐみ」の上演(本編25分、繰り返し再生) ③拉致問題に関する閲覧資料の設置 <p>※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、マスク着用のご案内や消毒液を会場に設置</p>					
コスト情報	費目/年度	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年
	総額(円)	235,309	157,393	201,882	152,843	0
	事業費	6,196	3,920	47,660	0	0
	人件費	229,113	153,473	154,222	152,843	0
	市民1人あたりの費用 (R02.10/1常住人口)	76,218	3	2	3	2
	財源内訳(円)					
	国 支出金	0	0	0	0	0
	県 支出金	0	0	0	0	0
起 債	0	0	0	0	0	
その他(受益者負担など)	0	0	0	0	0	
一般財源	235,309	157,393	201,882	152,843	0	
事業評価	評価項目	評価基準	チェック ※当てはまる事項に ■	判断理由等		
	必要性	・市民ニーズや社会状況の変化により、事業の役割が薄れていないか ・市が事業主体であることが妥当か(国・県・民間と競合していないか)	■ 妥当である □ 概ね妥当である □ 妥当でない	人権問題は全ての人に関わるものであり、国や県と連携しながら市が周知啓発を図ることは重要である。		
	有効性	・成果目標の達成状況は順調に推移しているか ・成果を向上させるため、事業内容を見直す余地がないか ・活動内容は有効なものとなっているか	□ 有効である ■ 概ね有効である □ 有効でない	コロナ禍での実施となったが、来庁者が用事で市役所を訪れたついでにパネルを眺める姿が見受けられ、一定の成果があったと考える		
	効率性	・民間委託等の導入や関連する事業との統合等により、コスト削減は可能か ・人件費削減は可能か ・事務事業の目的や成果から考えて、受益者負担等を見直す必要があるか	■ 現行どおり □ 見直し	啓発パネルは申請すれば無料で借用可能であり、最小限のコストで事業を実施している。		
今後の方向性	<p>■ 継続 □ 拡充 □ 改善 □ 廃止</p> <p>人権問題は基本的に終わりが存在しないものであることから、意識の高揚を図るため、今後も継続して事業を実施していく。今回は初めて啓発アニメの上映も行って見たが、通りがかった人が少しでも興味を持ち、足を止めてもらえるような工夫も必要であると考えている。</p>					

第2次ふるさと龍ヶ崎戦略プラン 進行管理シート

令和2年度

戦略	2	教育環境の向上～まちづくりを担う人づくり～				
	目標	6	生涯にわたり学び、文化やスポーツに親しめるまちづくり			
	施策	1	生涯学習環境の充実と人権教育・啓発の推進			
	事業名	市民大学講座の充実				
担当課	企画課／文化・生涯学習課					
事業の概要・目的	大学等との連携により、市民ニーズに応える専門性の高い講座を実施します。					
関連計画等での位置付け	龍ヶ崎市教育振興基本計画 事業No.3-2-2、3-2-3					
活動実績及び成果	<p>新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から実施することができなかった。</p> <p>(1) 東洋大学生涯学習プログラムによる講座の開催 講師派遣を予定していた大学側で年度当初に派遣期間が9月以降と指定され、開催に向けた調整の結果、講座開催には至らなかった。</p> <p>(2) 流通経済大学と連携した市民大学講座の開催 ①大学側との協議調整のうえ、大学の学園祭に合わせて実施できるよう当初調整。 ②新たな公開方法の検討として、市民が学生に受講させているWEB授業への参加等を協議。 ③大学学園祭も中止となり市民大学講座の開催には至らなかった。</p>					
コスト情報	費目/年度	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年
	総額(円)	534,597	867,555	0	0	0
	事業費	0	23,451	0	0	0
	人件費	534,597	844,104	0	0	0
	市民1人あたりの費用 (R02.10/1常住人口)	76,218	7	11	0	0
	財源内訳(円)					
	国支出金	0	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0
	起債	0	0	0	0	0
	その他(受益者負担など)	0	0	0	0	0
一般財源	534,597	867,555	0	0	0	
事業評価	評価項目	評価基準	チェック ※当てはまる事項に ■	判断理由等		
	必要性	・市民ニーズや社会状況の変化により、事業の役割が薄れていないか ・市が事業主体であることが妥当か(国・県・民間と競合していないか)	<input type="checkbox"/> 妥当である <input checked="" type="checkbox"/> 概ね妥当である <input type="checkbox"/> 妥当でない	高度な内容の学習機会を市民に提供するため、大学教授等専門性の高い講師による講座の提供が必要である。		
	有効性	・成果目標の達成状況は順調に推移しているか ・成果を向上させるため、事業内容を見直す余地がないか ・活動内容は有効なものとなっているか	<input type="checkbox"/> 有効である <input checked="" type="checkbox"/> 概ね有効である <input type="checkbox"/> 有効でない	大学と連携した魅力ある講座を毎年開催しており、有効な事業であると考えられるが、更に多くの市民の方に参加いただけるよう魅力あるテーマや参加しやすい開催日時や手法について、大学と協議しながら、引き続き検討していく。		
	効率性	・民間委託等の導入や関連する事業との統合等により、コスト削減は可能か ・人件費削減は可能か ・事務事業の目的や成果から考えて、受益者負担等を見直す必要があるか	<input checked="" type="checkbox"/> 現行どおり <input type="checkbox"/> 見直し	参加費について、テキスト代等が発生する場合には、実費相当分を徴収するようにしている。講座の開催にあたっては、大学と共働で効率的に事務を行っている。		
今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 廃止					
	WEB会議形式を活用した講座の開催や講座動画の配信など実施に向けた新たな手法の検討も大学側と協議し進めていきたい。 今後も魅力ある新規講座の開講について、継続し検討していく。					

第2次ふるさと龍ヶ崎戦略プラン 進行管理シート

令和2年度

戦略	2	教育環境の向上～まちづくりを担う人づくり～					
目標	6	生涯にわたり学び、文化やスポーツに親しめるまちづくり					
施策	2	文化財の保存・活用と文化芸術に親しむ機会の充実					
事業名	市民遺産の認定						
担当課	文化・生涯学習課						
事業の概要・目的	指定文化財以外で、市民に親しまれている身近な自然や歴史的・文化的な遺産を「龍ヶ崎市民遺産」として認定し、市民の地域に対する誇りや愛着の醸成を図ります。						
関連計画等での位置付け	龍ヶ崎市教育振興基本計画 事業No.4-2-2						
活動実績及び成果	<p>1 認定候補物件の公募</p> <ul style="list-style-type: none"> ・5/1から市公式ホームページにおいて「令和2年度市民遺産候補募集」の記事を掲載。 ・りゅうほー5月前半号において、令和元年度認定市民遺産の紹介と共に、令和2年度認定候補の募集記事を掲載。 ・9月末日までに1件の候補推薦があった。 <p>【候補物件】関東鉄道竜ヶ崎線 【推薦者】龍ヶ崎市地域公共交通活性化協議会(十文字会長)</p> <p>2 候補物件についての調査</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上記推薦を受け、候補物件に関する調査を実施。 <p>3 文化財保護審議会への諮問・答申</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育委員会定例会での了承を得て、11月25日付けで文化財保護審議会に対し諮問。 ・12月21日に「令和2年度第1回文化財保護審議会」を開催。委員からの意見を取りまとめ、12月25日付けで市民遺産への認定が妥当である旨の答申を受ける。 <p>4 市民遺産への認定・告示／認定書交付式の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和3年第1回教育委員会定例会に附議し、1月27日付けで正式に市民遺産として認定。同日付けで告示。 ・2月9日に推薦者の十文字会長および関東鉄道(株)関係者らを招いて教育長から認定書を交付。 						
コスト情報	費目/年度	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	
	総額(円)	3,528,651	2,612,927	3,011,714	2,629,590	0	
	事業費	1,084,780	924,720	1,546,600	1,254,000	0	
	人件費	2,443,871	1,688,207	1,465,114	1,375,590	0	
	市民1人あたりの費用 (R02.10/1常住人口)	76,218	46	34	39	35	
	財源内訳(円)						
	国 支出金	0	0	0	0	0	
	県 支出金	0	0	0	0	0	
	起 債	0	0	0	0	0	
	その他(受益者負担など)	0	0	0	0	0	
一般財源	3,528,651	2,612,927	3,011,714	2,629,590	0		
事業評価	評価項目	評価基準	チェック ※当てはまる事項に ■	判断理由等			
	必要性	・市民ニーズや社会状況の変化により、事業の役割が薄れていないか ・市が事業主体であることが妥当か(国・県・民間と競合していないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 概ね妥当である <input type="checkbox"/> 妥当でない	市民遺産制度は貴重な歴史的・文化的資源の保存・継承に資するだけでなく、当市の魅力のひとつとしてまちの活性化等にも活用できるものであり、引き続き継続していくことが重要である。			
	有効性	・成果目標の達成状況は順調に推移しているか ・成果を向上させるため、事業内容を見直す余地がないか ・活動内容は有効なものとなっているか	<input checked="" type="checkbox"/> 有効である <input type="checkbox"/> 概ね有効である <input type="checkbox"/> 有効でない	今回で通算14件目の認定となり、「平成33年度(=令和3年度)までに12件」という当初目標値を既に上回る成果を挙げている。			
	効率性	・民間委託等の導入や関連する事業との統合等により、コスト削減は可能か ・人件費削減は可能か ・事務事業の目的や成果から考えて、受益者負担等を見直す必要があるか	<input checked="" type="checkbox"/> 現行どおり <input type="checkbox"/> 見直し	事業の性質上、民間委託等にはそぐわないものであり、また、受益者負担が伴うものではない。			
今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 廃止						
	市民遺産の認定がマスコミ等でも取り上げられ、それが当市の魅力を多くの方に知っていただくことや、シビックプライドの醸成にも繋がっていることから、今後も認定制度を継続し、更なる「市のお宝」の発掘や龍ヶ崎のアピールに貢献していく。						

第2次ふるさと龍ヶ崎戦略プラン 進行管理シート

令和2年度

戦略	2	教育環境の向上～まちづくりを担う人づくり～				
目標	6	生涯にわたり学び、文化やスポーツに親しめるまちづくり				
施策	2	文化財の保存・活用と文化芸術に親しむ機会の充実				
事業名	歴史的資源などの活用					
担当課	文化・生涯学習課					
事業の概要・目的	指定文化財や市民遺産などの資源を活用し、その他の地域資源と組み合わせた散策・観光コースを提案するなど、魅力的な環境づくりを推進します。					
関連計画等での位置付け	龍ヶ崎市教育振興基本計画 事業No.4-2-3					
活動実績及び成果	<p>1 国指定重要文化財「絹本着色十六羅漢像」の複製(4幅) ・第13尊者～第16尊者までの4幅の掛軸の複製を業務委託により作製 【委託先:(株)日展 契約額:5,203,000円 履行期間:R2.5.22～R3.2.28】</p> <p>2 「国指定重要文化財『絹本着色十六羅漢像(複製)』公開展」の企画 ・令和2年度分業務委託により全16幅の複製が完成したことを受け、令和3年度の展示計画を策定 【展示予定期間】R3.8.1～R3.8.31(1か月間) 【展示会場】歴史民俗資料館 企画展示室</p> <p>3 歴史的・文化的資源を活用した周知啓発事業の企画 ・令和2年度については新型コロナウイルス感染症の収束が見込めない状況であることを踏まえ、令和3年度以降(=コロナ収束後)の実施を想定した事業の企画案(3パターン)を策定 ①歴史散策ツアー(女化周辺エリア) ②講演会・現地見学会(赤レンガ西洋館) ③市民遺産ラリー</p> <p>4 県指定文化財「龍ヶ崎のシダレザクラ」後継樹の苗木植樹 ・般若院のシダレザクラの原木から採取した小枝を挿し木により増やした後継樹の苗木(2本)を、上町八坂神社南側にある登録有形文化財「旧諸岡家住宅煉瓦門及び塀」前の広場に植樹 【植樹式】R3.2.25 【参加者】国立研究開発法人・森林総合研究所林木育種センター所長 上 錬三氏 / 般若院住職 荒槇 純隆氏 / 赤レンガ保存実行委員会会長 久保田 房子氏 / 市長 / 教育長 ほか</p>					
コスト情報	費目/年度	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年
	総額(円)	305,484	6,549,055	13,021,887	6,578,590	0
	事業費	0	5,321,268	10,939,884	5,203,000	0
	人件費	305,484	1,227,787	2,082,003	1,375,590	0
	市民1人あたりの費用 (R02.10/1常住人口)	76,218	4	85	170	86
	財源内訳(円)					
	国支出金	0	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0
	起債	0	0	0	0	0
	その他(受益者負担など)	0	0	0	0	0
一般財源	305,484	6,549,055	13,021,887	6,578,590	0	
事業評価	評価項目	評価基準		チェック ※当てはまる事項に ■	判断理由等	
	必要性	・市民ニーズや社会状況の変化により、事業の役割が薄れていないか ・市が事業主体であることが妥当か(国・県・民間と競合していないか)		■ 妥当である □ 概ね妥当である □ 妥当でない	人口の減少化が進む中、「住み続けたい・住んでみたい」まちとなるよう、当市の大きな財産である歴史的・文化的資源を有効活用し、魅力を発信することは大きな意義があると考えます。	
	有効性	・成果目標の達成状況は順調に推移しているか ・成果を向上させるため、事業内容を見直す余地がないか ・活動内容は有効なものとなっているか		■ 有効である □ 概ね有効である □ 有効でない	市民遺産制度がスタートした平成27年度以降、のべ21件の説明板を設置するなど、歴史散策がしやすい環境づくりを着実に進めている。	
	効率性	・民間委託等の導入や関連する事業との統合等により、コスト削減は可能か ・人件費削減は可能か ・事務事業の目的や成果から考えて、受益者負担等を見直す必要があるか		■ 現行どおり □ 見直し	他部署やNPO団体等とも協働し、効率的・効果的に歴史的資源を活用した事業を推進している。	
今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 廃止					
	コロナ禍にあることを考慮し、令和2年度においては集客・参加型イベントの実施を見合わせる結果となったが、次年度以降は情勢を見極めながら、感染防止対策を講じたうえで実施可能な様々な事業を展開し、当市の魅力の発信・再発見に繋げていく。					

(2) スポーツ都市推進課

第2次ふるさと龍ヶ崎戦略プラン 進行管理シート

令和2年度

戦 略	1	若い世代の希望の実現～若者・子育て世代の定住環境の創出～					
	目 標	2	住んでみたいと感じるまちづくり				
	施 策	3	大学等と連携した人材育成と生涯学習・生涯スポーツの推進				
	事業名	トップアスリートの育成					
担当課	スポーツ都市推進課						
事業の概要・目的	トップアスリートを育成するための環境整備を行います。						
関連計画等での位置付け	龍ヶ崎市教育振興基本計画 事業No.5-1-2、5-4-2						
活動実績及び成果	<p>1. 技術講習会 競技者の競技力向上を図るための技術講習会については、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止。</p> <p>2. 全国大会等出場者への激励金の交付及び表彰 激励金交付件数:24件 成績優秀者の表彰式:2月27日(土)(新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため式は中止したが表彰は実施) 表彰対象者:団体1団体 個人28名 功労者(指導者)3名</p> <p>3. 龍ヶ崎市2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会出場特別奨励金交付要綱の制定 2020オリンピック・パラリンピック東京大会への出場が内定した郷土出身選手を支援するため、新制度の要綱を制定(令和2年6月)し、スポーツライミングで出場が内定している選手1名(野口啓代選手)に特別奨励金を交付した。(令和2年12月)</p> <p>4. スポーツ指導者育成講習会 下記のとおり実施する予定だったが新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止 開催日:2月27日(土) 会場:たつのこアリーナ多目的室 内容:やる気とパフォーマンスを引き出すメンタルトレーニング、ジュニア期におけるスポーツ栄養スキル</p>						
コスト情報	費目/年度	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	
	総額(円)	2,464,164	2,570,936	2,965,435	2,110,444	0	
	事業費	1,242,228	1,036,202	1,114,765	1,346,227	0	
	人件費	1,221,936	1,534,734	1,850,670	764,217	0	
	市民1人あたりの費用 (R02.10/1常住人口)	76,218	32	33	39	28	0
	財源内訳(円)						
	国 支出金	0	0	0	0	0	
	県 支出金	0	0	0	0	0	
	起 債	0	0	0	0	0	
	その他(受益者負担など)	0	0	0	0	0	
一般財源	2,464,164	2,570,936	2,965,435	2,110,444	0		
事業評価	評価項目	評価基準	チェック ※当てはまる事項に ■	判断理由等			
	必要性	・市民ニーズや社会状況の変化により、事業の役割が薄れていないか ・市が事業主体であることが妥当か(国・県・民間と競合していないか)	■ 妥当である □ 概ね妥当である □ 妥当でない	トップアスリートの活躍はスポーツ振興だけでなく市民のふるさと意識の醸成及び地域活性化につながるものと期待されており、トップアスリートの育成施策の必要性は高いと思われる。			
	有効性	・成果目標の達成状況は順調に推移しているか ・成果を向上させるため、事業内容を見直す余地がないか ・活動内容は有効なものとなっているか	■ 有効である □ 概ね有効である □ 有効でない	講習会については、トップアスリートや流経大運動部等の知見を活用した指導内容に対し参加者が満足している。また、激励金等についても選手の活動支援として活用されている。			
	効率性	・民間委託等の導入や関連する事業との統合等により、コスト削減は可能か ・人件費削減は可能か ・事務事業の目的や成果から考えて、受益者負担等を見直す必要があるか	■ 現行どおり □ 見直し	講習会・表彰式については、市体育協会及び流経大と連携して行うことで、効果的に市内スポーツ関係団体の活性化が図られるため、民間委託等の導入は適さない。			
今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 廃止						
新型コロナウイルス感染症の感染状況を見極めながら、優れた素質を有するまたはトップレベルを目指している競技者に対し、高度な指導ができるようスポーツ指導者養成講習会等を定期的で開催するとともに、ジュニア期からトップアスリートを育成していくため、市内スポーツ団体と連携し養成講座等の実施を検討していく。また、2020年オリンピック・パラリンピック東京大会へ出場する選手をはじめ、全国大会や国際大会に出場する選手への支援を継続していく。							

第2次ふるさと龍ヶ崎戦略プラン 進行管理シート

令和2年度

戦 略	1	若い世代の希望の実現～若者・子育て世代の定住環境の創出～				
	目 標	2	住んでみたいと感じるまちづくり			
	施 策	3	大学等と連携した人材育成と生涯学習・生涯スポーツの推進			
	事業名	総合型地域スポーツクラブの支援				
担当課	スポーツ都市推進課					
事業の概要・目的	クラブの活動や実施事業を広報紙や市公式ホームページへ掲載し、活動状況の周知を図るとともに、活動場所・練習施設等の支援を行います。					
関連計画等での位置付け	龍ヶ崎市教育振興基本計画 事業No.5-3-2					
活動実績及び成果	<p>1. 総合型地域スポーツクラブの活動内容の市民への周知 クラブの活動を市のホームページにリンクし、市民に広く周知した。</p> <p>2. 総合型地域スポーツクラブの活動場所の連携協力 活動場所・練習場所について連携協力し、市民へのスポーツ機会の充実を図った。</p> <p>3. 総合型地域スポーツクラブ(クラブ・ドラゴンズ)への交付金事業 今年度は4事業の実施を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の影響により2事業のみ実施。</p> <p>(1) ランニングクリニック開催事業 メインイベント：流通経済大学龍ヶ崎フィールドにて11/7(土)に実施。参加者数90人 流通経済大学客員教授の谷川真理氏を講師に迎え、初心者から経験者まで個々にあったランニングのスキルアップを目指し、走る前の効果的なストレッチやランニングフォームのワンポイントレッスンなどを行った。 サブイベント：龍ヶ崎市総合運動公園付近のロード走 実施回数：15回 参加者数：延べ112人 講師と一緒に龍ヶ崎市総合運動公園付近のロードを走り、併せてランニングの動きづくりを指導した。</p> <p>(2) ウォーキング教室開催事業 各コミュニティセンターを拠点として、それぞれ年3回程度のポールウォーキング講座を実施。 実施回数：24回 参加者数：延べ321人</p>					
コスト情報	費目/年度	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年
	総額(円)	381,855	1,875,894	3,829,682	1,860,406	0
	事業費	0	1,262,000	3,058,570	1,325,454	0
	人件費	381,855	613,894	771,112	534,952	0
	市民1人あたりの費用 (R02.10/1常住人口)	76,218	5	24	50	24
	財源内訳(円)					
	国支出金	0	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0
	起債	0	0	0	0	0
	その他(受益者負担など)	0	0	0	0	0
一般財源	381,855	1,875,894	3,829,682	1,860,406	0	
事業評価	評価項目	評価基準	チェック ※当てはまる事項に■	判断理由等		
	必要性	・市民ニーズや社会状況の変化により、事業の役割が薄れていないか ・市が事業主体であることが妥当か(国・県・民間と競合していないか)	■ 妥当である □ 概ね妥当である □ 妥当でない	NPO法人クラブ・ドラゴンズは市内唯一の総合型地域スポーツクラブであり、子どもから高齢者までそれぞれのレベルに合わせて参加できる教室を開催している。市民のスポーツ活動を推進する上で今後も協力・連携していくことが必要。		
	有効性	・成果目標の達成状況は順調に推移しているか ・成果を向上させるため、事業内容を見直す余地がないか ・活動内容は有効なものとなっているか	■ 有効である □ 概ね有効である □ 有効でない	今年度においては、新型コロナウイルス感染症の影響により交付金事業の一部が実施できなかったが、龍ヶ崎市総合体育館外13施設の指定管理者である「たつのこまちづくりパートナーズ」の構成員となったことにより、活動内容も充実してきている。		
	効率性	・民間委託等の導入や関連する事業との統合等により、コスト削減は可能か ・人件費削減は可能か ・事務事業の目的や成果から考えて、受益者負担等を見直す必要があるか	■ 現行どおり □ 見直し	NPO(特定非営利活動)法人としてのクラブであり、不特定多数のものに利益を寄与することを目的としたものため、民間委託はそぐわない。		
今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 廃止					
	今年度よりNPO法人クラブ・ドラゴンズが龍ヶ崎市総合体育館外13施設の指定管理者である「たつのこまちづくりパートナーズ」の構成員となったことにより、自立的運営が図られつつあり、さらに充実したスポーツ施策の展開が期待できる。					

第2次ふるさと龍ヶ崎戦略プラン 進行管理シート

令和2年度

戦略	2	教育環境の向上～まちづくりを担う人づくり～					
目標	6	生涯にわたり学び、文化やスポーツに親しめるまちづくり					
施策	3	スポーツ環境の充実					
事業名	流通経済大学運動部との連携						
担当課	企画課／スポーツ都市推進課						
事業の概要・目的	流通経済大学運動部応援ツアーの開催や総合運動公園における公式戦開催への協力、運動部活動の情報発信等を行うとともに、大学運動部と各種団体が連携したイベント開催等を推進し、市民がスポーツに親しむ機会を提供します。						
関連計画等での位置付け	龍ヶ崎市教育振興基本計画 事業No.5-1-1						
活動実績及び成果	<p>新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から活動可能なもののみ実施した。</p> <p>(1)各運動部の公式試合日程等の情報提供 ・総合運動公園イベントスケジュールへの掲載を掲示するとともに、市広報紙、市公式ホームページ・SNSや龍ヶ崎市駅デジタルサイネージなどを活用した試合情報の提供を行い、身近な場所で全国レベルの大学スポーツが観戦できることを市民に周知しようとしたが、市民参加型の試合等の開催に至らなかった。</p> <p>(2)市の運動施設の優先貸出 ・総合運動公園における流通経済大学運動部の公式戦等は、次のとおり開催された。 サッカー 関東大学サッカーリーグ戦・・・3試合 関東サッカーリーグ(KSL)・・・10試合 ラグビー なし 硬式野球 東京新大学野球連盟秋季リーグ戦・・・2試合 陸上競技 流通経済大学陸上競技会・・・6回</p> <p>(3)応援バスツアーの開催 ・新型コロナ感染症拡大防止の観点から実施に至らなかった。</p>						
コスト情報	費目/年度	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	
	総額(円)	1,003,951	1,011,653	1,016,686	152,843	0	
	事業費	11,128	14,076	14,240	0	0	
	人件費	992,823	997,577	1,002,446	152,843	0	
	市民1人あたりの費用 (R02.10/1常住人口)	76,218	13	13	13	2	0
	財源内訳(円)						
	国 支出金	0	0	0	0	0	
	県 支出金	0	0	0	0	0	
起 債	0	0	0	0	0		
その他(受益者負担など)	0	15,500	0	0	0		
一般財源	1,003,951	996,153	1,016,686	152,843	0		
事業評価	評価項目	評価基準	チェック ※当てはまる事項に■	判断理由等			
	必要性	・市民ニーズや社会状況の変化により、事業の役割が薄れていないか ・市が事業主体であることが妥当か(国・県・民間と競合していないか)	■ 妥当である □ 概ね妥当である □ 妥当でない	サッカー部、ラグビー部及び硬式野球部の活躍は、テレビ、新聞及びネットでも取り上げられ、市民の注目度も年々高まっていると感じられることから継続した取り組みが必要である。			
	有効性	・成果目標の達成状況は順調に推移しているか ・成果を向上させるため、事業内容を見直す余地がないか ・活動内容は有効なものとなっているか	■ 有効である □ 概ね有効である □ 有効でない	「応援ツアー」も定着しつつあり、また、総合運動公園で開催するサッカー部などの試合も一定の集客があり、市民がトップスポーツに親しむ機会になっている。			
	効率性	・民間委託等の導入や関連する事業との統合等により、コスト削減は可能か ・人件費削減は可能か ・事務事業の目的や成果から考えて、受益者負担等を見直す必要があるか	■ 現行どおり □ 見直し	応援バスツアー参加者負担金は、市バス使用料程度の徴収であり、歳入を増やすことは難しく、また、事務作業においても効率的に行っている。			
今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 廃止						
<p>市民に対し「市内でトップレベルの大学生の試合が見ることができると」を改めて周知し、観戦に訪れる新たな市民を増やすとともに、JFL(日本フットボールリーグ)の試合は、観戦者数は多くないとはいえ、全国からサポーターが訪れることから今後は、市外からの交流人口の取り込みも踏まえて、流通経済大学運動部と更なる連携強化を進めたい。</p>							

第2次ふるさと龍ヶ崎戦略プラン 進行管理シート

令和2年度

戦略	4	地域力の向上～安全・安心で住みよい環境づくり～				
目標	12	スポーツ健幸日本ー【重点目標】				
施策	1	スポーツ・運動を通じた健康づくりの推進				
事業名	マラソン大会開催					
担当課	秘書課／スポーツ都市推進課					
事業の概要・目的	オリンピックレガシーを活用し、市内外から多くの人が参加できるマラソン大会を開催します。					
関連計画等での位置付け						
活動実績及び成果	<ol style="list-style-type: none"> マラソン大会実行委員会の運営 6月下旬に実行委員会を設立し、コロナ禍でも安全・安心なマラソン大会とするため、大会コンセプトや大会規模、運営方法等の検討を行い、マラソン大会実施計画(案)について了承を得た(全2回開催)。 マラソン大会運営委員会の運営 運営委員会を全6回開催し、運営方法について協議を行い、大会要項、運営マニュアルの作成を行った。 マラソン大会運営業務委託 主に、エントリー関連業務や設営関連業務、計測関連業務等について契約を締結し、作業スケジュールに基づき、業者と協議しながら大会開催に向けて取組を進めた。 茨城県警竜ヶ崎警察署交通課との協議 交通警備計画書(案)を作成し、警察署と協議しながら計画内容のブラッシュアップを図った。 エントリーについて 大会HPを創設し、エントリー募集した結果、市民優先枠256名+一般枠1378名=1,634名の申込があった。 救護体制及びボランティアの動員 救護体制における救護所やAED隊の配置等を考案するにあたって、龍ヶ崎消防署や流通経済大学ライフセービング部と連携しながら、救護マニュアルの作成を行った。 新型コロナウイルス感染症対策について 種目をハーフマラソンのみとし、高校生以下の年代を除く茨城県内限定で大会を開催することとした。その他、(一財)日本陸上競技連盟から示された「ロードレース再開についてのガイダンス」に従って、ランナーやボランティア関係者等に対して、大会1週間前からの体調管理シートの提出を義務付けるほか、受付方法やスタート方法等についても感染対策を講じて実施することとした。 マラソン大会の開催に合わせて、のぼり旗等による聖火リレーの周知・PRの実施を検討した。 					
コスト情報	費目/年度	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年
	総額(円)	0	0	4,688,559	20,911,346	0
	事業費	0	0	2,915,000	4,175,000	0
	人件費	0	0	1,773,559	16,736,346	0
	市民1人あたりの費用 (R02.10/1常住人口)	76,218	0	61	274	0
	財源内訳(円)					
	国支出金	0	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0
	起債	0	0	0	0	0
その他(受益者負担など)	0	0	0	0	0	
一般財源	0	0	4,688,559	20,911,346	0	
事業評価	評価項目	評価基準	チェック ※当てはまる事項に■	判断理由等		
	必要性	・市民ニーズや社会状況の変化により、事業の役割が薄れていないか ・市が事業主体であることが妥当か(国・県・民間と競合していないか)	■ 妥当である □ 概ね妥当である □ 妥当でない	スポーツ推進だけでなく、交流人口の拡大や地域活性化を図り、まちの元気につなげていく取組として、市が事業主体となって実施する必要がある。		
	有効性	・成果目標の達成状況は順調に推移しているか ・成果を向上させるため、事業内容を見直す余地がないか ・活動内容は有効なものとなっているか	■ 有効である □ 概ね有効である □ 有効でない	マラソン大会の開催は、市内外から多くの参加者を呼び込むことができ、市民の健康増進及びまちの活性化に繋がっていく取組として有効である。		
	効率性	・民間委託等の導入や関連する事業との統合等により、コスト削減は可能か ・人件費削減は可能か ・事務事業の目的や成果から考えて、受益者負担等を見直す必要があるか	□ 現行どおり ■ 見直し	市内関係団体から構成する実行委員会が所管し、多くのボランティア協力を得て実施することで、コスト減等の効果が期待される。次回大会以降、マラソン大会における運営内容を整理し、コスト抑制に努めていく。		
今後の方向性	<input type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 廃止					
	第1回大会については、新型コロナウイルス感染症の影響に伴い、安全・安心なマラソン大会とするため、大会コンセプトや大会規模、運営方法等を見直し、高校生以下を除く茨城県内限定で参加者を募り、種目においてもハーフのみで実施する予定である。第2回大会以降については、新型コロナウイルスの感染状況が落ち着けば茨城県内外からの参加者を募り、種目についても5km・3km・2kmの実施も検討し、大会規模の拡大を目指す。					

第2次ふるさと龍ヶ崎戦略プラン 進行管理シート

令和2年度

戦略	4	地域力の向上～安全・安心で住みよい環境づくり～					
目標	12	スポーツ健幸日本ー【重点目標】					
施策	1	スポーツ・運動を通じた健康づくりの推進					
事業名	旧北文間小の跡地を活用した健幸スポーツ拠点の整備						
担当課	財政課／スポーツ都市推進課						
事業の概要・目的	旧北文間小の跡地を活用して、新しい健幸スポーツニーズ等に対応した拠点を整備します。						
関連計画等での位置付け							
活動実績及び成果	<p>1.旧北文間小学校の解体 解体工事等に係る進捗状況について関係各課と情報を共有し、9月に解体工事及び駐車場整備が完了。駐車場は北文間コミュニティセンターとの共同利用を図ることで運用を開始した。</p> <p>2. 活用方策の検討 (1) 体育館の改修工事はトイレ・LED照明・倉庫・ポーチスロープを改修し2月に完了した。 (2) 龍ヶ崎市運動広場の設置管理条例制定に向けた条例案を12月議会に上程し、令和3年度から北文間運動広場(体育館・多目的広場)として市民に貸し出しを開始。 (3) 第4期校舎については活用方針に基づき、令和3年度に改修計画を整理し予算を計上した。</p>						
コスト情報	費目/年度	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	
	総額(円)	0	0	63,035,346	103,289,888	0	
	事業費	0	0	55,170,000	100,156,600	0	
	人件費	0	0	7,865,346	3,133,288	0	
	市民1人あたりの費用 (R02.10/1常住人口)	76,218	0	0	821	1,355	0
	財源内訳(円)						
	国支出金	0	0	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	0	0	
	起債	0	0	49,300,000	86,600,000	0	
その他(受益者負担など)	0	0	0	0	0		
一般財源	0	0	13,735,346	16,689,888	0		
事業評価	評価項目	評価基準	チェック ※当てはまる事項に ■	判断理由等			
	必要性	・市民ニーズや社会状況の変化により、事業の役割が薄れていないか ・市が事業主体であることが妥当か(国・県・民間と競合していないか)	■ 妥当である □ 概ね妥当である □ 妥当でない	総合体育館と高砂体育館は市民の利用が多く、北文間体育館を開設することにより、さらなるスポーツ環境の充実を図っていく。			
	有効性	・成果目標の達成状況は順調に推移しているか ・成果を向上させるため、事業内容を見直す余地がないか ・活動内容は有効なものとなっているか	■ 有効である □ 概ね有効である □ 有効でない	市民がスポーツに参加する機会が増えることで市民の健康増進の向上につながる。			
	効率性	・民間委託等の導入や関連する事業との統合等により、コスト削減は可能か ・人件費削減は可能か ・事務事業の目的や成果から考えて、受益者負担等を見直す必要があるか	■ 現行どおり □ 見直し	指定管理者が管理をすることにより、市のその他のスポーツ施設と一体的に管理ができ運営の効率化が図れている。			
今後の方向性	<input type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 廃止						
	体育館の利用は年々増加しており、高齢化の進行などにより市民のスポーツニーズも高まっているため、利用しやすい施設運営とともにイベントの内容を充実していくことが必要。また、来年度は第4期校舎の改修工事をする予定。						

2 龍ヶ崎市教育委員会の事務に 関する点検評価報告書

(1) 文化・生涯学習課

施策名	1 義務教育の充実		
施策の内容	(1) 知・徳・体のバランスのとれた教育の推進		
事業No	12	事業名	郷土学習の推進
担当課	指導課／文化・生涯学習課		

実施状況	<p>撞舞に代表されるような、これまでに伝統的に受け継がれてきた様々な歴史や文化に触れる体験的な学習の機会の創出に努めました。</p> <p>1 小学校1, 2年生 生活科【見学中止】 小学校1, 2年生では、生活科「わたしの町はっけん」という単元において地域について校外学習を行い、学区内における史跡や名所、公共施設等の見学に取り組んでいます。地域の自然や文化に触れる機会を通して、地域のよさに気づき、愛着をもつことができるように指導にあたっています。今年度は見学等は中止としました。</p> <p>2 小学校3, 4年生 社会科 小学校3年生から社会科副読本「わたしたちの龍ヶ崎」を活用しながら龍ヶ崎の土地の特徴や、産業、情勢、特色等を学ぶ地域学習を実施しています。龍ヶ崎の歴史や文化についても「郷土の伝統・文化と先人たち」を年間指導計画に位置付けて学習を進めています。学習指導要領の改訂にあたり、令和2年度は社会科副読本の改訂を行い、龍の子人づくり学習の要素を取り入れた社会科副読本「わたしたちの龍ヶ崎」が3月に完成しました。</p> <p>3 龍の子人づくり学習における郷土学習の研究指定校の取組【延期】 愛宕中学校区と城南中学校区を研究指定校に指定し調査研究に取り組み、成果発表の予定でしたが、令和3年度へ繰り越しとしました。町歩きアプリ作成等できる範囲での活動は継続しました。</p> <p>4 文化財を活用した郷土学習の推進 龍ヶ崎市学校運営研究協議会との連携による「龍ヶ崎発見（フォトラリー）活動」を実施しました。ポイントとなる17の神社や寺院を設定し、夏季休業日期間を利用して見学し、龍ヶ崎市のよさを再発見する活動に取り組みました。 対象：市内の小学校3年生と保護者 内容：活動に参加しての感想をマイライブラリーにまとめ、市役所1階フロアで12月25日～1月8日まで展示</p> <p>5 第8回いばらきっ子郷土検定への参加 市内予選：市内6中学校2年生対象 11月中に各学校において実施 県大会：中止</p>
成果・課題等	<p>例年調査している全国学力・学習状況調査の児童生徒質問紙「今住んでいる地域の行事に参加している」に関する調査は未実施です。</p> <p>龍ヶ崎市の歴史や文化に関する郷土学習・地域学習については一層推進すべく引き続き指導助言にあたります。</p> <p>また、感染状況に応じて、オンライン形式やゲストティーチャー形式、訪問形式など学習形態を変えながら郷土学習を進めていきたいと考えます。</p>

施策名	1 義務教育の充実		
施策の内容	(3) 地域の特性を活かした魅力ある学校づくりの推進		
事業No	24	事業名	教育の日推進事業の充実
担当課	文化・生涯学習課／教育総務課／指導課		

実施状況	<p>1 実行委員会の開催について 新型コロナウイルス感染拡大防止のため事務局において資料を作成し、委員に対して郵送することで了解を得た。 (1) 令和2年9月 事業計画(案), 予算(案)について (2) 令和3年1月 事業実績, 決算について</p> <p>2 作品募集 教育月間である11月を募集期間とし, 3つのテーマにより, 市内小中学生とその保護者, 市民から総計約1,300点の応募があり, 抽選で100名にまいりゅうオリジナルマスクケースを贈呈した。 (1) 家族へのメッセージ 家族や友達など, 大切な人たちとの「絆」を通して, 普段は言えない感謝の気持ち, 大切な思いを伝えあおう。 (2) おうちで作るおすすめメニュー 「親子で楽しく作ろうメニュー」「自分でつくる, 朝ごはんメニュー」「野菜をおいしく食べようメニュー」 (3) みんなに教えたい龍ヶ崎のいいところ 「地域への愛着の気持ちを大事にしよう! 育もう!」をテーマに, 龍ヶ崎のおすすめ景色やびっくりスポットを紹介しよう。</p> <p>3 広報活動の充実 (1) 市広報紙「りゅうほー」への掲載: コロナ禍での児童生徒の学校生活の様子を紹介。 (2) 作品募集のチラシ作成 : 教育機関や公共施設等への配布及び設置。 (3) 横断幕, のぼり旗の掲示 : PR用横断幕を市役所庁舎壁面, 及びJR常磐線龍ヶ崎市駅に掲示。のぼり旗を市役所正面玄関前, 各小中学校, 幼稚園, 保育園, 認定こども園, 公共施設等に設置。</p>
成果・課題等	<p>学校・家庭・地域が連携して「龍ヶ崎教育月間」及び「龍ヶ崎教育の日」を中心に教育の日推進事業を展開し, 教育環境の向上に努めました。 主要事業として, 3つのテーマを設けて作品募集を実施したところ, 多くの素晴らしい作品が集まりました。それぞれの作品が工夫を凝らしたものであり, また, 家族や家庭で取組んだ様子が見えたり聞かれるものも多くありました。</p> <p>今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため, 一堂に会しての事業や活発な取り組みを行うことはできませんでしたが, 今後も学校・地域・家庭が連携して行う事業の主旨を理解し, 展開できるような取り組みを工夫していきます。</p>

施策名	2 子どもの健全育成		
施策の内容	(1) 家庭の教育力の向上		
事業No	41	事業名	各種セミナーの開催
担当課	文化・生涯学習課		

実施状況	<p>例年、市内小学校低学年（第1学年）の子を持つ保護者を対象に、「子育てふれあいセミナー」（家庭教育学級）を開講し、家庭教育や子育てに関する内容をテーマに、講演や研修会を実施しています。</p> <p>令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響による一斉休校や学校行事等の縮小を受け、事業の実施を見送り、8月に中止を決定しました。</p> <p>1 「子育てアドバイスブック クローバー【概要版】就学前～小学4年生の子をもつ保護者向け」の配布 茨城県教育委員会就学前教育・家庭教育推進室において作成された資料を、市内小学校に対して、小学校1年生から4年生までの子をもつ保護者への配布を依頼しました。 なお、PDFファイルでもデータを小学校に提供し、学校だよりや保護者との面談の際に活用できるよう教職員に周知しました。</p> <p>2 子育てふれあいセミナー通信の作成及び配布 家庭教育や子育て支援に関する情報提供の一つとして、小学校1年生の子をもつ保護者に情報提供を行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・7月：茨城県からのお知らせ、家庭教育支援資料モバイル版の紹介等 ・10月：家庭での子どもとの過ごし方、不安やストレスを取り除くスキシップ、あいさつプラス1のコミュニケーション
成果・課題等	<p>小学校1年生（低学年）の子をもつ保護者たちを中心に、家庭教育や子育てへの不安や悩みを解消するための支援資料を配布しました。家庭教育の重要性についての理解と認識を向上させ、家庭教育の推進を図ることができました。新型コロナウイルスの感染防止策を講じた上で、次年度、事業を実施する際には、各小学校の担当教員や代表者との連携を密にし、少しでも多くのセミナー生の参加促進に向けて見直しが必要と考えます。</p>

施策名	2 子どもの健全育成		
施策の内容	(1) 家庭の教育力の向上		
事業 No	42	事業名	相談体制の充実
担当課	文化・生涯学習課		

実施状況	<p>多様化する子育てや青少年に関わる家庭教育の悩みなどの解消を図りました。</p> <p>家庭教育相談の実施</p> <p>多様化する子育てに関する悩みや、青少年に関わる家庭教育の悩みなどの解決を図るため、家庭教育指導員が家庭教育相談を行いました。</p> <p>特に、義務教育や高校教育を終えて成人した子どもとの関係に悩む父親、母親からの相談が多く、ニートや引きこもり等の現代社会の課題が浮き彫りになっていると感じました。</p> <p>親子関係で悩む相談者に対して相談内容を聞き取り、悩みに対して解決策を提案できるような相談機関を紹介したり、状況に応じて関係機関との連携を図ったりすることで、身近な相談機関としての役割を保ちながら相談業務を実施しました。</p> <p>また、青少年の生活や行動に疑問や不安をもっている保護者からの相談にも応じるため、市青少年センターの青少年相談員に代わり、相談に応じるなど体制の充実と周知に努めました。</p>
成果・課題等	<p>○家庭教育指導員による相談件数 ・電話相談件数：3件 ・面談件数：11件</p> <p>相談者の相談内容（成人した子どもの就職について、高校生の生徒指導等）に応じて、適切なアドバイスをし、心配ごとの解消に向けた相談業務を行いました。</p> <p>相談活動の成果として、定期的・継続的な相談活動を通して、相談者とのつながりを切らすことなく、支援を継続することができました。また、関係機関についての情報を相談者に提供することで、より専門的な支援につなげることができました。</p> <p>学校や地域、教育委員会、福祉関係機関と連携を図りながら、子育てや家庭教育のサポートをすることができました。</p>

施策名	2 子どもの健全育成		
施策の内容	(1) 家庭の教育力の向上		
事業No	43	事業名	基本的な生活習慣の定着
担当課	文化・生涯学習課／指導課		

実施状況	<p>子育て中の親や家庭のあり方，子どものしつけと虐待の違いなどについて学習する機会の提供を行いました。</p> <p>1 就学時健康診断での家庭教育講話の実施 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止 (10月～11月 翌年度，市内小学校に入学予定児童の保護者対象) 市内全小学校（11校）の就学時健康診断の際に，家庭教育指導員と社会教育主事が新入学児童の保護者を対象として，「子育てアドバイスブック・クローバー」を用いて，子育てや家庭教育についてのアドバイス，規則正しい生活習慣や自己肯定感の重要性についての説明を行う。 また，携帯電話やスマートフォンなどのメディアとの付き合い方についても，家庭で考える使い方のルールやネット依存の危険性も含めて説明を行う。</p> <p>2 「子育てアドバイスブック・クローバー」の配付 就学時健康診断で配付する資料等と併せて，次年度入学予定の全児童の保護者に「子育てアドバイスブック・クローバー」を配付し，家庭教育におけるポイントや，規則正しい生活習慣の啓発を行います。</p>
成果・課題等	<p>就学時健康診断の際に，家庭教育指導員及び社会教育主事が，次年度小学校に入学予定の児童の保護者を対象として行う子育てや家庭教育についての説明は，小学校への入学を6か月後に控えた児童とその保護者に準備を促すものとなっています。</p> <p>「子育てアドバイスブッククローバー」は，次年度小学校に入学予定の児童530名の保護者に対して配付し，就学にあたって家庭内での規則正しい生活習慣の重要性について周知しました。</p> <p>小学校入学6か月前と入学直後の2回，説明や資料等の配付を行うことで，家庭教育における基本的な生活習慣の定着の重要性について，保護者に対して意識付けすることができました。</p>

施策名	2 子どもの健全育成		
施策の内容	(1) 家庭の教育力の向上		
事業No	44	事業名	教育の日推進事業の充実【再掲】
担当課	文化・生涯学習課／教育総務課／指導課		

実施状況	<p>1 実行委員会の開催について 新型コロナウイルス感染拡大防止のため事務局において資料を作成し、委員に対して郵送することで了解を得た。 (1) 令和2年9月 事業計画(案), 予算(案)について (2) 令和3年1月 事業実績, 決算について</p> <p>2 作品募集 教育月間である11月を募集期間とし, 3つのテーマにより, 市内小中学生とその保護者, 市民から総計約1,300点の応募があり, 抽選で100名にまいりゅうオリジナルマスクケースを贈呈した。 (1) 家族へのメッセージ 家族や友達など, 大切な人たちとの「絆」を通して, 普段は言えない感謝の気持ち, 大切な思いを伝えあおう。 (2) おうちで作るおすすめメニュー 「親子で楽しく作ろうメニュー」「自分でつくる, 朝ごはんメニュー」「野菜をおいしく食べようメニュー」 (3) みんなに教えたい龍ヶ崎のいいところ 「地域への愛着の気持ちを大事にしよう! 育もう!」をテーマに, 龍ヶ崎のおすすめ景色やびっくりスポットを紹介しよう。</p> <p>3 広報活動の充実 (1) 市広報紙「りゅうほー」への掲載: コロナ禍での児童生徒の学校生活の様子を紹介。 (2) 作品募集のチラシ作成 : 教育機関や公共施設等への配布及び設置。 (3) 横断幕, のぼり旗の掲示 : PR用横断幕を市役所庁舎壁面, 及びJR常磐線龍ヶ崎市駅に掲示。のぼり旗を市役所正面玄関前, 各小中学校, 幼稚園, 保育園, 認定こども園, 公共施設等に設置。</p>
成果・課題等	<p>学校・家庭・地域が連携して「龍ヶ崎教育月間」及び「龍ヶ崎教育の日」を中心に教育の日推進事業を展開し, 教育環境の向上に努めました。 主要事業として, 3つのテーマを設けて作品募集を実施したところ, 多くの素晴らしい作品が集まりました。それぞれの作品が工夫を凝らしたものであり, また, 家族や家庭で取組んだ様子が見えたりもたくさんありました。</p> <p>今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため, 一堂に会しての事業や活発な取り組みを行うことはできませんでしたが, 今後も学校・地域・家庭が連携して行う事業の主旨を理解し, 展開できるような取り組みを工夫していきます。</p>

施策名	2 子どもの健全育成		
施策の内容	(3) 子どもが健全に育つ環境の整備		
事業 No	49	事業名	学童保育ルームの充実
担当課	文化・生涯学習課		

実施状況	<p>令和2年度より学童保育ルームの運営を民間事業者による業務委託とし、市内の全小学校で余裕教室や専用施設において、放課後児童健全育成事業（学童保育）を実施しました。すべての小学校で全学年を対象とした安定的な学童保育ルームの運営と施設の維持管理に努めました。</p> <p>(1) 支援員及び備品の整備 加配対応児童や夏季休業期間の児童の増加に伴う支援員不足の確保に努めました。備品等の整備については、児童数の増加に応じて適切に行いました。</p> <p>(2) 学童保育ルーム 夏季休業期間において、児童数の増加等に対応するため、児童の学習室・支援員の休憩室を学校より借用し夏季の保育ルームの環境整備を行いました。 熱中症対策のため、全教室にデジタル温湿度計及びエアコンを設置し維持管理に努めました。</p>			
	令和2年度入所児童数		各月1日時点の登録児童数（人）	
	学校名	4月	9月	3月
	龍ヶ崎小学校	72	57	55
	大宮小学校	37	28	25
	八原小学校	216	174	157
	馴染小学校	127	107	103
	川原代小学校	26	19	19
	龍ヶ崎西小学校	69	67	65
	松葉小学校	55	49	44
	長山小学校	84	68	65
	馴染台小学校	88	67	65
	久保台小学校	97	83	79
城ノ内小学校	182	141	127	
合計	1053	860	804	
成果・課題等	<p>○学童保育ルームの利用者数：973人(5/1時点)、利用率26%（全児童からの割合） ○学童保育ルームの待機児童数：0人</p> <p>入所児童数の増加に対応するため、夏季休業期間において余裕教室を借用し、保育ルームの環境整備を行いました。今後も利用増加が見込まれる保育ルームについては、増設も含めた対応を検討し、待機児童ゼロを維持し、保護者の就労等を支援していきます。</p> <p>子育てと仕事の両立を支援する重要な事業であることから、今後も民間事業者のノウハウを生かした支援員の確保及び研修等の充実による人材育成と、効率的かつ安定的なサービスの提供及び事業運営を行っていきます。</p>			

施策名	2 子どもの健全育成		
施策の内容	(3) 子どもが健全に育つ環境の整備		
事業No	50	事業名	アフタースクール・サタデースクールの充実
担当課	文化・生涯学習課／指導課		

実施状況	<p>前年度である令和2年3月に、新年度第3学年から第6学年の児童とその保護者に対して、小学校を通して参加募集を行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和2年4月末、参加申込書回収。参加希望者数：アフタースクール（8校）129名、サタデースクール（3校）114名。事業実施を楽しみに昨年度から継続して参加予定の児童が多数いました。 活動予定：アフタースクール14～16回、サタデースクール18回 令和2年6月 アフタースクール、サタデースクール延期通知 令和2年7月 アフタースクール・サタデースクール中止通知 <p>新型コロナウイルス感染症の影響により、事業実施を中止としましたが、受託業者と情報交換し、県内市町村の実施状況等を確認し、新型コロナウイルス感染症の感染防止対策を講じた実施方法について、調査を進めました。次年度、Withコロナを念頭に感染防止対策を講じて、規模の縮小や活動内容の変更を検討し、実施計画を立案します。</p>
成果・課題等	<p>今年度、新型コロナウイルスの影響により事業を中止しましたが、事業への参加を楽しみにしている児童が参加申込みから多数いたことが分かります。楽しみながら児童が学ぶ経験を学習活動と体験活動の両面から支援し、多様な学習機会の提供を図りたいと考えています。</p> <p>事業の実施にあたっては、新型コロナウイルスの感染防止対策を講じることを最優先とし、参加児童に安心・安全な環境を準備する必要があります。</p> <p>また、学校や学童保育ルームとの十分な連携や特別な支援を要する児童への対応について十分に配慮していきたいと思ひます。</p>

施策名	2 子どもの健全育成		
施策の内容	(3) 子どもが健全に育つ環境の整備		
事業No	51	事業名	青少年センターの充実
担当課	文化・生涯学習課		

実施状況	<p>青少年関係団体による市内巡回指導、あいさつ・声かけキャンペーン等、積極的に地域において、青少年の非行防止推進と、犯罪に巻き込まれないための市民の意識高揚を図ります。</p> <p>1 定期的な巡回指導及び設置事業者への指導 茨城県青少年の健全育成等に関する条例に基づき、青少年に有害な図書等の一掃を図るため、巡回指導を行います。</p> <p>2 違法屋外広告物の巡視 青少年のための健全な環境づくりを目指し青少年相談員による市内全域を対象とした違法屋外広告物（貼りビラ・捨て看板）の巡視を実施します。 令和2年度は新型コロナ感染拡大防止のため、個別の巡回をしました。</p> <p>3 青少年の健全育成に協力する店との連携 市内の『青少年の健全育成に協力する店』に現在登録がされている92店舗を訪問し、「青少年にふさわしくない行動を発見した場合はただちに注意するほか、青少年センター（文化・生涯学習課）または警察に連絡するなどして、青少年の健全育成に協力する。」ことへの協力を依頼し、啓発チラシの配付やステッカーの貼付を依頼しました。 【令和2年度実績】 青少年の健全育成に協力する店の登録率：98%</p> <p>4 あいさつ・声かけ運動 市青少年センター及び青少年育成龍ヶ崎市民会議は、例年実施している「あいさつ・声かけ運動」キャンペーンは新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となりましたが、市内の各小中学校と各地域において「あいさつ・声かけ運動 青少年育成龍ヶ崎市民会議」ののぼり旗を設置し、青少年の健全育成及び問題行動等の抑止に努めました。</p> <p>5 市内巡回パトロール及び街頭指導 感染拡大防止の観点から2班体制でのパトロール車による巡回ではなく、相談員が個別に徒歩等で実施しました。主に児童生徒の登下校時間帯の交通安全指導や通学路の巡回、日没以降の公園で遊ぶ児童に早めの帰宅を促すなどしました。</p>
成果・課題等	<p>学校・家庭・地域において、青少年育成事業を実施することにより、児童・生徒とのかかわりを持ち、市民がみなで青少年の健やかな成長や自立心を育ませる取り組みになりました。</p> <p>次年度は、感染防止対策を講じた上で出来る範囲で活動を行い、青少年の非行防止推進と、犯罪に巻き込まれないための環境づくりに努めます。</p>

施策名	2 子どもの健全育成		
施策の内容	(4) 子ども達の交流の促進		
事業No	52	事業名	子どもの交流・活動拠点の充実
担当課	文化・生涯学習課		

実施状況	<p>たつのこやま周辺などを子ども達の「遊びの拠点」と位置付け、心身の発育発達や自主性・創造性などを身につけてもらう場を創出しました。</p> <p>また、子ども達が安全に、かつ、既製の遊具や遊びのプランの選択肢にとらわれることなく、自分たちのアイデアと自由なスタイルで楽しみ、発見や創造する喜びを味わえる居場所づくりをしました。</p> <p>新型コロナ感染拡大防止のため4～6月を閉館し、7月から制限をして開館しました。これまではだれでも自由に入館していましたが、市内の小中学校の児童生徒に限定したうえで、マスクの着用や消毒・換気、入館者の人数制限、来館時の名簿への記入などを徹底して実施しました。</p> <p>たつのこやま管理棟内における「子どもの居場所づくり事業」 NPO法人テディ・ベア(土・日曜日 10:00～16:00) 龍ヶ崎市女性会(木曜日 14:00～16:30) たつの子山囲碁クラブ(月曜日 14:00～16:30)</p>
成果・課題等	<p>○たつのこやま管理棟（こどもの居場所）の延べ利用者数：841人</p> <p>たつのこやま管理棟での居場所づくり事業については、入館制限をしたため利用者数は例年よりは少ないものの、リピーターが多いことから利用する子どもたちの満足度は高いと思われます。</p> <p>今後も感染対策を講じて開館し、利用する子どもたちが安心して活動できる居場所を提供していきたいです。</p>

施策名	2 子どもの健全育成		
施策の内容	(4) 子ども達の交流の促進		
事業No	53	事業名	子ども会活動の活性化
担当課	文化・生涯学習課		

実施状況	<p>子ども会活動を通じて、子どもたちの社会性や自主性を育み、未来を担う心豊かでたくましい子ども達を育成するために、例年以下の事業を実施しておりますが、新型コロナウイルス感染防止のためほとんどの事業が中止となりました。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 安全教育研修会【中止】 2 チャレンジキャンプ【中止】 3 作文教室【中止】 4 研修視察【中止】 5 球技大会（野球）【中止】 6 館林市親善野球大会【中止】 7 球技大会（ミニバス）日時：令和2年12月5日（土） 場所：たつこのアリーナ 参加者：大宮小ミニバス他市内外3チームによるリーグ戦 8 その他：新型コロナウイルス感染防止対策として、登録児童全員に「除菌ウェットシート」を配布しました。
成果・課題等	<p>○令和2年度市子ども会育成連合会の児童の加入者：964名（令和3年1月末現在） 市子連への加入単子や加入児童が年々減少しており、市子連としての活動内容や活性化に課題が残っています。少人数でも単子の活発な活動が継続されている現状も評価しつつ、今後の活動の在り方について、関係団体と検討を進める必要があります。</p>

施策名	2 子どもの健全育成		
施策の内容	(4) 子ども達の交流の促進		
事業No	54	事業名	子どもの地域活動への参加促進
担当課	文化・生涯学習課／指導課／コミュニティ推進課		

実施状況	<p>子どもの地域活動（市内一斉清掃等）への参加を通じ、社会の一員としての自覚や社会性を養い、青少年の健全育成を図る。</p> <p>1 市内一斉清掃活動への参加 青少年育成龍ヶ崎市民会議から小中学校を通じて、児童・生徒に対して「まちづくりポイント制度」の周知を行い、年間3回（6月・11月・3月）行われる市内一斉清掃への参加の呼び掛けについては、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止としました。 しかし、11月の市内一斉清掃活動に参加した児童・生徒には、学校を通じて「まちづくりポイントシール」を配付しました。</p> <p>2 「あいさつ・声かけ運動」の実施 ※新型コロナ感染拡大防止のため中止 7月と11月に、市内各小学校において児童の登校時にのぼり旗を掲げ、青少年育成龍ヶ崎市民会議、青少年相談員等とともに「あいさつ・声かけ運動」を実施し、子どもたちに「あいさつ運動」の啓発活動を実施します。 ・市内小学校：午前7時40分～ ・市内ショッピングセンター：3ヶ所 午後5時00分～</p>
成果・課題等	<p>青少年の非行防止、健全育成を目的に、地域・家庭・近隣住民・友人とコミュニケーションを図れる運動として、感染対策を講じて可能な限り啓発を推進していきます。</p>

施策名	2 子どもの健全育成		
施策の内容	(4) 子ども達の交流の促進		
事業No	55	事業名	新成人の交流促進
担当課	文化・生涯学習課		

実施状況	<p>新型コロナウイルス感染拡大防止のため、令和2年度成人式典は中止としました。</p> <p>1 龍ヶ崎市成人式典 新成人が代表となって「成人式運営委員会」を組織して成人式の企画・運営を行い、中学校区別での分散型の式典を行っています。 第1部は来賓祝辞や成人者代表による抱負発表、第2部はアトラクションとしてビンゴゲームなどを行っています。</p> <p>2 令和2年度新成人へのお祝い事業 今できる事業を行い、新しいかたちで新成人をお祝いしました。</p> <p>(1) お祝いメッセージの配信等 (R3.1.9から市公式ホームページにて公開) 市長動画お祝いメッセージを配信し、龍ヶ崎ふるさと大使及び中学校時代の恩師の先生方からのお祝いメッセージを掲載しました。</p> <p>(2) 成人者への記念品及びリーフレット配布</p>															
	<p>令和2年度 成人式典出席予定者数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>学 校 名</th> <th>成人者数 (人)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>愛宕中学校</td> <td>80</td> </tr> <tr> <td>城南中学校</td> <td>156</td> </tr> <tr> <td>長山中学校</td> <td>92</td> </tr> <tr> <td>城西中学校</td> <td>142</td> </tr> <tr> <td>中根台中学校</td> <td>137</td> </tr> <tr> <td>城ノ内中学校</td> <td>283</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>890</td> </tr> </tbody> </table>	学 校 名	成人者数 (人)	愛宕中学校	80	城南中学校	156	長山中学校	92	城西中学校	142	中根台中学校	137	城ノ内中学校	283	合 計
学 校 名	成人者数 (人)															
愛宕中学校	80															
城南中学校	156															
長山中学校	92															
城西中学校	142															
中根台中学校	137															
城ノ内中学校	283															
合 計	890															
成果・課題等	<p>式典を開催することができない中でも新成人をお祝いする手法を考え、市公式ホームページへ新成人へのお祝いメッセージや新成人としての抱負を掲載し、多くの人が共有することができました。</p> <p>成人式の開催中止から多くの新成人が楽しみにしていた「再会の場」については、かたちを変えて代替えとなる事業の開催が可能かどうか、新型コロナウイルス感染症の感染収束後、成人式運営委員会と協議を行っていきます。</p>															

施策名	3 生涯学習の推進		
施策の内容	(1) 学びを深める環境の充実		
事業No	56	事業名	中央図書館の利便性の向上
担当課	文化・生涯学習課		

実施状況	<p>令和元年度に指定管理者から提出され、図書館協議会及び当課において承認した令和2年度事業計画に記載された事業の大半が中止・延期を余儀なくされる中、館内レイアウトや貸出冊数増冊・貸出期間延長など利用ルールの変更を行い、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を実施しながら、可能な限り図書館サービスを継続して実施しました。</p> <p>1 サービスの継続実施</p> <p>(1) 席数を減らしたうえで、机上に前席・隣席を隔てる臨時のパネルを設置し、時間入替制で座席の消毒を行いながら学習席を提供しました。</p> <p>(2) インターネットから在荷図書(書架にある利用可能な本)の予約が可能となるように、図書館システムの予約設定を変更し、禁帯出資料を除く全ての資料を、来館せずに予約することができるようになりました。</p> <p>(3) 中根台中学校(絵本のつくり方)、愛宕中学校(郷土の昔話)へ出前講座を行いました。</p> <p>2 新規事業の実施</p> <p>(1) 団体貸出を希望する市内学童保育ルーム及びつばみ園へ、本を配達しました。(本のおまかせ便事業)</p> <p>(2) 学校図書館司書が貸出やレファレンスを依頼する内容に合わせて、本1冊であっても週1回の頻度で小中学校へ団体貸出本を配達しました。(本のセレクト便事業)</p> <div style="text-align: right;">  <p>大型絵本配達の様子</p> </div> <p>3 毎年度継続して実施する事業の中止・縮小開催</p> <p>(1) 文化講演会 市読書会連合会と連携し、令和3年2月6日(土)に龍ヶ崎市文化会館大ホールを会場として、三浦瑠麗さんの講演会を予定していましたが中止しました。</p> <p>(2) おはなし会(こぐまちゃんのおはなし会、お話会、たつの子お話タイム) 人数制限・時間短縮を行い、予約制で開催しました。(全12回 49名参加)</p>
成果・課題等	<p>○中央図書館の延べ入館者数 83,473人</p> <p>○中央図書館の利用者満足度 82.7% (アンケート7項目の平均)</p> <p>○電子図書館の延べ貸出件数 6,040点</p> <p>窓口サービスを継続して実施するために、市内公共施設の利用が中止となった新型コロナウイルス感染症拡大第1波以降、検温・消毒・入館記録作成の依頼や利用制限を行い、安全に配慮しながら業務を行いました。</p> <p>また、図書館システムをレベルアップすることで、Webによる資料予約の利便性が向上しました。館内サービスを縮小する一方、学童保育ルーム、小中学校、つばみ園へ団体貸出図書を配達し、学校へ出前講座に出向くことで、読書推進の機会を提供し続けました。</p> <p>今後、「新しい生活様式」を取り入れながら、セルフ貸出・予約受取などの人を介さないサービス、Webによる学習席の空席確認など不要な来館を避けるサービスなど、他館での導入実績があるインターネットシステムを使用したサービスについて検討する必要があります。</p>

施策名	3 生涯学習の推進		
施策の内容	(1) 学びを深める環境の充実		
事業 No	57	事業名	読書・学習環境の充実
担当課	文化・生涯学習課		

実施状況	<p>1 中央図書館の施設整備</p> <p>(1) 書庫空調機更新工事</p> <p>①工事期間 R2年4月7日～R2年7月15日</p> <p>②工事内容 牛山純一ライブラリーマスターテープなどの貴重資料を保管している書庫の空調機が故障したため、更新工事を行いました。</p> <p>(2) 新型コロナウイルス感染症対策（新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の活用）</p> <p>①書籍消毒機購入</p> <p>②非接触式検温器購入</p> <p>③図書館システム予約設定変更</p> <p>④電子書籍購入</p> <p>龍ヶ崎市立電子図書館で閲覧するための電子書籍 13,463 点を購入。購入資料を選定する参考資料とするため、図書館利用者アンケート、市 Web モニターをはじめとする市民等への Web アンケートを実施し、市内小中学校及び市役所各課から意見を求めました。</p> <p>2 中央図書館資料の充実（指定管理者による）</p> <p>図書館資料購入・受入 図書 8,431 冊、雑誌 127 誌、新聞 16 紙、電子資料 541 点、ほか 152 点の視聴覚資料を購入しました。</p> <p>3 図書館分館（龍ヶ崎市立図書館北竜台分館）の新設準備</p> <p>(1) 場所 龍ヶ崎市小柴 サプラスクエアサプラ 2 階</p> <p>(2) 概要</p> <ul style="list-style-type: none"> 中央図書館のサテライト機能を備えた、面積 56 坪程度の図書館分館を整備（分館には隣接して、市民窓口ステーションがサプラ 1 階から移転） 図書館内には、図書を配置する図書コーナー、テレワークが可能な学習コーナー、閲覧コーナー、受付窓口コーナーを配置 開館時間は 10:00～20:00、休館日はサプラ店休日（年 3 日程度）及び特別整理期間（年 3 日以内）
成果・課題等	<p>新型コロナウイルス感染症拡大防止の一環として、交付金を活用し、来館せずに読書を楽しめる電子図書館用電子書籍 13,463 点を購入したほか、図書館利用者に安心して施設を利用してもらうため、書籍消毒機と検温器を設置しました。</p> <p>また、令和 3 年度開設に向けて、サプラスクエアサプラ内に図書館分館の新設準備を、中央図書館 2 階和室を学習室に改修する準備を行いました。完成後には読書推進と利便性の向上だけでなく、サービスポイントと学習席が増えることで図書館の分散利用が期待されます。更に、分館内に Wi-Fi と電源コンセントを備えた座席を設けることで、手軽に利用できるテレワークスペースを提供することが可能となります。</p> <p>今後も、感染症対策を優先しながら、読書・学習環境の充実を行う必要があります。</p>

施策名	3 生涯学習の推進		
施策の内容	(1) 学びを深める環境の充実		
事業No	58	事業名	子どもの読書活動の推進
担当課	文化・生涯学習課		

実施状況	<p>1 子ども読書活動推進計画（第三次）の進行管理 平成30年3月に策定した第三次計画の施策については、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止したものもありますが、人数制限などの防止対策を講じながらできる範囲で実施しました。また、計画の進行管理を行うため開催している龍ヶ崎市子ども読書活動推進委員会会議は書面で開催しました。</p> <p>2 中央図書館における計画の実施</p> <p>(1) おはなし会の継続実施（新型コロナウイルス感染症拡大防止のため不定期開催）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・おはなし会 5回/年、延べ23人参加 ・こぐまちゃんのおはなし会 4回/年、延べ21人参加 ・たつの子お話タイム 3回/年、延べ5人参加 ・おはなし会ボランティア研修 未実施 <p>(2) ブックスタート事業の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・絵本2冊とエコバック配布 23回/年、357人参加（対面の読み聞かせ中止） ・新規のブックスタートボランティアへの初心者研修・継続ボランティアへのスキルアップ研修 未実施 <p>(3) 出前講座の実施</p> <p>中根台中学校3年生 4回 内容：乳幼児向けの絵本講座 参加人数139名 愛宕中学校1年生 2回 内容：「龍ヶ崎市の昔話」 参加人数69名</p> <p>(4) 【新規】学校保育ルームへの定期便の配送（おまかせ便）を開始しました。 5校へ各50冊/月貸出（中央図書館主催によるリニューアル事業）</p> <p>(5) 【新規】事前レファレンス受付による学校配送（学校図書館セレクト便）を開始しました。 中学校：27件のレファレンスによる768冊貸出 小学校：155件のレファレンスによる1543冊の貸出</p>
成果・課題等	<p>○幼児（0～5歳）一人当たりの絵本・紙芝居貸出冊数 13.9冊 ○図書館の子ども向けイベント講座 未実施</p> <p>市子ども読書活動推進計画（第三次）は、第二次推進計画の内容を修正した16施策、第二次推進計画を引き継ぐ14施策、新規に5施策を加え、合わせて35施策を進行中です。</p> <p>今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため館内利用を制限したことから、一人当たりの絵本・紙芝居貸出冊数は減少し、また、子ども向けイベント講座については開催することができませんでした。一方、学校図書館セレクト便として、学校の単元に合わせたレファレンスや読み聞かせのための大型絵本の貸出等、配送と回収を図書館が行うことで、前年度より件数、貸出冊数ともに大幅に増加したものもあります。</p> <p>次年度については、新型コロナウイルス感染症の継続が見込まれるため、対策を講じながら事業継続に努めます。</p> <p>今後、第四次計画策定に向けて、子どもたちの読書状況を把握するためのアンケートを実施するなど、計画を見直すための根拠資料等の準備が必要です。</p>

施策名	3 生涯学習の推進		
施策の内容	(1) 学びを深める環境の充実		
事業No	59	事業名	流通経済大学の図書館との連携強化
担当課	企画課／文化・生涯学習課		

実施状況	<p>平成18年度より、流通経済大学の図書館は、20歳以上の市民（市在勤者を含む）も利用可能となり、専門的な資料の収集や知識の習得に利用されています。</p> <p>令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から図書館や大学の教室を含めた全館の利用が制限されたため、同大学の知識の宝庫である図書館の利用促進を図ることが出来ませんでした。</p> <div data-bbox="541 667 1214 1003" data-label="Image"> </div> <p style="text-align: center;">流通経済大学龍ヶ崎図書館</p>
成果・課題等	<p>20歳以上の市民（在勤者を含む）であれば、流通経済大学龍ヶ崎図書館が利用可能であることについて、あまり知られていないため、利用対象者の拡充に向けて、今後も引き続き、大学との連携を強化し、市公式ホームページやSNS（ツイッター、フェイスブック）による周知を強化する等、認知度向上を図るとともに大学が持つ専門的な資料の有効活用を促進します。</p> <p>利用制限のため、令和2年度流通経済大学図書館市民利用者はありませんでした。</p>

施策名	3 生涯学習の推進		
施策の内容	(2) 多様な学習機会の充実		
事業No	60	事業名	人材バンクの充実
担当課	文化・生涯学習課		

実施状況	<p>1 人材バンク制度の周知 人材バンクの活動を紹介して制度を周知するために令和3年2月前半号の市広報紙で活動の様子を一部紹介し、登録者の募集も行いました。 また、市公式HPには、講師名・指導分野・講師の所属・資格を紹介しています。</p> <p>2 人材バンクの照会実績 R2年度 9件 (R元年度 13件, H30年度 17件)</p> <p>3 人材バンク講師の募集 市HP, 広報紙で登録を募集しました。</p>
成果・課題等	<p>新型コロナウイルス感染症拡大防止の影響もあり今年度は、当課による人材バンクを活用した生涯学習講座・教室の開催はありませんでした。 一方、年々問い合わせ件数が減少している背景には、セキュリティ意識が高い社会の中で、面識のない依頼者と講師が電話だけで講座実施に至るのは難しいことがあり、制度運用の在り方について検討が必要となっています。</p>

施策名	3 生涯学習の推進		
施策の内容	(2) 多様な学習機会の充実		
事業No	62	事業名	生涯学習講座等の充実
担当課	文化・生涯学習課		

実施状況	<p>東洋大学の生涯学習プログラムによる講座開催，昨年度実施して好評であったシニア向けスマートフォン講座，50歳以上の方とシニアのための就職セミナーの継続開催など，実施を予定していた講座は，新型コロナウイルス感染拡大防止のため，全て開催を見合わせました。</p>
成果・課題等	<p>○市が主催する市民大学講座（生涯学習講座）の開催数 0回</p> <p>令和2年度は，講座等を開催せず，人が集まることを極力避けることで新型コロナウイルス感染拡大防止対策を行いました。今後は，ディスタンスを確保可能な開催会場の確保やWeb会議システムによる遠隔講座など「新しい生活様式」を取り入れた開催方法の検討が必要となっています。</p>

施策名	3 生涯学習の推進		
施策の内容	(2) 多様な学習機会の充実		
事業No	64	事業名	出前講座の充実
担当課	文化・生涯学習課		

実施状況	<p>1 出前講座の実施状況 利用（開催）実績は35件で、昨年度から26%減でした。 （H28年度93件，H29年度99件，H30年度77件，R元年度55件）</p> <p>2 開催数上位の課等の表彰 前年度実績で開催数上位のメニューを所管している課等を市長が表彰する予定です。</p> <p>●令和2年度表彰予定講座</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>順位</th> <th>講座名</th> <th>担当課名</th> <th>開催数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>2-9 介護予防について</td> <td>健幸長寿課</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>2-13 認知症サポーター養成講座</td> <td>健幸長寿課</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>8-1 防災対策について</td> <td>危機管理課</td> <td>5</td> </tr> </tbody> </table>	順位	講座名	担当課名	開催数	1	2-9 介護予防について	健幸長寿課	8	2	2-13 認知症サポーター養成講座	健幸長寿課	7	3	8-1 防災対策について	危機管理課	5
	順位	講座名	担当課名	開催数													
1	2-9 介護予防について	健幸長寿課	8														
2	2-13 認知症サポーター養成講座	健幸長寿課	7														
3	8-1 防災対策について	危機管理課	5														
成果・課題等	<p>○出前講座の利用件数→35件</p> <p>申込件数が多いものは、継続して介護関係及び防災関係の講座であり、市民の関心の高さがうかがわれます。</p> <p>新型コロナウイルス感染症拡大防止の影響もあり、全体の件数は前年度から減少していますが、出前講座としてではなく、担当課に直接説明や講座を申し込んでいるケースも見受けられます。</p> <p>市民への「出前講座」周知に努めるとともに、実施する課の負担を軽減するために、申込や報告方法等について、簡略化する方向で検討する必要があります。</p>																

施策名	3 生涯学習の推進		
施策の内容	(3) 人権教育・啓発の推進		
事業No	65	事業名	人権啓発活動の充実
担当課	文化・生涯学習課		

実施状況	<p>国の人権週間（12/4～12/10）に合わせて、人権意識の高揚を図るため、市役所1階ホールにおいて人権啓発パネルを展示しました。</p> <p>今回は拉致問題をテーマにしたパネル展示を行ったほか、初の試みとして、会場にパソコンを設置して拉致問題啓発アニメDVD「めぐみ」を上映しました。</p> <p>○期間：人権週間12月1日（火）～11日（金）</p> <p>○場所：市役所1階ホール</p> <p>○展示：①内閣官房拉致問題対策本部事務局政策企画室から借用した人権啓発ポスター「拉致問題パネル」9点を展示 ②拉致問題啓発アニメDVD「めぐみ」の上映（本編25分、繰り返し再生） ③拉致問題に関する閲覧資料の設置</p> <p>○広報：市広報紙に掲載したほか、ポスター・チラシを作成して市内中学校生徒全員へチラシを配布したほか、コミュニティセンター等公共施設と小学校へポスターの掲示を依頼</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>
成果・課題等	<p>○人権週間に合わせた啓発活動数 1回</p> <p>新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、会場にはマスク着用の案内や消毒液を設置しての実施としました。</p> <p>何らかの用事で庁舎を訪れた市民の方々が、展示に気づき足を止めてパネルやアニメを見ていく姿が見受けられ、一定の成果があったと考えます。</p> <p>人権問題は、基本的に終わりが存在しないものであることから、今後も継続的に事業を実施して意識の啓発に努めてまいります。</p>

施策名	4 文化芸術の振興		
施策の内容	(1) 文化芸術に親しむ機会の充実		
事業No	68	事業名	地域文化活動の育成及び支援
担当課	文化・生涯学習課		

実施状況	<p>1 市民団体との共催事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ●第29回龍ヶ崎市民文化芸術フェスティバル【10/27～11/15, 3,478人】 <p><コロナ禍により中止とした事業></p> <ul style="list-style-type: none"> ●第14回龍ヶ崎市文化の祭典 …5/19～5/31 予定 ●癒し&くつろぎ&ミニコンサート …7/4, 9/22, 2/11 予定 ●伝統芸能講習会（盆踊り講習会） …7～8月 予定 ●龍ぼん祭2020 …8/15 予定 ●合唱やろうよ講習会 …8～2月（全12回） 予定 ●バンドやろうよ講習会 …8月（5日間） 予定 ●お茶会&お琴演奏会 …10/11 予定 ●ふれ愛広場2020 …10/18 予定 ●創造展 …1/20～1/24 予定 →次年度に持越し ●高齢者いきいき健康マージャン交流大会 …3/13 予定 ●ワークショップ「はじめての盆栽と山野草」 …3/27 予定 <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p>▲市民文化芸術フェスティバル（左：作品展示／右：ステージ発表）</p> <p>2 その他地域文化活動の支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ●文化協会加盟団体事業支援（施設の優先貸出） <ul style="list-style-type: none"> ・春季盆栽展【6/5～6/7 予定】→コロナ禍により申請取り下げ ・竜ヶ崎子どもミュージカル公演【6/14 予定】→コロナ禍により申請取り下げ ●美術館見学会（茨城県陶芸美術館）【3/5, 21人】
成果・課題等	<ul style="list-style-type: none"> ●令和2年度市民文化芸術フェスティバル延べ来場者数 …3,478人 (対前年度比△18,388人) <p>当市の秋の風物詩となっている市民文化芸術フェスティバルですが、令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響を受け、開催自体が危ぶまれました。かろうじて開催することができましたが、展示の部では一般公募を行わず文化協会加盟の一部団体のみによる作品展示としたり、ステージ発表の部では「歌謡舞踊と小曲のつどい」のみの発表としたりするなど、大幅な規模縮小を余儀なくされました。</p> <p>今後も当面の間は、社会情勢に配慮したうえで様々な制限のある中での開催になると思われませんが、一日も早く以前のような形で賑やかに実施できるようになればと考えます。</p>

施策名	4 文化芸術の振興		
施策の内容	(1) 文化芸術に親しむ機会の充実		
事業No	69	事業名	文化会館の利便性の向上
担当課	文化・生涯学習課		

実施状況	<p>1 社会教育施設長寿命化計画（個別施設計画）の策定 【事業費】7,700,000円 【完了日】令和2年11月11日 【概要】 既存の施設をより長く安全に使用するためには劣化箇所の改修等が必須となりますが、特に大規模施設においては工事の実施に多くの費用が発生します。 そこで、文化会館・歴史民俗資料館・中央図書館の3施設を対象に、各施設の現状や改修の優先度の考え方、今後想定される費用の推計、改修のロードマップなど中・長期的な基本方針を取りまとめた「社会教育施設長寿命化計画（個別施設計画）」を策定しました。</p> <p>2 新型コロナウイルス感染症拡大防止への対応 施設利用者およびスタッフの安全を最優先としながら、市内随一の多目的公共ホールとしての役割を果たすため、国や県、市の方針を踏まえながら社会状況に応じた感染防止措置を講じて管理運営を行いました。</p>													
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>期 間</th> <th>内 容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4/4, 5 4/11～6/8</td> <td>臨時休館（施設使用および新規使用申請受付の停止）…窓口業務のみ実施 ※運転免許講習は実施を許可</td> </tr> <tr> <td>6/9～8/31</td> <td>施設使用および新規使用申請受付の再開（大ホールを除く） →各施設の入場者数を制限、開館時間は9:00～17:00に限定</td> </tr> <tr> <td>9/1～</td> <td>大ホール貸出しおよび新規使用申請受付の再開（入場者数制限あり）</td> </tr> <tr> <td>1/9～1/18</td> <td>政府の緊急事態宣言対象地域居住者の利用停止</td> </tr> <tr> <td>1/19～2/7</td> <td>臨時休館（施設使用の停止、新規使用申請を含む窓口業務は実施） ※運転免許講習や健康診断などの実施は許可</td> </tr> <tr> <td>2/8～</td> <td>施設使用再開（1/18時点の体制による対応）</td> </tr> </tbody> </table>	期 間	内 容	4/4, 5 4/11～6/8	臨時休館（施設使用および新規使用申請受付の停止）…窓口業務のみ実施 ※運転免許講習は実施を許可	6/9～8/31	施設使用および新規使用申請受付の再開（大ホールを除く） →各施設の入場者数を制限、開館時間は9:00～17:00に限定	9/1～	大ホール貸出しおよび新規使用申請受付の再開（入場者数制限あり）	1/9～1/18	政府の緊急事態宣言対象地域居住者の利用停止	1/19～2/7	臨時休館（施設使用の停止、新規使用申請を含む窓口業務は実施） ※運転免許講習や健康診断などの実施は許可	2/8～
期 間	内 容													
4/4, 5 4/11～6/8	臨時休館（施設使用および新規使用申請受付の停止）…窓口業務のみ実施 ※運転免許講習は実施を許可													
6/9～8/31	施設使用および新規使用申請受付の再開（大ホールを除く） →各施設の入場者数を制限、開館時間は9:00～17:00に限定													
9/1～	大ホール貸出しおよび新規使用申請受付の再開（入場者数制限あり）													
1/9～1/18	政府の緊急事態宣言対象地域居住者の利用停止													
1/19～2/7	臨時休館（施設使用の停止、新規使用申請を含む窓口業務は実施） ※運転免許講習や健康診断などの実施は許可													
2/8～	施設使用再開（1/18時点の体制による対応）													
成果・課題等	<ul style="list-style-type: none"> ●令和2年度文化会館施設の延べ利用者数 …21,937人（対前年度比△72,721人） ●令和2年度文化会館大ホール稼働率 …25%（対前年度比△7%） ●令和2年度文化会館の利用者の満足度※ …97.9%（対前年度比△1.0%） ※来館者アンケート「文化芸術に慣れ親しむ施設としての満足度」の設問で「満足」「やや満足」と回答した方の割合の合計 <p>延べ利用者数や大ホール稼働率は前年度より低下していますが、これは新型コロナウイルス感染症拡大防止のため施設の使用を制限したことや、実施を見合わせた事業が多かったことが要因であり、やむを得ない結果であると考えます。</p> <p>施設の利用に際しては、検温、マスクの着用、手指消毒、十分な換気、ソーシャルディスタンスを確保した座席指定など、感染防止対策の徹底を必須条件としました。</p> <p>感染が収束を迎えるまでは今後も厳しい状況が想定されますが、社会情勢に対応した適切な感染防止措置を講じつつ、当市の文化・芸術活動の拠点施設としての役割を最大限果たせるように努めます。</p> <p>また、現在の施設を安全により長く利用できるよう、今回策定した長寿命化計画を基に適切な時期に必要な改修等を行っていきます。</p>													

施策名	4 文化芸術の振興		
施策の内容	(1) 文化芸術に親しむ機会の充実		
事業No	70	事業名	鑑賞・招聘型文化活動の充実
担当課	文化・生涯学習課		

実施状況	<p>1 鑑賞・招聘型事業</p> <p>①名作映画会「天気の子」【7/26, 167人】※2回上映 ②R i n' ライブ 2020 光明～未来へ～【10/10, 271人】 ③ぬいぐるみミュージカル「オズの魔法使い」【12/6, 495人】※2回公演 ④新春映画会「クレヨンしんちゃん」【1/10, 717人】※3回上映 ⑤お笑い爆笑ライブ 2021in 龍ヶ崎【2/28, 462人】※2回公演</p> <p><予定を変更した事業></p> <p>●宝くじ文化公演 デーモン閣下&岡本知高の劇的コンサート「悪魔の森の音楽会」 【当初R2.6.27予定】</p> <p>… コロナ禍により中止（出演者都合により延期不可） 代替事業として、吉田兄弟×レ・フレール スペシャルコラボコンサートを R3.1.24に実施予定としたがコロナ禍により次年度（=R4.3.5）に延期</p> <p>●島津亜矢コンサートツアー 2020【当初R2.3.19予定】</p> <p>… コロナ禍によりR2.7.29に延期したが、開催の目途が立たず中止</p> <p>●ベンチャーズ ジャパン・ツアー 2020【当初R2.9.27予定】</p> <p>… コロナ禍で出演者が来日できず中止</p> <p>●山崎まさよしコンサートツアー 2020【当初R2.3.1予定】</p> <p>… コロナ禍で3/30, 6/30, 11/21と延期を重ねたが、開催の目途が立たず中止</p> <p>●サーカスコンサート【当初R2.11.29予定】</p> <p>… コロナ禍により中止</p> <p>●天童よしみコンサート 2021【当初R3.3.14予定】</p> <p>… コロナ禍により次年度に延期</p>
成果・課題等	<p>予定していた多くの事業が中止、または延期とする結果となり、実施したものについてもソーシャルディスタンス確保のため入場者数を制限しての開催となりました。</p> <p>今後も、新型コロナウイルス感染症が収束を迎えるまでの当面の間は、国等の指針に従ったうえでの事業実施となりますが、利用者アンケートの結果等を考慮しながら多くの皆様に足を運んでいただけるような事業を企画・実施し、文化・芸術を身近に感じられる機会を提供してまいります。</p>

施策名	4 文化芸術の振興		
施策の内容	(2) 多様な文化財の保存と活用の推進		
事業No	71	事業名	文化財の指定及び保護
担当課	文化・生涯学習課		

実施状況	<p>1 文化財等説明板の製作・設置 【事業費】1,232,000円 【完了日】令和3年3月30日 【概要】 市指定文化財や、新たに認定された市民遺産の説明板(計3基)を製作・設置しました。</p> <p>①蓼太句碑(市指定文化財 …砂町/医王院境内) ※作り替え ②十一面観音像(市指定文化財 …小通幸谷町/慈眼院境内) ※作り替え ③関東鉄道竜ヶ崎線(市民遺産 …米町/竜ヶ崎駅敷地内)</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>▲説明板(蓼太句碑)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>▲説明板(関東鉄道竜ヶ崎線)</p> </div> </div>
	<p>2 県指定文化財「龍ヶ崎のシダレザクラ」後継樹苗木の植樹 【実施日】令和3年2月25日 【概要】 根町・般若院にある県指定天然記念物「龍ヶ崎のシダレザクラ」の枝から育成された後継樹の苗木(2本)を、上町・八坂神社に隣接する市有地に植樹しました。</p> <p><植樹式参加者></p> <ul style="list-style-type: none"> ・般若院住職/荒楨純隆氏 ・赤レンガ保存実行委員会委員長/久保田房子氏 ・国立研究開発法人森林総合研究所林木育種センター所長/上鍊三氏 ・中山市長 ・平塚教育長 ・松尾教育部長 ・事務局(文化・生涯学習課) <div style="text-align: center;">  <p>▲植樹式の様子</p> </div>
成果・課題等	<p>●市指定文化財の指定数(令和3年3月末現在)…19件</p> <p>令和2年度における新規指定文化財の指定はありませんでしたが、説明板の設置により、文化財の周知および保護意識の醸成を図りました。</p> <p>また、シダレザクラの苗木は、平成30(2018)年に国登録有形文化財となった「旧諸岡家住宅煉瓦門及び塀」の前に植樹しました。推定樹齢450年の古木の子孫を残すという意味合いだけでなく、将来的にはレンガ門と桜が織りなす景色が市の新たな名所となり、市街地の賑わい創出に繋がることが期待されます。</p>

施策名	4 文化芸術の振興		
施策の内容	(2) 多様な文化財の保存と活用の推進		
事業No	72	事業名	市民遺産の認定
担当課	文化・生涯学習課		

実施状況	<p>1 龍ヶ崎市民遺産の新規認定 文化財保護審議会への諮問・答申を経て、令和3年1月27日開催の教育委員会定例会において、新たに1件の龍ヶ崎市民遺産が認定されました。 【認定物件】 関東鉄道竜ヶ崎線（龍ヶ崎市民遺産第14号） 【所在地】 米町（関東鉄道竜ヶ崎駅） 【所有者等】 関東鉄道株式会社</p> <p>2 市民遺産認定書交付式の開催 上記認定を受け、関係者を招待して市民遺産認定書の交付式を開催しました。 【実施日】 令和3年2月9日 【会場】 龍ヶ崎市役所庁議室 ＜交付式参加者＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 龍ヶ崎市地域公共交通活性化協議会会長／十文字義之氏 ・ 関東鉄道（株）常務取締役鉄道部長／宮島宏幸氏 ・ " 鉄道部業務課長／小林道政氏 ・ " " 業務課主任／吉田一啓氏 ・ 関鉄レールメイト／竜崎ちはる氏 守谷詩音氏 ・ 中山市長 ・ 平塚教育長 ・ 松尾教育部長 ・ 事務局（文化・生涯学習課 都市計画課） <div style="text-align: center;">  <p>▲認定書交付式の様子</p> </div>
成果・課題等	<p>●市民遺産の認定数（令和3年3月末現在）…14件</p> <p>平成27年4月の市民遺産認定制度開始以来、順調に認定件数を増やし、累計で14件となりました。</p> <p>認定証交付式の様子は新聞各紙に取材・掲載され、認定となった「竜鉄」や市民遺産制度を改めて皆さんに注目していただくきっかけになったものと考えます。</p> <p>今後も市民遺産への認定を通して、後世に継承していきたい身近な“お宝”にスポットを当て、シビックプライドの醸成や、龍ヶ崎市の魅力度向上を図っていきます。</p>

施策名	4 文化芸術の振興		
施策の内容	(2) 多様な文化財の保存と活用の推進		
事業No	73	事業名	歴史資源などの活用
担当課	文化・生涯学習課		

実施状況	<p>1 国指定重要文化財「絹本著色十六羅漢像」レプリカ作製業務委託 【事業費】5,203,000円 【完了日】令和3年2月19日 【概要】重要文化財掛軸全16幅のうち、4幅（第13尊者～第16尊者）のレプリカを作製しました。</p>  <p>▲完成したレプリカ掛軸（第15尊者）</p> <p>2 (仮称) 撞舞広場整備に関する協議 根町の撞舞通り沿いにある市有地について、国選択・県指定無形民俗文化財の伝統行事「撞舞」のPRをしながら市内観光の拠点として有効活用を図っていくため、今後の整備方針について商工観光課と協議を行いました。 【打合せ会議】 第1回：8月20日 第2回：10月9日 第3回：2月2日</p>
成果・課題等	<ul style="list-style-type: none"> ●市指定文化財または市民遺産等を活用したイベント件数（令和2年度開催）…なし ●指定文化財及び市民遺産等の説明板設置数（平成27年度以降の延べ設置数）…21件 <p>令和2年度においては、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、文化財等を活用した集客型イベントの開催を見合わせることにし、今後の実施計画を策定するのみとしました。</p> <p>平成29（2017）年度から着手した「絹本著色十六羅漢像」掛軸のレプリカ作製事業ですが、足掛け4年で全16幅を完成させることができました。新型コロナウイルス感染症の影響等に留意しながら、全ての掛軸を一堂に会した企画展示を令和3年度中に実施する予定で準備を進めています。</p> <p>（仮称）撞舞広場については、現在、撞舞実施の際の観覧スペースとして利用されていますが、今後は撞舞に関する説明板を設置するなどして、本市が誇る伝統芸能の周知を図りながら、街なか散策のポイントにもなるような活用方法を検討していきます。</p>

施策名	4 文化芸術の振興		
施策の内容	(3) 郷土学習の推進		
事業No	74	事業名	歴史民俗資料館の利活用の向上
担当課	文化・生涯学習課		

実施状況	<p>1 企画展・収蔵品展の開催</p> <p>①常設展：4/1～5/27・1/19～2/7 はコロナ禍により臨時休館 ②ボランティア作品展「布れあい染織展」：4月予定 臨時休館により中止 ③企画展「絹本著色十六羅漢像（複製）第三幕」：5月予定 臨時休館により中止 ④収蔵絵画コレクション展：5/28～6/28 ⑤次世代と描く「原爆の絵」展：7/4～8/2 ⑥写真展「子どもの情景」：8/9～9/6 ⑦写真展「牛久沼 水辺の情景」：9/19～11/23 ⑧れきみんコレクション：1/5～1/17・2/9～2/28 ⑨龍ヶ崎市誕生1周年・竜ヶ崎線開業120周年記念展：3/7～3/28</p> <p>2 普及事業の実施</p> <p>①古文書講座 上級，初級コース 9月から6回 （コロナ禍により対面講座を中止，両コース共通のテキストを配布し自宅学習） ②歴史散歩：11/6，11/15，12/5 ③博物館見学会：10，11月2回予定（中止） ④れきみんシアター：毎週土曜予定（中止） ⑤れきみん祭り：8月予定（中止） ⑥駄菓子屋：8，10月2回予定（中止） ⑦撞舞コスプレ体験：7月2回予定（中止）</p> <p>3 体験学習の実施</p> <p>①わら草履教室作り教室：7，8月2回予定（中止） ②しめ飾り作り教室：12月2回予定（中止） ③草木染め教室：5，9月4回予定（中止） ④機織り伝承教室：毎週火，木（7月から） ⑤機織り教室：3月8回予定（中止） ⑥簡単機織り教室：8月予定（中止） ⑦折り紙教室：6，10，2月3回予定（中止） ⑧お手玉作り教室：2月予定（中止） ⑨竹細工教室：8月予定（中止） ⑩龍ヶ崎とんび凧作り教室：12月予定（中止）</p> <p>4 文化活動の推進及び支援</p> <p>①常陽小学生新聞『昔の道具と暮らし』に寄稿：9回 ②りゅうほー「龍ヶ崎よもやま話」に寄稿：5回 ③資料閲覧及びレファレンス：通年 ④小学校見学学習支援：1/19～2/26 12校見学予定（臨時休館のため中止） ⑤学芸員実習生の受入：4名（茨城大学，筑波大学，大正大学，八洲学園大学） ⑥ボランティア活動の推進及び支援：資料館ボランティア，龍ヶ崎市古文書同好会（育成及び協働団体）</p> <p>5 資料収集整理保存</p> <p>①資料の収集：6件72点 ②伝統的祭礼・行事等基礎調査：7件 （コロナ禍による祭礼中止や聞き取り調査未実施のため）</p>
成果・課題等	<p>●歴史民俗資料館の延べ利用者数 9,216人（前年度 23,630人） ●歴史民俗資料館（体験学習室）の稼働率20%（前年度 38%）</p> <p>新型コロナウイルス感染防止対策により，2度の臨時休館と，殆どの事業を中止する状況となり，入館者数が前年の半分以下まで落ち込んでしまいました。6月からは施設の使用制限や来館者への注意事項を定め，感染防止対策をしながら，展示事業を実施しています。普及事業では，密を避けるため，古文書講座をテキスト配布式にして，継続して学習できるようにしていますが，途中から来なくなる方もおり，受講者離れが心配されます。</p> <p>毎年1～2月に市内外の小学校3年生が来館する見学学習も中止になりましたが，常陽小学生新聞への「昔の道具と暮らし」の寄稿を継続しながら，学習資料の提供と館のPRを行い，コロナ収束後の来館者増加につなげたいと思います。</p>

施策名	4 文化芸術の振興		
施策の内容	(3) 郷土学習の推進		
事業No	75	事業名	体験学習の充実
担当課	文化・生涯学習課／指導課		

実施状況	<p>1 歴史民俗資料館の体験教室</p> <p>①わら草履作り教室：8月2回予定（中止）</p> <p>②しめ飾り作り教室：12月2回予定（中止）</p> <p>③草木染め教室：5, 9月4回予定（中止）</p> <p>④機織り伝承教室：毎週火, 木（7月より）</p> <p>⑤機織り教室：3月8回予定（中止）</p> <p>⑥簡単機織り教室：8月予定（中止）</p> <p>⑦折り紙教室：6, 10, 2月3回予定（中止）</p> <p>⑧お手玉作り教室：2月予定（中止）</p> <p>⑨竹細工教室：8月予定（中止）</p> <p>⑩龍ヶ崎とんび凧作り教室：12月予定（中止）</p>
成果・課題等	<p>④の機織り伝承教室では、資料館ボランティアメンバーが、機織りと染色技術の伝承や研究を行っています。それ以外の教室は参加者同士が密になるため中止としました。</p> <p>ボランティアが習得した技術を活かせる体験教室が出来るまでには、もう少し時間がかかりそうですが、その時に参加者が楽しめるように準備を進めていきます。</p>

施策名	4 文化芸術の振興		
施策の内容	(3) 郷土学習の推進		
事業No	76	事業名	郷土史の普及促進
担当課	文化・生涯学習課		

実施状況	<p>1 歴史民俗資料館における郷土史促進事業</p> <p>①古文書講座：6回 上級コース（受講者25名），初級コース（受講者20名） （新型コロナウイルス感染防止のため，多目的室での対面式講座を中止，受講者には9月から毎月テキストを配布し，自宅学習形式とした）</p> <p>②博物館見学会：10，11月2回予定 コロナ禍により中止</p> <p>③れきみんシアター（まんが日本昔話）：毎週土曜日予定 コロナ禍により中止</p> <p>④れきみん祭り：8月予定 コロナ禍により中止</p> <p>⑤駄菓子屋：8，10月2回 れきみん祭り/ふれあい広場内で実施予定であったが中止</p> <p>⑥撞舞コスプレ体験：7月2回予定 コロナ禍により中止</p> <p>⑦『りゅうほー』に「龍ヶ崎よもやま話」を寄稿 10月後半号から5回</p>
成果・課題等	<p>⑦の「龍ヶ崎よもやま話」は、市の歴史を楽しく知ることが出来ると、読者から好評を得ており、郷土史普及と館のPRにも役立っています。令和3年度も継続の企画があり、シティセールス課と協議しながら、郷土史普及の発信をしていきたいと考えています。</p>

(2) スポーツ都市推進課

施策名	5 スポーツの推進		
施策の内容	(1) 流通経済大学と連携したスポーツ施策の推進		
事業No	77	事業名	流通経済大学運動部との連携
担当課	企画課／スポーツ都市推進課		

実施状況	<p>全国的にもトップレベルの実力を有する流通経済大学運動部の支援を新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から活動可能なもののみ実施しました。</p> <p>(1) 各運動部の公式試合日程等の情報提供 総合運動公園イベントスケジュールへの掲載を掲示するとともに、市広報紙、市公式ホームページ・SNSや龍ヶ崎市駅デジタルサイネージなどを活用した試合情報の提供を行い、身近な場所で全国レベルの大学スポーツが観戦できることを市民に周知しようとしたが、市民参加型の試合等の開催には至りませんでした。</p> <p>(2) 市の運動施設の優先貸出 総合運動公園における流通経済大学運動部の公式戦等は、次のとおり開催されました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サッカー 関東大学サッカーリーグ戦・・・3 試合 関東サッカーリーグ (KSL)・・・10 試合 ・硬式野球 東京新大学野球連盟秋季リーグ戦・・・2 試合 ・陸上競技 流通経済大学陸上競技会・・・6 回 <p>(3) 応援バスツアーの開催 新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から実施には至りませんでした。</p>
成果・課題等	<p>市内小中学校に在学する児童生徒が居る家庭に対して、「市内施設でトップレベルの大学生試合を見ることができること」の周知もしながら、様々な媒体を活用し各運動部の公式戦試合日程やメンバー紹介などの情報提供を行うとともに、総合運動公園の公式戦開催への優先的な貸し出しを行っていきます。</p>

施策名	5 スポーツの推進		
施策の内容	(1) 流通経済大学と連携したスポーツ施策の推進		
事業No	78	事業名	トップアスリートの育成
担当課	スポーツ都市推進課		

実施状況	<p>1. 技術講習会(龍ヶ崎市体育協会) 新型コロナウイルス感染拡大防止のため未開催</p> <p>2. 全国大会等出場者への激励金の交付及び表彰 (1) 激励金交付件数：24件 (2) 表彰式(龍ヶ崎市体育協会)：新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止 開催予定日：R3.2.27 会場：たつのこアリーナ サブアリーナ 表彰対象者：予選会を経て全国規模以上の大会に出場した選手，または出場予定であった選手（中学生のみ関東規模の大会以上） 表彰 団体：1団体，個人：28人，功労者表彰（指導者）：3人 ※表彰対象者には賞状及び記念の盾を後日授与しました。</p> <p>3. オリンピック・パラリンピック出場者への特別奨励金の交付 2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会出場特別奨励金交付要綱を制定（令和2年6月）し，スポーツライミングで出場が内定している選手1名（野口啓代選手）に特別奨励金を交付し支援しました。</p> <p>4. スポーツ指導者養成講習会の実施：新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止 開催予定日：R3.2.27 会場：たつのこアリーナ サブアリーナ 内 容：やる気とパフォーマンスを引き出すメンタルトレーニング ジュニア期におけるスポーツ栄養スキル</p>
成果・課題等	<p>優れた資質を有するまたはトップレベルを目指している競技者に対して，ジュニア期からトップアスリートを育成していくために，市内のスポーツ団体と連携し技術講習会等を検討していきます。また，本市出身者で2020年オリンピック・パラリンピック東京大会への出場が内定した選手へ特別奨励金を交付し支援します。</p>

施策名	5 スポーツの推進		
施策の内容	(1) 流通経済大学と連携したスポーツ施策の推進		
事業No	79	事業名	スポーツボランティアの充実
担当課	スポーツ都市推進課		

実施状況	<p>各種スポーツ大会やイベント開催時にボランティアの協力を依頼しました。</p> <p>1. 各種大会・イベント</p> <p>(1) 市民ウォークラリー大会：令和2年5月3日（中止）</p> <p>(2) 市民スポーツ・レクリエーションまつり：令和2年10月11日（中止）</p> <p>(3) 第14回龍ヶ崎市中学校駅伝競走大会：令和2年12月19日（中止）</p> <p>(4) 第1回龍ヶ崎たつのこハーフマラソン大会：令和3年5月9日（中止）</p> <p>2. マラソン大会におけるボランティアの協力</p> <p>(1) 流通経済大学 マラソン大会開催に向けての企画については陸上競技部・ライフセービング部の顧問に協力いただきました。また、同部学生には当日の運営ボランティアとして協力を依頼しました。</p> <p>(2) スポーツ団体 マラソン大会当日の運営ボランティアとして市内スポーツ団体に協力を依頼しました。</p> <p>(3) 企業 マラソン大会では、多くの企業の方々に協賛をいただきました。また大会当日の運営ボランティアとして、東京電力パワーグリッド(株)竜ヶ崎支社や明治安田生命保険(相)竜ヶ崎営業所に協力を依頼しました。</p> <p>(4) 一般公募 マラソン大会の応援用手旗を作成するため、市広報誌でボランティアを募集し、大会当日に使用する応援用手旗を作成しました。</p>
成果・課題等	<p>新型コロナウイルス感染拡大防止のために、大会やイベントが中止となってしまいましたが、流通経済大学やスポーツ団体のボランティアの協力を得て企画を行いました。今後は、マラソン大会をはじめとする大規模スポーツイベントの運営に向けてスポーツボランティアの育成や募集・派遣のための新たな仕組みを構築し、多くの市民がボランティアとして活躍できる環境を整備します。</p>

施策名	5 スポーツの推進		
施策の内容	(2) スポーツを支える環境の整備		
事業No	81	事業名	スポーツ施設の充実
担当課	スポーツ都市推進課		

実施状況	<p>総合運動公園をはじめとする市のスポーツ施設について、高水準の機能・設備を備えた施設としての充実を図るとともに、改修をしました。</p> <p>1. たつのこアリーナ</p> <p>(1) プール洗体槽シャワー改修工事 熱感知センサー更新 / シャワーシステム用制御盤更新</p> <p>(2) 屋外流水プール改修工事 プール塗装・・・492㎡ / プールサイドシート張・・・740㎡</p> <p>(3) 空調機インバーター交換工事 4台</p> <p>(4) 防球ネット設置工事 4張</p> <p>2. 龍ヶ岡公園テニスコート</p> <p>(1) 簡易トイレ設置工事 2基</p> <p>(2) 防犯カメラ設置工事 2台</p> <p>3. 若柴公園テニスコート</p> <p>(1) 東屋改修工事（屋根9.3㎡）</p> <p>4. 旧北文間小学校体育館改修工事</p> <p>(1) 体育館改修工事 ・トイレ, LED照明, 倉庫, ポーチスロープ改修</p> <p>(2) 備品購入 ・卓球台, ネット, 得点板等 6台分 ・バドミントン多目的支柱, ネット, 得点板等 3コート分 ・バレーボール支柱, ネット等 1コート分 ・フットサルゴール 1組</p>
成果・課題等	<p>総合運動公園をはじめとする市のスポーツ施設について、指定管理者と連携を図り、利用者の視点に立った利用しやすい施設整備の充実に努めます。</p> <p>令和3年度は、陸上競技場第3種公認継続に係る改修工事や総合体育館の防火設備等改修工事、旧北文間小学校第4期校舎改修工事などを行う予定です。</p>

施策名	5 スポーツの推進		
施策の内容	(2) スポーツを支える環境の整備		
事業No	82	事業名	スポーツボランティアの充実【再掲】
担当課	スポーツ都市推進課		

実施状況	<p>各種スポーツ大会やイベント開催時にボランティアの協力を依頼しました。</p> <p>1. 各種大会・イベント</p> <p>(1) 市民ウォークラリー大会：令和2年5月3日（中止）</p> <p>(2) 市民スポーツ・レクリエーションまつり：令和2年10月11日（中止）</p> <p>(3) 第14回龍ヶ崎市中学校駅伝競走大会：令和2年12月19日（中止）</p> <p>(4) 第1回龍ヶ崎たつのこハーフマラソン大会：令和3年5月9日（中止）</p> <p>2. マラソン大会におけるボランティアの協力</p> <p>(1) 流通経済大学 マラソン大会開催に向けての企画については陸上競技部・ライフセービング部の顧問に協力いただきました。また、同部学生には当日の運営ボランティアとして協力を依頼しました。</p> <p>(2) スポーツ団体 マラソン大会当日の運営ボランティアとして市内スポーツ団体に協力を依頼しました。</p> <p>(3) 企業 マラソン大会では、多くの企業の方々に協賛をいただきました。また大会当日の運営ボランティアとして、東京電力パワーグリッド(株)竜ヶ崎支社や明治安田生命保険(相)竜ヶ崎営業所に協力を依頼しました。</p> <p>(4) 一般公募 マラソン大会の応援用手旗を作成するため、市広報誌でボランティアを募集し、大会当日に使用する応援用手旗を作成しました。</p>
成果・課題等	<p>新型コロナウイルス感染拡大防止のために、大会やイベントが中止となってしまいましたが、流通経済大学やスポーツ団体のボランティアの協力を得て企画を行いました。今後は、マラソン大会をはじめとする大規模スポーツイベントの運営に向けてスポーツボランティアの育成や募集・派遣のための新たな仕組みを構築し、多くの市民がボランティアとして活躍できる環境を整備します。</p>

施策名	5 スポーツの推進		
施策の内容	(2) スポーツを支える環境の整備		
事業No	83	事業名	スポーツ情報発信の充実
担当課	スポーツ都市推進課		

実施状況	<p>1. 市のスポーツ施設の利用案内及びスポーツ教室，スポーツイベントなどの情報提供</p> <p>(1) 広報誌「りゅうほー」による情報提供 月2回発行する広報誌「りゅうほー」に施設情報やスポーツイベント・教室等を掲載し，利用者に対して周知を図りました。</p> <p>(2) 市公式ホームページによる情報提供 市公式ホームページは，広報誌「りゅうほー」と比較して，たくさんの情報を発信することが可能であるとともに，随時情報を更新できるため，イベント・スポーツ教室等，詳細な案内を提供しました。</p> <p>(3) 指定管理者「たつのこまちづくりパートナーズ」に関する情報提供 市公式ホームページ内にリンク先を貼り，より詳しい情報を提供しました。コロナ禍の中での施設の利用について，タイムリーに情報を掲載しました。SNS（フェイスブック・インスタグラム）により教室等の情報発信をしました。</p> <p>2. スポーツ団体に関する情報提供の推進</p> <p>(1) 総合型地域スポーツクラブ「クラブ・ドラゴンズ」，体育協会，スポーツ少年団，レクリエーション協会における加盟団体の団員募集や活動内容について，市広報紙「りゅうほー」や市公式ホームページに掲載し，幅広い情報提供を行いました。</p> <p>(2) スポーツ少年団の団員募集 市内小中学校にチラシの配布を依頼しました。</p>
成果・課題等	<p>施設の利用案内及びスポーツイベント，スポーツ教室等を市公式ホームページ等へ掲載することにより，市内外の方に広く周知することができました。</p> <p>今後は，市民が求める情報をさらに分かりやすく市公式ホームページへ掲載できるよう努めていきます。</p> <p>その他，SNS（フェイスブック等）の活用や指定管理者が発行するチラシ，スポーツイベントのポスター等，スポーツに関する情報について，あらゆる年齢層に配慮した情報発信に努めていきます。</p>

施策名	5 スポーツの推進		
施策の内容	(3) 身近でスポーツに親しむ機会の充実		
事業No	84	事業名	スポーツ教室・イベントの充実
担当課	スポーツ都市推進課		

実施状況	<p>各種大会やイベントを定期的に行い、市民のスポーツ参加機会の提供と気軽にスポーツに親しむ意識を高めるなど、スポーツ人口の拡大に努めました。</p> <p>【令和2年度実績】 各種大会・イベント等事業数：5事業 参加人数：延べ2,547名 指定管理者によるスポーツ教室参加人数：延べ27,456名</p> <p>1. 各種大会・イベント等事業</p> <p>(1) 市民ウォークラリー大会：中止（5月3日） (2) 市民スポーツフェスティバル：1,990名（9月～12月） (3) 市民スポーツ・レクリエーションまつり：中止（10月11日） (4) ニュースポーツ体験教室：中止（2月28日） (5) 第14回中学校駅伝競走大会：中止（12月19日） (6) スポーツ少年団本部交流大会：中止（2月7日） (7) 茨城県民駅伝競走大会（参加）：中止（12月12日） (8) レクリエーション協会 インディアカ大会：34名（3月） (9) ヘルシーバレーボール大会：中止（11月29日） (10) 小学生陸上記録会直前合同練習会（クラブ・ドラゴンズ交付金事業）：中止 (11) 中学生部活動コンディショニングレクチャー（〃 交付金事業）：中止 (12) ランニングクリニック開催事業（〃 交付金事業） メインイベント：流通経済大学龍ヶ崎フィールドにて11/7（土）に実施。 講師：谷川真理 参加者数：90人 サブイベント：龍ヶ崎市総合運動公園付近のロード走 実施回数：15回 参加者数：112人 (13) ウォーキング教室開催事業（クラブ・ドラゴンズ交付金事業） 各コミュニティセンターを拠点として、年3回程度のポールウォーキング講座を実施。実施月：9月～3月 実施回数：延べ24回 参加者数：延べ321人</p> <p>2. 指定管理者によるスポーツ教室 コース型教室や1回単位で参加できる教室、また最新のレスミルズ（グループフィットネスプログラム）を導入し、様々な年代に対応した教室を展開していますが、新型コロナウイルス感染症の影響により休館や教室の一部中止があったため事業数・参加者数は前年度に比べ減少。 年間教室等利用者数：40,999人</p>
	成果・課題等

施策名	5 スポーツの推進		
施策の内容	(3) 身近でスポーツに親しむ機会の充実		
事業No	85	事業名	スポーツ少年団・総合型地域スポーツクラブの支援
担当課	スポーツ都市推進課		

実施状況	<p>1. スポーツ少年団の継続的活動に向けた支援 スポーツ少年団の団員募集や指導者の育成支援をするとともに、活動拠点の確保や大会の開催・出場を支援する等、スポーツ少年団が継続的に活動できるよう支援しました。</p> <p>(1) バスの賃借料の支援 大会に出場するスポーツ少年団を対象に、年に1回を限度として、バスの賃借料を補助しました。 5件 482,420円</p> <p>(2) 学校体育施設夜間開放の使用料の免除 活動拠点の確保を目的に、市内小中学校体育館の夜間開放使用料を免除しました。</p> <p>(3) スポーツ施設の使用料の減免 大会開催を対象に総合運動公園及びテニスコートの施設使用料を減免しました。</p> <p>2. 総合型地域スポーツクラブの支援 総合型地域スポーツクラブ「クラブ・ドラゴンズ」の会員募集や認知度向上を支援するとともに、活動拠点の確保を支援し、市の交付金事業として4事業を実施。</p> <p>(1) 総合型地域スポーツクラブの活動内容の市民への周知 クラブの活動内容を市のホームページにリンクし、市民へ広く周知しました。</p> <p>(2) 総合型地域スポーツクラブの活動場所の連携協力 活動場所・練習場所について連携協力し、スポーツ機会の充実を図りました。</p> <p>(3) 総合型地域スポーツクラブの交付金事業の実施</p> <p>①小学生陸上記録会直前合同練習会：中止</p> <p>②中学生部活動コンディショニングレクチャー：中止</p> <p>③ランニングクリニック開催事業 メインイベント：流通経済大学龍ヶ崎フィールドにて11/7（土）に実施。 講師：谷川真理 参加者数：90人 サブイベント：龍ヶ崎市総合運動公園付近のロード走 実施回数：15回 参加者数：112人</p> <p>④ウォーキング教室開催事業 各コミュニティセンターを拠点として、年3回程度のポールウォーキング講座を実施。 実施回数：延べ24回 参加者数：延べ321人</p>
成果・課題等	<p>少子化の進行に伴い、スポーツ少年団員の確保が難しくなり、活動を縮小する少年団も見受けられます。今後も継続して団員募集の支援や活動拠点の確保等を支援していきます。</p> <p>総合型地域スポーツクラブによる交付金事業は、新型コロナウイルス感染症の影響により2事業のみの実施となりましたが、今後も交付金事業の質的充実を促進していきます。</p>

施策名	5 スポーツの推進		
施策の内容	(3) 身近でスポーツに親しむ機会の充実		
事業No	86	事業名	ニュースポーツの推進
担当課	スポーツ都市推進課		

実施状況	<p>1. ニュースポーツの研究 スポーツ推進委員協議会において、以前より研究を行ってきた龍ケ崎市発のニュースポーツについて、ワーキンググループで名称・ルールの改良を検討し、市スポーツ推進委員協議会で報告・実技研修を行った。 名称：「まいりゅうコロコロ」 (1) 開催日：令和2年9月29日（火） (2) 会場：たつのこアリーナ</p> <p>2. ニュースポーツ体験教室の実施 （※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止） (1) 開催日：令和3年2月28日（日） (2) 会場：たつのこアリーナ</p> <p>3. ウォークラリー大会及びニュースポーツ大会の開催 （※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止） (1) ウォークラリー大会 ①開催日：令和2年5月3日（日） ②会場：市役所（流通経済大学及びまいんバザール会場を通過するコースを検討） ③主催：龍ケ崎市ウォークラリー大会実行委員会 (2) 龍ケ崎市レクリエーション協会加盟団体のニュースポーツ大会開催に対し、活動助成金の補助を行いました。 ①助成団体：インディアカ 1団体 ②大会参加者数：34名</p> <p>4. 市民スポーツフェスティバル・市民スポーツレクリエーションまつりにおけるニュースポーツの実施 (1) 市民スポーツフェスティバル：(9月～12月) インディアカ バウンドテニス (2) 市民スポーツレクリエーションまつり：10月11日（日） （※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止）</p>
成果・課題等	<p>第2次スポーツ推進計画策定時に実施した市民意識調査（平成28年度実施）において、『年齢にあったスポーツの開発・普及を進める』と回答した方の割合が38.8%で2番目に多く、今後も継続して市民の誰もが楽しめる多様なニュースポーツの体験教室や大会を開催し充実を図っていきます。</p> <p>また、身近な施設であるコミュニティセンターを中心に、スポーツ推進委員が研究している龍ケ崎市独自のニュースポーツを含めニュースポーツ体験教室を開催して普及を図り、スポーツ未実施者の掘り起こし等を行っていきます。</p>

施策名	5 スポーツの推進		
施策の内容	(4) 競技力の向上		
事業No	87	事業名	スポーツ指導者の育成
担当課	スポーツ都市推進課		

実施状況	<p>1. スポーツ指導者養成講習会の開催 (※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止) 開催予定日：R3.2.27 会場：たつのこアリーナ多目的室 内容：やる気とパフォーマンスを引き出すメンタルトレーニング ジュニア期におけるスポーツ栄養スキル</p> <p>2. スポーツ功労賞・優秀賞表彰式の開催（龍ヶ崎市体育協会） (※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止) 開催予定日：R3.2.27 会場：たつのこアリーナ サブアリーナ 表彰対象者：予選会を経て全国規模以上の大会に出場した選手，または出場予定であった選手（中学生のみ関東規模の大会以上） 表彰 団体：1団体，個人：28人，功労者表彰（指導者）：3人 ※表彰対象者には賞状及び記念の盾を後日授与しました。</p> <p>3. スポーツ少年団本部功労者の表彰の実施 スポーツ少年団活動において長年指導で功績のあった個人について表彰を行いました。 スポーツ少年団交流大会時に表彰をしていましたが，新型コロナウイルス感染拡大防止のため大会は中止とし，被表彰者には後日賞状を授与しました。 被表彰者：スポーツ少年団本部交流大会時に教育長賞3名（龍ヶ崎剣道）・特別功労賞4名（龍ヶ崎剣道・竜ヶ崎リトルリーグ・馴染サッカー・久保台ブルズ）・功労賞3名（龍ヶ崎ジャイアンツ・龍ヶ崎剣道）の表彰を行いました。</p>
成果・課題等	<p>新型コロナウイルス感染拡大防止のために表彰式等は中止となってしまいましたが，長年スポーツ競技の普及・振興のため指導にあたっている指導者に対し，表彰を行いました。今後もスポーツ指導者に対して，指導力の向上だけでなく，子どもたちの安全面にも配慮した指導が行えるよう，講習会等を開催していきます。</p>

施策名	5 スポーツの推進		
施策の内容	(4) 競技力の向上		
事業No	88	事業名	トップアスリートの育成【再掲】
担当課	スポーツ都市推進課		

実施状況	<p>1. 技術講習会(龍ヶ崎市体育協会) 新型コロナウイルス感染拡大防止のため未開催</p> <p>2. 全国大会等出場者への激励金の交付及び表彰 (1) 激励金交付件数：24件 (2) 表彰式(龍ヶ崎市体育協会)：新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止 開催予定日：R3.2.27 会場：たつのごアリーナ サブアリーナ 表彰対象者：予選会を経て全国規模以上の大会に出場した選手，または出場予定であった選手(中学生のみ関東規模の大会以上) 表彰 団体：1団体，個人：28人，功労者表彰(指導者)：3人 ※表彰対象者には賞状及び記念の盾を後日授与しました。</p> <p>3. オリンピック・パラリンピック出場者への特別奨励金の交付 2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会出場特別奨励金交付要綱を制定(令和2年6月)し，スポーツライミングで出場が内定している選手1名(野口啓代選手)に特別奨励金を交付し支援しました。</p> <p>4. スポーツ指導者養成講習会の実施：新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止 開催予定日：R3.2.27 会場：たつのごアリーナ サブアリーナ 内 容：やる気とパフォーマンスを引き出すメンタルトレーニング ジュニア期におけるスポーツ栄養スキル</p>
成果・課題等	<p>新型コロナウイルス感染拡大防止のために表彰式等は中止となってしまいましたが，長年スポーツ競技の普及・振興のため指導にあっている指導者に対し，表彰を行いました。今後もスポーツ指導者に対して，指導力の向上だけでなく，子どもたちの安全面にも配慮した指導が行えるよう，講習会等を開催していきます。</p>

【令和3年度事業計画】

1 第2次ふるさと龍ヶ崎戦略プラン (主要施策の事業計画)

(1) 文化・生涯学習課

第2次ふるさと龍ヶ崎戦略プラン 進行管理シート

令和3年度

戦略 目 標 施 策 事業名	1	若い世代の希望の実現～若者・子育て世代の定住環境の創出～					
	1	子育て環境日本一【重点目標】					
	1	「子どもと住みたい龍ヶ崎」の実現	SDGsとの関連性  				
		(仮称)図書館北竜台分館の整備					
担当課	文化・生涯学習課						
事業の概要・目的	市内商業施設に、図書貸出窓口をはじめ、キッズスペースやテレワークスペース等を兼ね備えたサテライト施設を整備します。						
関連計画等での位置付け							
今年度の取組内容	1 施設のオープンに向けた準備(4月～8月) ●内装工事に関する協議 …4月～6月 ●備品等の購入およびレイアウト・設置 …4月～8月 ●指定管理者の選定および協定の締結 …4月～7月 ●施設の愛称公募および決定 …4月～6月 ●配架図書の選定および設置 …5月～8月 ●図書館システム等稼働準備 …4月～8月 ●オープニングセレモニー準備 …7月～8月 ●施設オープンの周知(広報紙・HP・プレスリリース等) …8月 2 「図書館北竜台分館」施設オープン(9月) ●オープニングセレモニー …9月						
コスト情報	費目/年度		平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年
	総額(円)		0	0	0	0	0
	事業費		0	0	0	0	0
	人件費		0	0	0	0	0
	市民1人あたりの費用 (R02.10/1常住人口)		76,218	0	0	0	0
	財源内訳(円)						
	国 支出金		0	0	0	0	0
	県 支出金		0	0	0	0	0
	起 債		0	0	0	0	0
その他(受益者負担など)		0	0	0	0	0	
一般財源		0	0	0	0	0	
事業評価	評価項目	評価基準	チェック ※当てはまる事項に ■		判断理由等		
	必要性	・市民ニーズや社会状況の変化により、事業の役割が薄れていないか ・市が事業主体であることが妥当か(国・県・民間と競合していないか)	<input type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 概ね妥当である <input type="checkbox"/> 妥当でない				
	有効性	・成果目標の達成状況は順調に推移しているか ・成果を向上させるため、事業内容を見直す余地がないか ・活動内容は有効なものとなっているか	<input type="checkbox"/> 有効である <input type="checkbox"/> 概ね有効である <input type="checkbox"/> 有効でない				
	効率性	・民間委託等の導入や関連する事業との統合等により、コスト削減は可能か ・人件費削減は可能か ・事務事業の目的や成果から考えて、受益者負担等を見直す必要があるか	<input type="checkbox"/> 現行どおり <input type="checkbox"/> 見直し				
今後の方向性	<input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 廃止						

第2次ふるさと龍ヶ崎戦略プラン 進行管理シート

令和3年度

戦 略 目 標 施 策 事業名	1	若い世代の希望の実現～若者・子育て世代の定住環境の創出～						
	1	子育て環境日本ー【重点目標】						
	1	「子どもと住みたい龍ヶ崎」の実現	SDGsとの関連性  					
	事業名	学童保育ルームの充実						
担当課	文化・生涯学習課							
事業の概要・目的	保育需要や保護者のニーズに対応した適正なサービス量を確保し、学童保育や学習支援などの充実を図ります。							
関連計画等での位置付け	龍ヶ崎市教育振興基本計画 事業No.2-3-1							
今年度の取組内容	1業務委託による、安定的な保育ルームの管理運営を図る。 (1)入所児童数や児童の特性に応じた支援員等の配置を進める。 (2)施設に必要な備品等の購入や修繕により、児童の過ごしやすい環境整備を進める。 (3)支援員等に対する研修について情報を共有し、支援員の育成に努めさせる。 (4)委託業者と毎月の連絡調整会議や必要に応じた打合せを行い、適宜運営について指導する。							
コスト情報	費目/年度		平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	
	総額(円)		158,509,106	164,186,667	167,405,051	0	0	
	事業費		142,547,573	148,762,592	151,982,803	0	0	
	人件費		15,961,533	15,424,075	15,422,248	0	0	
	市民1人あたりの費用 (R02.10/1常住人口)		76,218	2,047	2,130	2,181	0	0
	財源内訳(円)							
	国 支出金		35,498,000	34,857,000	38,831,000	0	0	
	県 支出金		31,654,000	32,950,000	33,988,000	0	0	
	起 債		0	0	0	0	0	
	その他(受益者負担など)		45,082,550	47,361,650	48,750,150	0	0	
一般財源		46,274,556	49,018,017	45,835,901	0	0		
事業評価	評価項目	評価基準	チェック ※当てはまる事項に ■		判断理由等			
	必要性	・市民ニーズや社会状況の変化により、事業の役割が薄れていないか ・市が事業主体であることが妥当か(国・県・民間と競合していないか)	<input type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 概ね妥当である <input type="checkbox"/> 妥当でない					
	有効性	・成果目標の達成状況は順調に推移しているか ・成果を向上させるため、事業内容を見直す余地がないか ・活動内容は有効なものとなっているか	<input type="checkbox"/> 有効である <input type="checkbox"/> 概ね有効である <input type="checkbox"/> 有効でない					
	効率性	・民間委託等の導入や関連する事業との統合等により、コスト削減は可能か ・人件費削減は可能か ・事務事業の目的や成果から考えて、受益者負担等を見直す必要があるか	<input type="checkbox"/> 現行どおり <input type="checkbox"/> 見直し					
今後の方向性	<input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 廃止							

第2次ふるさと龍ヶ崎戦略プラン 進行管理シート

令和3年度

戦 略 目 標 施 策 事業名	1	若い世代の希望の実現～若者・子育て世代の定住環境の創出～					
	2	住んでみたいと感じるまちづくり					
	2	特色ある教育環境の創造	SDGsとの関連性 				
	事業名	多様な学習機会の提供					
担当課	文化・生涯学習課／指導課						
事業の概要・目的	アフタースクールやサタデースクール、サマースクールなど、多様な学習機会を提供します。						
関連計画等での位置付け	龍ヶ崎市教育振興基本計画 事業No.2-3-2						
今年度の取組内容	(1)アフタースクール・サタデースクールの実施に係る基本方針に伴い、子どもたちが楽しいと感じられる学習や体験活動等ができる場を提供する。対象学年は、第3学年～第6学年とする。 (2)民間事業者のノウハウを活かし、児童の自主性・社会性を育むとともに、子どもの居場所としての機能を発揮したスクール運営を行う。 (3)アフタースクール・サタデースクールに通わせたいと感じる保護者が増え、満足度が向上することを目指す。(アンケートの実施) ・参加者募集(5月上旬) ・参加者への決定通知書・運営業者決定(7月) ・運営開始(9月)						
コスト情報	費目/年度		平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年
	総額(円)		16,516,930	14,274,578	13,542,617	0	0
	事業費		10,254,510	9,593,640	9,995,500	0	0
	人件費		6,262,420	4,680,938	3,547,117	0	0
	市民1人あたりの費用 (R02.10/1常住人口)		76,218	213	185	176	0
	財源内訳(円)						
	国 支出金		0	0	0	0	0
	県 支出金		3,024,000	3,048,000	2,888,000	0	0
	起 債		0	0	0	0	0
	その他(受益者負担など)		0	0	0	0	0
一般財源		13,492,930	11,226,578	10,654,617	0	0	
事業評価	評価項目	評価基準	チェック ※当てはまる事項に ■		判断理由等		
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民ニーズや社会状況の変化により、事業の役割が薄れていないか 市が事業主体であることが妥当か(国・県・民間と競合していないか) 	<input type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 概ね妥当である <input type="checkbox"/> 妥当でない				
	有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標の達成状況は順調に推移しているか 成果を向上させるため、事業内容を見直す余地がないか 活動内容は有効なものとなっているか 	<input type="checkbox"/> 有効である <input type="checkbox"/> 概ね有効である <input type="checkbox"/> 有効でない				
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> 民間委託等の導入や関連する事業との統合等により、コスト削減は可能か 人件費削減は可能か 事務事業の目的や成果から考えて、受益者負担等を見直す必要があるか 	<input type="checkbox"/> 現行どおり <input type="checkbox"/> 見直し				
今後の方向性	<input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 廃止						

第2次ふるさと龍ヶ崎戦略プラン 進行管理シート

令和3年度

戦 略 目 標 施 策 事業名	1	若い世代の希望の実現～若者・子育て世代の定住環境の創出～				
	2	住んでみたいと感じるまちづくり				
	3	大学等と連携した人材育成と生涯学習・生涯スポーツの推進	SDGsとの関連性			
	事業名	市民大学講座の充実	 			
担当課	企画課／文化・生涯学習課					
事業の概要・目的	大学等との連携により、市民ニーズに応える専門性の高い講座を実施します。					
関連計画等での位置付け						
今年度の取組内容	(1) 東洋大学生涯学習プログラムによる講座の開催 ① 応募 ② 大学及び講師との調整 ③ 新たな開催方法の検討 ④ 講座の開催 (2) 流通経済大学と連携した市民大学講座の開催 ① 大学側との協議調整 ② 新たな開催方法の検討 ③ 市民大学講座の開催					
コスト情報	費目/年度	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年
	総額(円)	534,597	867,555	0	0	0
	事業費	0	23,451	0	0	0
	人件費	534,597	844,104	0	0	0
	市民1人あたりの費用 (R02.10/1常住人口)	76,218	7	11	0	0
	財源内訳(円)					
	国 支出金	0	0	0	0	0
	県 支出金	0	0	0	0	0
	起 債	0	0	0	0	0
	その他(受益者負担など)	0	0	0	0	0
一般財源	534,597	867,555	0	0	0	
事業評価	評価項目	評価基準	チェック ※当てはまる事項に ■	判断理由等		
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民ニーズや社会状況の変化により、事業の役割が薄れていないか 市が事業主体であることが妥当か(国・県・民間と競合していないか) 	<input type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 概ね妥当である <input type="checkbox"/> 妥当でない			
	有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標の達成状況は順調に推移しているか 成果を向上させるため、事業内容を見直す余地がないか 活動内容は有効なものとなっているか 	<input type="checkbox"/> 有効である <input type="checkbox"/> 概ね有効である <input type="checkbox"/> 有効でない			
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> 民間委託等の導入や関連する事業との統合等により、コスト削減は可能か 人件費削減は可能か 事務事業の目的や成果から考えて、受益者負担等を見直す必要があるか 	<input type="checkbox"/> 現行どおり <input type="checkbox"/> 見直し			
今後の方向性	<input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 廃止					

第2次ふるさと龍ヶ崎戦略プラン 進行管理シート

令和3年度

戦 略	2	教育環境の向上～まちづくりを担う人づくり～					
目 標	4	龍の子の生きる力を育むまちづくり					
施 策	3	魅力があり、信頼される学校づくりの推進			SDGsとの関連性  		
事業名	教育の日推進事業の充実						
担当課	文化・生涯学習課／指導課						
事業の概要・目的	11月の龍ヶ崎教育月間、11月5日の龍ヶ崎教育の日を中心に龍ヶ崎教育の日推進事業を展開することで、市民の教育に対する関心と理解を深めるとともに、明日の龍ヶ崎市を担う心豊かでたくましい子どもを育成します。						
関連計画等での位置付け	龍ヶ崎市教育振興基本計画 事業No.1-3-3、2-1-4						
今年度の取組内容	<p>(1) 実行委員会の開催(5月～2月) 教育の日推進事業の事業内容及び役割分担などについて、庁内関係課の職員及び関連団体で構成される実行委員会を開催し、協議を行う。</p> <p>(2) 周知活動の実施(9月～11月) 広報紙、市公式ホームページなどに教育の日推進事業について掲載する。 市内の公共施設や教育施設には、ポスター・横断幕及びのぼり旗などを設置し、教育の日推進事業の周知活動を行う。</p> <p>(3) 教育の日推進事業の展開(11月) 実行委員会での協議をふまえ、教育の日推進事業を展開する。</p>						
コスト情報	費目/年度		平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年
	総額(円)		4,619,227	4,308,542	7,011,829	0	0
	事業費		266,082	241,497	226,040	0	0
	人件費		4,353,145	4,067,045	6,785,789	0	0
	市民1人あたりの費用 (R02.10/1常住人口)	76,218	60	56	91	0	0
			財源内訳(円)				
	国 支出金		0	0	0	0	0
	県 支出金		0	0	0	0	0
	起 債		0	0	0	0	0
	その他(受益者負担など)		0	0	0	0	0
一般財源		4,619,227	4,308,542	7,011,829	0	0	
事業評価	評価項目	評価基準	チェック ※当てはまる事項に ■		判断理由等		
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・市民ニーズや社会状況の変化により、事業の役割が薄れていないか ・市が事業主体であることが妥当か(国・県・民間と競合していないか) 	<input type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 概ね妥当である <input type="checkbox"/> 妥当でない				
	有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・成果目標の達成状況は順調に推移しているか ・成果を向上させるため、事業内容を見直す余地がないか ・活動内容は有効なものとなっているか 	<input type="checkbox"/> 有効である <input type="checkbox"/> 概ね有効である <input type="checkbox"/> 有効でない				
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・民間委託等の導入や関連する事業との統合等により、コスト削減は可能か ・人件費削減は可能か ・事務事業の目的や成果から考えて、受益者負担等を見直す必要があるか 	<input type="checkbox"/> 現行どおり <input type="checkbox"/> 見直し				
今後の方向性	<input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 廃止						

第2次ふるさと龍ヶ崎戦略プラン 進行管理シート

令和3年度

戦 略	2	教育環境の向上～まちづくりを担う人づくり～					
目 標	5	子どもの健やかな成長と自立心を育むまちづくり					
施 策	1	家庭の教育力の向上	SDGsとの関連性  				
事業名	各種セミナーの開催・相談体制の充実						
担当課	文化・生涯学習課						
事業の概要・目的	子どもを持つ親たちの学習や交流の場の提供として、子育てふれあいセミナー事業を実施し、子育てへの不安や悩みを解消し、家庭教育の重要性の認識を図ります。						
関連計画等での位置付け	龍ヶ崎市教育振興基本計画 事業No.2-1-1						
今年度の取組内容	<p>【子育てふれあいセミナーの開催】</p> <p>(1)全体研修会の実施内容の検討 実施回数の削減。 ・参加人数の制限及び同一内容の複数回実施。</p> <p>(2)各校におけるセミナー ・感染対策として、3密を避ける、参加人数の制限、実施内容の厳選、時間短縮を考慮した内容とする。</p> <p>(3)家庭教育支援資料等の情報提供 ・県の家庭教育支援資料「子育てアドバイスブッククローバー」モバイル版の案内 ・家庭教育支援に関する内容をテーマとして「子育てふれあいセミナー通信」を定期的に発行しセミナー生へ配布する。</p> <p>【家庭教育相談の実施】</p> <p>(1)家庭教育指導員による家庭教育相談の実施 (2)主に青少年(18歳以上)及びその保護者の家庭教育に関する相談業務を電話または窓口で実施し、必要に応じて、関係機関等を紹介することで、専門機関との連携に努める。</p>						
コスト情報	費目/年度		平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年
	総額(円)		2,552,279	2,729,312	2,853,563	0	0
	事業費		2,017,682	2,038,682	2,082,451	0	0
	人件費		534,597	690,630	771,112	0	0
	市民1人あたりの費用 (R02.10/1常住人口)		76,218	33	35	37	0
	財源内訳(円)						
	国 支出金		0	0	0	0	0
	県 支出金		0	0	0	0	0
	起 債		0	0	0	0	0
	その他(受益者負担など)		0	0	0	0	0
一般財源		2,552,279	2,729,312	2,853,563	0	0	
事業評価	評価項目	評価基準		チェック ※当てはまる事項に ■		判断理由等	
	必要性	・市民ニーズや社会状況の変化により、事業の役割が薄れていないか ・市が事業主体であることが妥当か(国・県・民間と競合していないか)		<input type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 概ね妥当である <input type="checkbox"/> 妥当でない			
	有効性	・成果目標の達成状況は順調に推移しているか ・成果を向上させるため、事業内容を見直す余地がないか ・活動内容は有効なものとなっているか		<input type="checkbox"/> 有効である <input type="checkbox"/> 概ね有効である <input type="checkbox"/> 有効でない			
	効率性	・民間委託等の導入や関連する事業との統合等により、コスト削減は可能か ・人件費削減は可能か ・事務事業の目的や成果から考えて、受益者負担等を見直す必要があるか		<input type="checkbox"/> 現行どおり <input type="checkbox"/> 見直し			
今後の方向性		<input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 廃止					

第2次ふるさと龍ヶ崎戦略プラン 進行管理シート

令和3年度

戦 略 目 標 施 策 事業名	2	教育環境の向上～まちづくりを担う人づくり～				
	5	子どもの健やかな成長と自立心を育むまちづくり				
	2	幼児教育の充実	SDGsとの関連性 			
	子どもの読書活動の推進					
担当課	文化・生涯学習課					
事業の概要・目的	子ども読書活動推進計画に基づき、幼児期における読み聞かせや読書の重要性の周知を図り、子どもが自主的に読書に取り組む環境整備を進めます。					
関連計画等での位置付け	龍ヶ崎市教育振興基本計画 事業No.3-1-3					
今年度の取組内容	子どもの読書状況についてアンケート実施 1 主旨・内容 次期「龍ヶ崎市子ども読書活動推進計画(第四次)」策定の基礎資料とするため、子どもの読書状況についてアンケートを実施する。 アンケート結果について同委員会に報告する。 2 実施スケジュール 5・6月 アンケート作成 7月～8月 アンケート依頼・実施 9月～11月 集計・分析 2月 第2回市子ども読書活動推進委員会(アンケート結果の報告)					
コスト情報	費目/年度	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年
	総額(円)	1,870,064	667,494	570,979	0	0
	事業費	1,717,322	53,600	31,200	0	0
	人件費	152,742	613,894	539,779	0	0
	市民1人あたりの費用 (R02.10/1常住人口)	76,218	24	9	7	0
	財源内訳(円)					
	国 支出金	0	0	0	0	0
	県 支出金	0	0	0	0	0
	起 債	0	0	0	0	0
	その他(受益者負担など)	0	0	0	0	0
一般財源	1,870,064	667,494	570,979	0	0	
事業評価	評価項目	評価基準	チェック ※当てはまる事項に ■	判断理由等		
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民ニーズや社会状況の変化により、事業の役割が薄れていないか 市が事業主体であることが妥当か(国・県・民間と競合していないか) 	<input type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 概ね妥当である <input type="checkbox"/> 妥当でない			
	有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標の達成状況は順調に推移しているか 成果を向上させるため、事業内容を見直す余地がないか 活動内容は有効なものとなっているか 	<input type="checkbox"/> 有効である <input type="checkbox"/> 概ね有効である <input type="checkbox"/> 有効でない			
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> 民間委託等の導入や関連する事業との統合等により、コスト削減は可能か 人件費削減は可能か 事務事業の目的や成果から考えて、受益者負担等を見直す必要があるか 	<input type="checkbox"/> 現行どおり <input type="checkbox"/> 見直し			
今後の方向性	<input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 廃止					

第2次ふるさと龍ヶ崎戦略プラン 進行管理シート

令和3年度

戦 略	2	教育環境の向上～まちづくりを担う人づくり～					
	目 標	5	子どもの健やかな成長と自立心を育むまちづくり				
	施 策	4	子どもの交流と活動の促進			SDGsとの関連性 	
	事業名	子どもの交流・活動拠点の充実					
担当課	文化・生涯学習課						
事業の概要・目的	たつのこ山管理棟の施設を利用して、サポーターやボランティアの見守りにより、子どもたちの自由な発想を育む空間を提供します。						
関連計画等での位置付け	龍ヶ崎市教育振興基本計画 事業No.2-4-1						
今年度の取組内容	<p>たつのこやま管理棟において、NPOのサポーターや地域のボランティアにより遊びの指導や見守りを行い、子どもたちが自由な発想で活動することができる安心・安全な場として提供する。</p> <p>(1)NPO法人ティ・ペア(土・日曜日 10:00～16:00) (2)たつのこ山囲碁クラブ(月曜日 14:00～16:30) (3)龍ヶ崎市女性会(木曜日 14:00～16:30)</p>						
コスト情報	費目/年度		平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年
	総額(円)		2,972,219	844,104	2,656,710	0	0
	事業費		2,284,880	0	1,962,709	0	0
	人件費		687,339	844,104	694,001	0	0
	市民1人あたりの費用 (R02.10/1常住人口)		76,218	38	11	35	0
	財源内訳(円)						
	国 支出金		0	0	0	0	0
	県 支出金		0	0	0	0	0
	起 債		0	0	0	0	0
	その他(受益者負担など)		0	0	0	0	0
一般財源		2,972,219	844,104	2,656,710	0	0	
事業評価	評価項目	評価基準	チェック ※当てはまる事項に ■		判断理由等		
	必要性	・市民ニーズや社会状況の変化により、事業の役割が薄れていないか ・市が事業主体であることが妥当か(国・県・民間と競合していないか)	<input type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 概ね妥当である <input type="checkbox"/> 妥当でない				
	有効性	・成果目標の達成状況は順調に推移しているか ・成果を向上させるため、事業内容を見直す余地がないか ・活動内容は有効なものとなっているか	<input type="checkbox"/> 有効である <input type="checkbox"/> 概ね有効である <input type="checkbox"/> 有効でない				
	効率性	・民間委託等の導入や関連する事業との統合等により、コスト削減は可能か ・人件費削減は可能か ・事務事業の目的や成果から考えて、受益者負担等を見直す必要があるか	<input type="checkbox"/> 現行どおり <input type="checkbox"/> 見直し				
今後の方向性	<input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 廃止						

第2次ふるさと龍ヶ崎戦略プラン 進行管理シート

令和3年度

戦 略	2	教育環境の向上～まちづくりを担う人づくり～						
目 標	5	子どもの健やかな成長と自立心を育むまちづくり						
施 策	4	子どもの交流と活動の促進	SDGsとの関連性  					
事業名	子どもの地域活動への参加促進							
担当課	文化・生涯学習課／指導課							
事業の概要・目的	子どもの地域活動への参加を促し、青少年の健全育成を図ります。							
関連計画等での位置付け	龍ヶ崎市教育振興基本計画 事業No.2-4-3							
今年度の取組内容	<p>(1)「地域の子どもは地域ぐるみで育てる」という視点から、学校、地域、その他の関係機関が互いに協力して、青少年の健全な育成を図るため、市内の小学校校門などでの立哨による声かけなど、非行防止キャンペーン(あいさつ・声かけ運動)を実施する。また、学校を通じて子どもたちに市内一斉清掃への参加を呼びかけるとともに、参加者にはまちづくりポイント制度のポイントシールを配付するなどの方法により、状況に応じて子どもたちの地域活動等への参加を促す。</p> <p>(2)「魅力ある取組」、「学力向上」、「連携」を重視した地域社会の教育力を有効活用した教育活動の展開</p> <p>(3)地域行事への参加や地域人材を活用した教育活動や体験活動を通しての地域社会の一員としての自覚や感謝、思いやりの心の育成と地域と一体となった学校づくり</p>							
コスト情報		費目/年度	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	
		総額(円)	1,132,823	1,060,840	1,065,335	0	0	
		事業費	140,000	140,000	140,000	0	0	
		人件費	992,823	920,840	925,335	0	0	
		市民1人あたりの費用 (R02.10/1常住人口)	76,218	15	14	14	0	0
		財源内訳(円)						
		国 支出金	0	0	0	0	0	
		県 支出金	0	0	0	0	0	
		起 債	0	0	0	0	0	
		その他(受益者負担など)	0	0	0	0	0	
	一般財源	1,132,823	1,060,840	1,065,335	0	0		
事業評価	評価項目	評価基準	チェック ※当てはまる事項に ■			判断理由等		
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・市民ニーズや社会状況の変化により、事業の役割が薄れていないか ・市が事業主体であることが妥当か(国・県・民間と競合していないか) 	<input type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 概ね妥当である <input type="checkbox"/> 妥当でない					
	有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・成果目標の達成状況は順調に推移しているか ・成果を向上させるため、事業内容を見直す余地がないか ・活動内容は有効なものとなっているか 	<input type="checkbox"/> 有効である <input type="checkbox"/> 概ね有効である <input type="checkbox"/> 有効でない					
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・民間委託等の導入や関連する事業との統合等により、コスト削減は可能か ・人件費削減は可能か ・事務事業の目的や成果から考えて、受益者負担等を見直す必要があるか 	<input type="checkbox"/> 現行どおり <input type="checkbox"/> 見直し					
今後の方向性		<input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 廃止						

第2次ふるさと龍ヶ崎戦略プラン 進行管理シート

令和3年度

戦 略	2	教育環境の向上～まちづくりを担う人づくり～					
	目 標	6	生涯にわたり学び、文化やスポーツに親しめるまちづくり				
		施 策	1	生涯学習環境の充実と人権教育・啓発の推進			SDGsとの関連性 
	事業名		人権啓発活動の充実				
担当課	文化・生涯学習課						
事業の概要・目的	人権尊重について、身近で大切なものと感じ、理解を深めることのできる啓発を行います。						
関連計画等での位置付け	龍ヶ崎市教育振興基本計画 事業No.3-3-1						
今年度の取組内容	<p>人権啓発に係るパネル展の開催 人権週間(12月4日～10日)に合わせて、人権啓発に関するパネル展示を行う。 2月～7月 展示パネル借用申込 8月～9月 チラシ作成 10月～11月 チラシ配布・市広報紙・市公式ホームページ等へ掲載 12月 展示</p>						
コスト情報	費目/年度		平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年
	総額(円)		235,309	157,393	201,882	0	0
	事業費		6,196	3,920	47,660	0	0
	人件費		229,113	153,473	154,222	0	0
	市民1人あたりの費用 (R02.10/1常住人口) 76,218		3	2	3	0	0
	財源内訳(円)						
	国 支出金		0	0	0	0	0
	県 支出金		0	0	0	0	0
	起 債		0	0	0	0	0
	その他(受益者負担など)		0	0	0	0	0
一般財源		235,309	157,393	201,882	0	0	
事業評価	評価項目	評価基準	チェック ※当てはまる事項に ■		判断理由等		
	必要性	・市民ニーズや社会状況の変化により、事業の役割が薄れていないか ・市が事業主体であることが妥当か(国・県・民間と競合していないか)	<input type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 概ね妥当である <input type="checkbox"/> 妥当でない				
	有効性	・成果目標の達成状況は順調に推移しているか ・成果を向上させるため、事業内容を見直す余地がないか ・活動内容は有効なものとなっているか	<input type="checkbox"/> 有効である <input type="checkbox"/> 概ね有効である <input type="checkbox"/> 有効でない				
	効率性	・民間委託等の導入や関連する事業との統合等により、コスト削減は可能か ・人件費削減は可能か ・事務事業の目的や成果から考えて、受益者負担等を見直す必要があるか	<input type="checkbox"/> 現行どおり <input type="checkbox"/> 見直し				
今後の方向性	<input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 廃止						

第2次ふるさと龍ヶ崎戦略プラン 進行管理シート

令和3年度

戦 略	2	教育環境の向上～まちづくりを担う人づくり～					
目 標	6	生涯にわたり学び、文化やスポーツに親しめるまちづくり					
施 策	2	文化財の保存・活用と文化芸術に親しむ機会の充実	SDGsとの関連性  				
事業名	市民遺産の認定						
担当課	文化・生涯学習課						
事業の概要・目的	指定文化財以外で、市民に親しまれている身近な自然や歴史的・文化的な遺産を「龍ヶ崎市民遺産」として認定し、市民の地域に対する誇りや愛着の醸成を図ります。						
関連計画等での位置付け	龍ヶ崎市教育振興基本計画 事業No.4-2-2						
今年度の取組内容	<ol style="list-style-type: none"> 1 認定候補物件の公募(5月～9月) ・市民に向け、広報紙や市公式ホームページ等を通して周知する 2 認定候補物件(市推薦)の洗い出し(5月～6月) ・市や小中学校等が所有する物のうち、歴史的・文化的価値があり認定候補になり得ると考えられる物について、洗い出しを行う 3 候補物件についての調査(5月～10月) ・市民から推薦のあった候補物件、または市自ら推薦する候補物件について、市史等の文献や関係者への聞き取りなどにより調査を行う 4 文化財保護審議会への諮問・会議の開催(11月) ・候補物件を新たな市民遺産として認定することについて、審議会に諮問し答申を受ける 5 教育委員会定例会への議案提出(12月) 						
コスト情報	費目/年度		平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年
	総額(円)		3,528,651	2,612,927	3,011,714	0	0
	事業費		1,084,780	924,720	1,546,600	0	0
	人件費		2,443,871	1,688,207	1,465,114	0	0
	市民1人あたりの費用 (R02.10/1常住人口)		76,218	46	34	39	0
	財源内訳(円)						
	国 支出金		0	0	0	0	0
	県 支出金		0	0	0	0	0
	起 債		0	0	0	0	0
	その他(受益者負担など)		0	0	0	0	0
一般財源		3,528,651	2,612,927	3,011,714	0	0	
事業評価	評価項目	評価基準	チェック ※当てはまる事項に ■		判断理由等		
	必要性	・市民ニーズや社会状況の変化により、事業の役割が薄れていないか ・市が事業主体であることが妥当か(国・県・民間と競合していないか)	<input type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 概ね妥当である <input type="checkbox"/> 妥当でない				
	有効性	・成果目標の達成状況は順調に推移しているか ・成果を向上させるため、事業内容を見直す余地がないか ・活動内容は有効なものとなっているか	<input type="checkbox"/> 有効である <input type="checkbox"/> 概ね有効である <input type="checkbox"/> 有効でない				
	効率性	・民間委託等の導入や関連する事業との統合等により、コスト削減は可能か ・人件費削減は可能か ・事務事業の目的や成果から考えて、受益者負担等を見直す必要があるか	<input type="checkbox"/> 現行どおり <input type="checkbox"/> 見直し				
今後の方向性		<input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 廃止					

第2次ふるさと龍ヶ崎戦略プラン 進行管理シート

令和3年度

戦略 目標 施策 事業名	2	教育環境の向上～まちづくりを担う人づくり～						
	6	生涯にわたり学び、文化やスポーツに親しめるまちづくり						
	2	文化財の保存・活用と文化芸術に親しむ機会の充実	SDGsとの関連性 					
		歴史的資源などの活用						
担当課	文化・生涯学習課							
事業の概要・目的	指定文化財や市民遺産などの資源を活用し、その他の地域資源と組み合わせた散策・観光コースを提案するなど、魅力的な環境づくりを推進します。							
関連計画等での位置付け	龍ヶ崎市教育振興基本計画 事業No.4-2-3							
今年度の取組内容	1 「国指定重要文化財『絹本着色十六羅漢像(複製)』公開展」の開催 ・令和2年度をもって全16幅の複製が完成したことから、それらを一堂にお披露目する特別公開展を開催する 【開催時期】 令和3年8月予定(約1か月間) 【開催場所】 歴史民俗資料館 企画展示室 2 指定文化財／市民遺産説明板の製作・設置 ・文化財等の散策をする際に役立つよう、新たに認定された市民遺産の説明板や、既存の指定文化財の説明板のうち劣化が激しいものについて、新たに製作して所縁のある場所に設置する(2～3件程度を予定)							
コスト情報	費目/年度		平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	
	総額(円)		305,484	6,549,055	13,021,887	0	0	
	事業費		0	5,321,268	10,939,884	0	0	
	人件費		305,484	1,227,787	2,082,003	0	0	
	市民1人あたりの費用 (R02.10/1常住人口)		76,218	4	85	170	0	0
	財源内訳(円)							
	国支出金		0	0	0	0	0	
	県支出金		0	0	0	0	0	
	起債		0	0	0	0	0	
	その他(受益者負担など)		0	0	0	0	0	
一般財源		305,484	6,549,055	13,021,887	0	0		
事業評価	評価項目	評価基準	チェック ※当てはまる事項に ■		判断理由等			
	必要性	・市民ニーズや社会状況の変化により、事業の役割が薄れていないか ・市が事業主体であることが妥当か(国・県・民間と競合していないか)	<input type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 概ね妥当である <input type="checkbox"/> 妥当でない					
	有効性	・成果目標の達成状況は順調に推移しているか ・成果を向上させるため、事業内容を見直す余地がないか ・活動内容は有効なものとなっているか	<input type="checkbox"/> 有効である <input type="checkbox"/> 概ね有効である <input type="checkbox"/> 有効でない					
	効率性	・民間委託等の導入や関連する事業との統合等により、コスト削減は可能か ・人件費削減は可能か ・事務事業の目的や成果から考えて、受益者負担等を見直す必要があるか	<input type="checkbox"/> 現行どおり <input type="checkbox"/> 見直し					
今後の方向性	<input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 廃止							

(2) スポーツ都市推進課

第2次ふるさと龍ヶ崎戦略プラン 進行管理シート

令和3年度

戦 略	2	教育環境の向上～まちづくりを担う人づくり～				
目 標	6	生涯にわたり学び、文化やスポーツに親しめるまちづくり				
施 策	3	スポーツ環境の充実			SDGsとの関連性	
事業名	流通経済大学運動部との連携			 		
担当課	企画課／スポーツ都市推進課					
事業の概要・目的	流通経済大学運動部応援ツアーの開催や総合運動公園における公式戦開催への協力、運動部活動の情報発信等を行うとともに、大学運動部と各種団体が連携したイベント開催等を推進し、市民がスポーツに親しむ機会を提供します。					
関連計画等での位置付け	龍ヶ崎市教育振興基本計画 事業No.5-1-1					
今年度の取組内容	<p>(1)各運動部の公式試合日程等の情報提供</p> <ul style="list-style-type: none"> 総合運動公園イベントスケジュールへの掲載や試合会場等にポスターを掲示するとともに、市広報紙や市公式ホームページ等SNSや龍ヶ崎市駅デジタルサイネージなどを活用し継続的な試合情報の提供を行い、身近な場所で全国レベルの大学スポーツが観戦できることを積極的に市民に周知する。 <p>(2)市の運動施設の優先貸出</p> <ul style="list-style-type: none"> 市内での公式試合数増加に向け、大学運動部と調整を図り、市運動施設の貸出を優先的に行う。 <p>(3)応援バスツアーの開催</p> <ul style="list-style-type: none"> 全国大会やリーグ戦決勝戦等、市民の関心の高い試合の応援バスツアーを開催する。また、世界大会出場時など現地へ応援に行けない場合の支援として、大学と連携しパブリックビューイングの開催など状況に応じた支援を検討していく。 <p>(4)市民と大学運動部との新たな連携方法の検討</p> <ul style="list-style-type: none"> 大学運動部独自に運用管理し公開しているSNS等の周知や市公式ホームページ内での紹介サイト構築等検討する。 					
コスト情報	費目/年度	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年
	総額(円)	1,003,951	1,011,653	1,016,686	0	0
	事業費	11,128	14,076	14,240	0	0
	人件費	992,823	997,577	1,002,446	0	0
	市民1人あたりの費用 (R02.10/1常住人口)	76,218	13	13	13	0
	財源内訳(円)					
	国 支出金	0	0	0	0	0
	県 支出金	0	0	0	0	0
	起 債	0	0	0	0	0
	その他(受益者負担など)	0	15,500	0	0	0
一般財源	1,003,951	996,153	1,016,686	0	0	
事業評価	評価項目	評価基準	チェック ※当てはまる事項に ■		判断理由等	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民ニーズや社会状況の変化により、事業の役割が薄れていないか 市が事業主体であることが妥当か(国・県・民間と競合していないか) 	<input type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 概ね妥当である <input type="checkbox"/> 妥当でない			
	有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標の達成状況は順調に推移しているか 成果を向上させるため、事業内容を見直す余地がないか 活動内容は有効なものとなっているか 	<input type="checkbox"/> 有効である <input type="checkbox"/> 概ね有効である <input type="checkbox"/> 有効でない			
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> 民間委託等の導入や関連する事業との統合等により、コスト削減は可能か 人件費削減は可能か 事務事業の目的や成果から考えて、受益者負担等を見直す必要があるか 	<input type="checkbox"/> 現行どおり <input type="checkbox"/> 見直し			
今後の方向性	<input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 廃止					

第2次ふるさと龍ヶ崎戦略プラン 進行管理シート

令和3年度

戦略 目標 施策 事業名	2	教育環境の向上～まちづくりを担う人づくり～				
	6	生涯にわたり学び、文化やスポーツに親しめるまちづくり				
	3	スポーツ環境の充実			SDGsとの関連性	
	マラソン大会開催			 		
担当課	スポーツ都市推進課					
事業の概要・目的	地域の特色を活かし、市内外の人々から親しまれ、愛されるような魅力あるマラソン大会を開催します。					
関連計画等での位置付け						
今年度の取組内容	<p>新型コロナウイルス感染症の状況を注視しながら規模を縮小し(種目はハーフマラソンのみ・茨城県内居住者18歳以上)、開催に向けて準備を進めていたが、茨城県内でも感染拡大の傾向にあり事態の悪化が見込まれるため、ランナー、ボランティア等の安全、安心を最優先し、やむを得ず大会を中止とした。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4月下旬～5月 実行委員会の了解を経て、プレスリリースで中止を公表 関係スタッフ・協賛各社へ中止の周知をする。ランナーはダイレクトメールで中止の周知をする。 ・6月 実行委員会・運営委員会開催(決算報告/次回の大会の完全開催に向けての意思確認) 警察協議 次期大会に向けた準備 ・7月～11月 実施計画の作成 運営委託業務契約 大会パンフレット・ポスター・大会ホームページの作成 ・12月～4月 エントリー開始 参加賞の発注 ボランティア等の動員 協賛依頼 周辺地区への周知 参加者へのゼッケン・参加賞等発送 スタッフ・ボランティアへの説明会 					
コスト情報	費目/年度	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年
	総額(円)	0	0	4,688,559	0	0
	事業費	0	0	2,915,000	0	0
	人件費	0	0	1,773,559	0	0
	市民1人あたりの費用 (R02.10/1常住人口)	76,218	0	61	0	0
	財源内訳(円)					
	国 支出金	0	0	0	0	0
	県 支出金	0	0	0	0	0
	起 債	0	0	0	0	0
その他(受益者負担など)	0	0	0	0	0	
一般財源	0	0	4,688,559	0	0	
事業評価	評価項目	評価基準	チェック ※当てはまる事項に ■	判断理由等		
	必要性	・市民ニーズや社会状況の変化により、事業の役割が薄れていないか ・市が事業主体であることが妥当か(国・県・民間と競合していないか)	<input type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 概ね妥当である <input type="checkbox"/> 妥当でない			
	有効性	・成果目標の達成状況は順調に推移しているか ・成果を向上させるため、事業内容を見直す余地がないか ・活動内容は有効なものとなっているか	<input type="checkbox"/> 有効である <input type="checkbox"/> 概ね有効である <input type="checkbox"/> 有効でない			
	効率性	・民間委託等の導入や関連する事業との統合等により、コスト削減は可能か ・人件費削減は可能か ・事務事業の目的や成果から考えて、受益者負担等を見直す必要があるか	<input type="checkbox"/> 現行どおり <input type="checkbox"/> 見直し			
今後の方向性	<input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 廃止					

第2次ふるさと龍ヶ崎戦略プラン 進行管理シート

令和3年度

戦 略	4	地域力の向上～安全・安心で住みよい環境づくり～					
目 標	12	スポーツ健幸日本ー【重点目標】					
施 策	1	スポーツ・運動を通じた健康づくりの推進	SDGsとの関連性  				
事業名	旧北文間小学校改修工事						
担当課	スポーツ都市推進課						
事業の概要・目的	校舎の改修を行い、高砂体育館と同様に、広く市民が利用できる運動施設とすることにより、市民の健康の向上を図ります。						
関連計画等での位置付け	国土強靱化計画関連事業						
今年度の取組内容	1. 旧北文間小学校第4期校舎改修工事 (1) 第4期校舎の用途変更に伴う修正設計業務委託を7月までに完成させる。 (2) 第4期校舎の改修工事を2月までに完成させる。 2. 旧北文間小学校第4期校舎の管理運営 (1) 第4期校舎の設置管理条例制定に向けた条例案を作成し、12月議会に上程する。 (2) 第4期校舎の管理運営を令和4年4月から指定管理者に委託するため、指定管理者の指定について3月議会に上程し、協定書を締結する。						
コスト情報	費目/年度	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	
	総額(円)	0	0	63,035,346	0	0	
	事業費	0	0	55,170,000	0	0	
	人件費	0	0	7,865,346	0	0	
	市民1人あたりの費用 (R02.10/1常住人口)	76,218	0	0	821	0	
	財源内訳(円)						
	国 支出金	0	0	0	0	0	
	県 支出金	0	0	0	0	0	
	起 債	0	0	49,300,000	0	0	
	その他(受益者負担など)	0	0	0	0	0	
一般財源	0	0	13,735,346	0	0		
事業評価	評価項目	評価基準	チェック ※当てはまる事項に ■	判断理由等			
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・市民ニーズや社会状況の変化により、事業の役割が薄れていないか ・市が事業主体であることが妥当か(国・県・民間と競合していないか) 	<input type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 概ね妥当である <input type="checkbox"/> 妥当でない				
	有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・成果目標の達成状況は順調に推移しているか ・成果を向上させるため、事業内容を見直す余地がないか ・活動内容は有効なものとなっているか 	<input type="checkbox"/> 有効である <input type="checkbox"/> 概ね有効である <input type="checkbox"/> 有効でない				
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・民間委託等の導入や関連する事業との統合等により、コスト削減は可能か ・人件費削減は可能か ・事務事業の目的や成果から考えて、受益者負担等を見直す必要があるか 	<input type="checkbox"/> 現行どおり <input type="checkbox"/> 見直し				
今後の方向性	<input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 廃止						

【その他】

1 市立図書館北竜台分館について

◇令和3年9月25日にサプラスクエア サプラに市立図書館北竜台分館がオープンしました。どなたでも利用できる小さな図書館になっていますので、お買い物途中にでもお立ち寄りください。

【施設概要】

愛 称：たつこの図書館（応募のあった270作品の中から選出）

総面積：約190㎡

蔵書数：約300冊（新刊や話題の本などを中心に2,000冊程度まで増冊していきます。）

開館時間：午前10時～午後8時

休館日：サプラスクエア サプラ店休日と特別資料整理期間

設 備：フリーWi-Fi

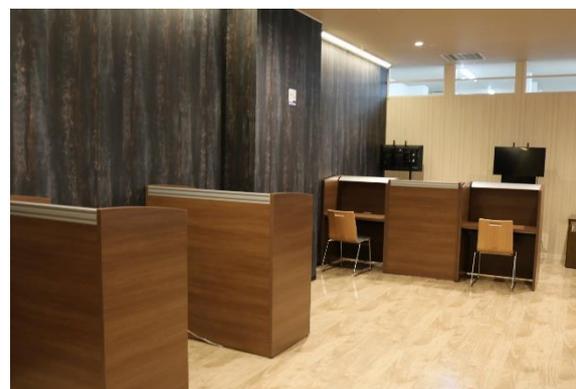
読書スペース12席／テレワークスペース7席／キッズスペース

館内貸出用タブレット6台（電子書籍や電子版の新聞、雑誌の閲覧が可能）

有料ドリンクコーナー

※ 別紙リーフレットもご覧ください。

<施設写真>



北竜台分館について



館内の本は約 2,000 冊。コーヒーなどを飲みながら過ごせる小さな図書館です。館内の本は貸出しできませんが、中央図書館やコミュニティセンター図書室の本の予約・貸出・返却が可能です。フリーWi-Fiを完備していますので、館内貸出用タブレットを使用して、電子書籍や電子版の新聞・雑誌を利用できるのも魅力です。テレワークスペースもご用意しています。買い物途中にも立ち寄れる楽しみのぎゅっと詰まった図書館です。

開館時間

10 : 00 ~ 20 : 00

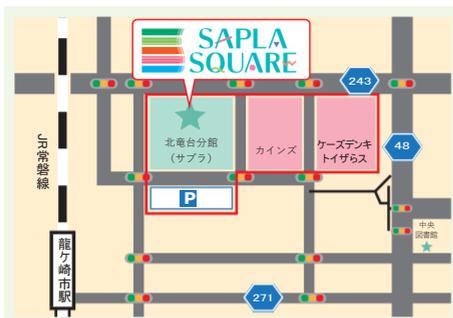
休館日

サプラスクエア サプラ店休日 / 特別資料整理期間

龍ヶ崎市立図書館 北竜台分館 HOKURYUDAI BRANCH LIBRARY



アクセス



車

JR「龍ヶ崎市駅」東口から車で5分 県道243号線沿い



電車・バス

JR 龍ヶ崎市駅東口 / 関東鉄道竜ヶ崎線佐貫駅より関東鉄道「ニュータウン長山行き」または「ニュータウン久保台行き」「総合運動公園行き」で【竜ヶ崎ニュータウン中央】下車



コミュニティバス

00 循環ルート（外回り）、00 循環ルート（内回り）、02 長山・松葉線、07 若柴線「ショッピングセンターサプラ」下車

北竜台分館
HOKURYUDAI BRANCH LIBRARY

茨城県龍ヶ崎市小柴5丁目1番2
サプラスクエア サプラ2階
TEL : 0297-86-8585
FAX : 0297-66-8766
<https://tosyo.city.ryugasaki.ibaraki.jp/index.html>



フロアマップ

1 受付カウンター

- 利用登録
- 予約本の貸出
- 本の返却
- 本の予約
- 電子資料の利用(受付)

6 カフェコーナー

ドリンクを販売しています。館内はコーヒーなどを飲みながら利用することができます。お食事はお控えください。

7 テレワークスペース

館内はフリー Wi-Fi 完備。電源もフリーでパソコン等を利用してテレワークが可能です。

2 新刊展示コーナー

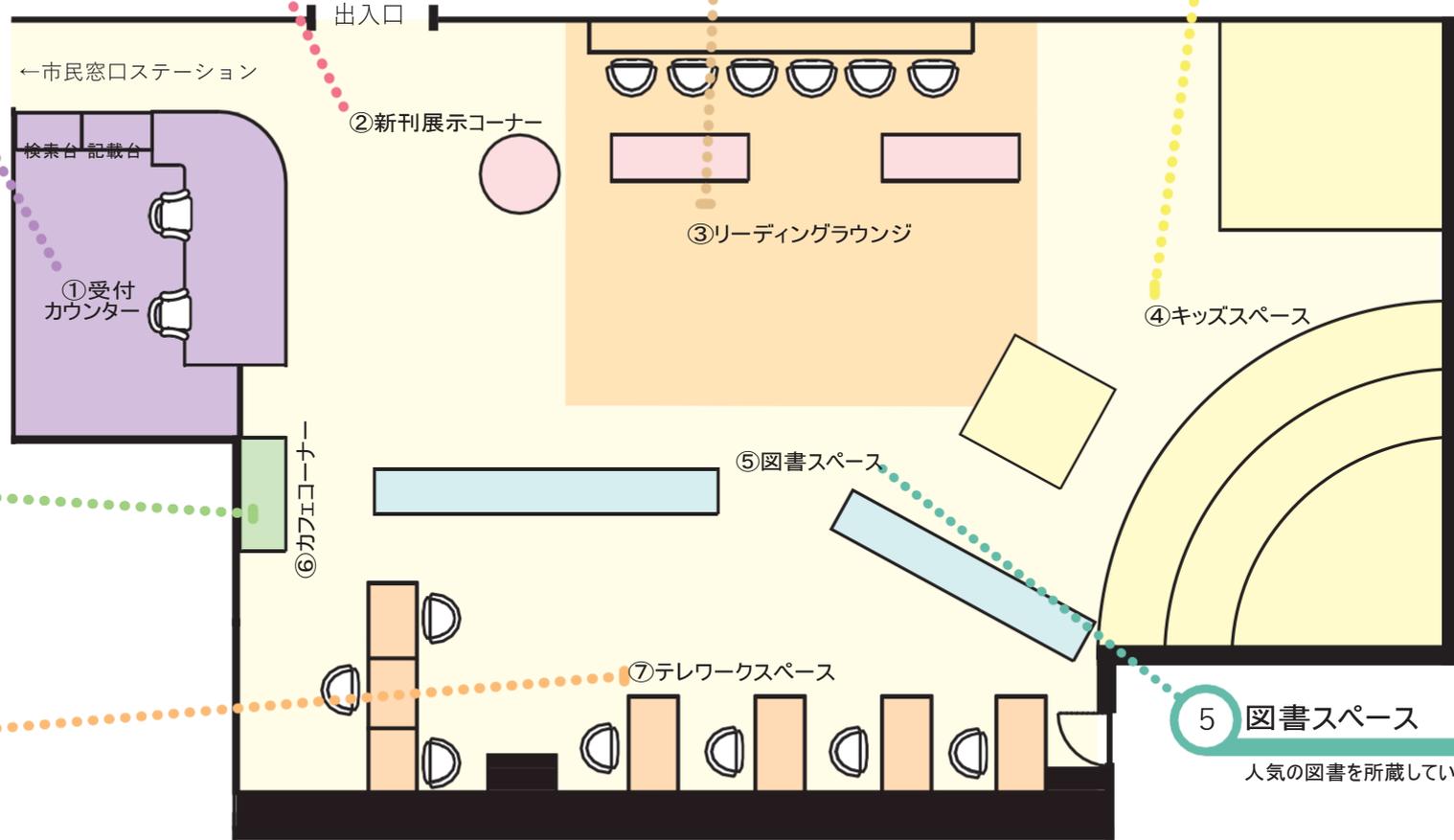
話題の新刊本はこちらです。新着図書と並べてあります。話題の新刊本に出会えるかも…

3 リーディングラウンジ

館内で本を読んだり、タブレットを使って電子図書館や電子版の新聞・雑誌などの電子資料を読むことができます。

4 キッズスペース

子どもがのびのびと過ごせるスペースです。児童書も充実！



北竜台分館でできること

利用登録

図書館会員カード・電子図書館の新規登録、ナクスミュージックライブラリー(インターネット音楽配信 サービス)のID発行等の各種利用登録を行います。

予約本の貸出

予約した中央図書館・コミュニティセンター図書室の本を貸出します。(分館内の本は貸出できません)

本の返却

中央図書館・コミュニティセンター図書室で借りた本を返すことができます。カウンターへお持ちください。

本の予約

中央図書館・コミュニティセンター図書室の本を予約することができます。

電子資料の利用

館内貸出用のタブレットを利用して、電子書籍や電子版の新聞・雑誌も読むことができます。